

豊川市の スポーツに関する市民意識調査

調査報告書

平成27年3月

豊川市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査票の回収状況	1
4. 標本誤差	2
5. 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
1. あなたのことについてお尋ねします	3
1 年齢・性別	3
2 職業	4
3 居住地域	5
4 健康・体力	6
5 スポーツをすること	9
6 スポーツを観ること	13
2. あなたのスポーツの実施状況等についてお尋ねします	16
1 スポーツの実施頻度	16
2 スポーツの実施状況	21
3 スポーツクラブやチーム等への所属	28
4 スポーツをしていない理由	30
3. あなたの将来のスポーツ活動についてお尋ねします	32
1 将来行ってみたいスポーツについて	32
2 将来スポーツを行う場合の目的	36
3 将来スポーツを行う際の場所	38
4 将来スポーツを行う際に考えられる問題点	40
5 スポーツを行う際の施設利用料	42
4. 地域におけるスポーツ活動についてお尋ねします	44
1 総合型地域スポーツクラブについて	44
2 中学校の体育的部活動について	47
3 スポーツ活動の担い手	50
4 スポーツの指導・ボランティア	52
5. 市のスポーツ施策についてお尋ねします	56
1 市のスポーツ施策	56
2 市の体育施設	66
3 学校開放体育施設	70
4 小・中学生のスポーツ機会の充実について	74
5 市の研修会や講演会の希望	76
6 市体育施設の整備希望	78

6. スポーツや健康づくりに関するアイデアやご意見等（自由記述）	80
III. 資料（平成26年度調査票）	89

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民のスポーツや健康に対する実態や意識また、意見や要望を正確にとらえ市民参加型の市政を進めるだけでなく、本市のスポーツを取り巻く環境の変化に対応した、平成26年度に中間年次を迎える「豊川市スポーツ振興計画（改訂版）」を策定するにあたり、目標達成に向けた具体的な施策を検討するために実施したものである。また、本調査は、現計画の推進状況の確認と前回調査との比較、課題の整理と市民ニーズの把握を目的として行いました。

2. 調査対象及び調査方法

①調査地域

- ・豊川市

②調査対象者

- ・豊川市在住の20歳以上の市民

③調査対象者数

- ・豊川市在住の20歳以上の男女：2,000人

④標本抽出方法

- ・無作為抽出

⑤調査期間

- ・平成26年9月17日から平成26年9月30日まで

⑥調査方法

- ・郵送配布、郵送回収

⑦調査実施機関

- ・豊川市

3. 調査票の回収状況

	調査票
標本数（名）	2,000 (100.0%)
回収数（率）	840 (42.0%)
有効回収数（率）	835 (41.7%)

※有効回収数は、回収されたが記入のない調査票を除いて集計したものです。

4. 標本誤差

この調査は、母集団である市内在住の20歳以上の市民から一部の標本を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“実際の全体の割合”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差 } \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

P: 回答率(%) n: 有効回収数(件)

以下の表は、上式にnとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

信頼度95%（95%の確立で、母集団における比率もこの範囲内にある）の場合

有効回収数 (件)	標本本調誤査 の 差	回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
		835	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.5

この表の見方について例をあげると、「回収数が835人であり、ある設問の1つの選択肢の回答率が50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は95%の確率で±3.5%以内であり、実際の母集団における比率は46.5%～53.5%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- ・各設問に対しての有効回収数が低いものは、母集団との誤差が大きくなる可能性があるため、対象標本数が30件未満（n=30未満）の場合、コメントを差し控えます。
- ・今回調査においては、件数ベースで算出された複数回答の結果（前回調査）を、人数ベースに変更して経年比較を行っています。
- ・経年比較については以下の平成22年度調査を用いています。

調査年度	標本数(名)	回収率(%)	調査対象者	抽出方法
平成22年度	1,600	45.4	市内在住の満20歳以上の市民	単純無作為抽出

II. 調査結果

1. あなたのことについてお尋ねします

1 年齢・性別

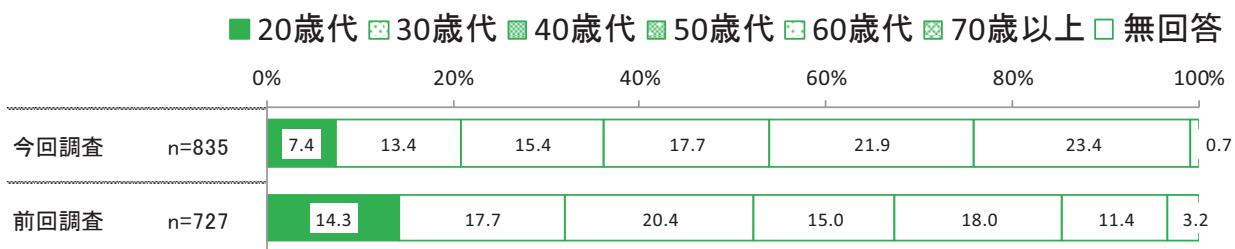
問1 あなたの年齢を教えてください。(単数回答)

◆ 回答者の年齢は「70歳以上」23.4%、「60歳代」21.9%

回答者の年齢は、「70歳以上」が23.4%と最も多く、次いで「60歳代」が21.9%、「50歳代」が17.7%となっています。全体的にみると年齢が高いほど回答率が高くなる傾向があります。

前回調査との比較では、「70歳以上」が12.0ポイント、「60歳代」が3.9ポイント増加している一方で、「20歳代」が6.9ポイント減少しています。今回調査において「60歳以上」が約45%を占めている点と、前回調査と比較して「60歳以上」が15.9ポイント増加している点を考慮すると、全体として高齢の方の意見が反映されている傾向にあることを意識してみていく必要があると思われます。

図1 【回答者の年齢】



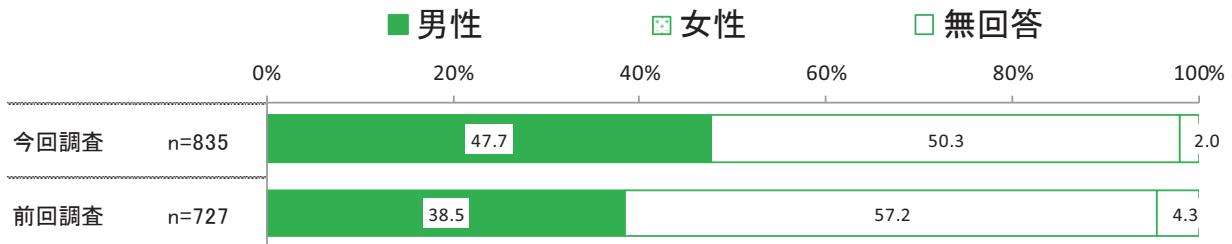
問2 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

◆ 回答者の性別は「男性」47.7%、「女性」50.3%

回答者の性別は、「男性」が47.7%、「女性」が50.3%となっています。

前回調査との比較では、「男性」が9.2ポイント増加しており、「女性」が6.9ポイント減少しています。また、今回調査においては、男女構成が前回調査よりも改善されていることがわかります。

図2 【回答者の性別】



2 職業

問3 あなたの職業を教えてください。(単数回答)

◆ 回答者の職業は「会社員」26.5%、「無職」23.2%

回答者の職業は、「会社員」が26.5%と最も多く、次いで「無職」が23.2%、「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」が15.0%となっています。

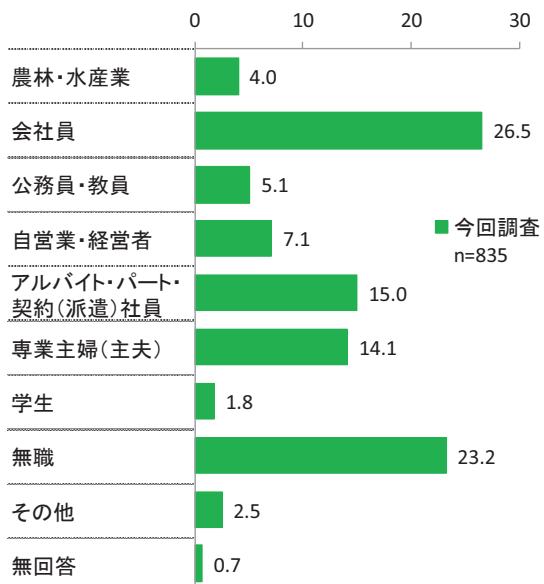
前回調査との比較では、「会社員」が両調査ともに最も多く、それぞれ4分の1以上を占めています。次いで、今回調査では「無職」、「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」、「専業主婦（主夫）」となっており、前回調査では「主婦」、「パート」、「無職」の順番となっています。「無職」との回答が増加した理由については、【図1】より、回答者の年齢層が高くなっている点が影響していると思われます。また、「専業主婦（主夫）」との回答が減少した理由については、【図2】より、性別構成比における「女性」の割合が減少している点が影響していると考えられます。

※「専業主婦（主夫）」の回答者については、一般的に「女性」の割合が高い点を考慮してコメントしています。

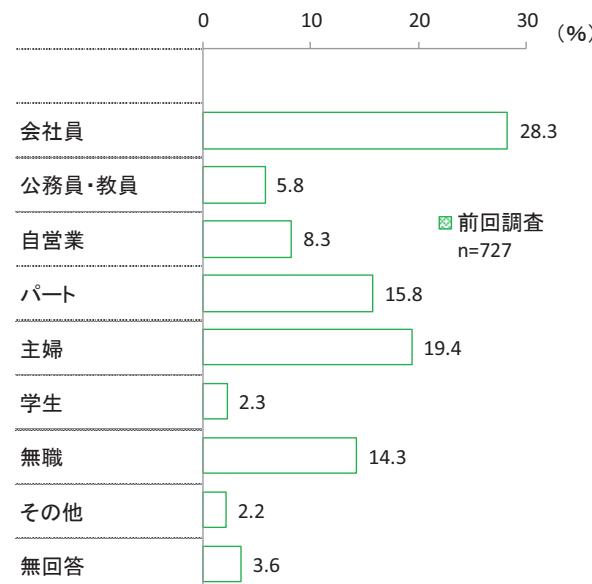
※今回の調査では、「農林・水産業」が新たに設定されました。また今回調査では「自営業」から「自営業・経営者」、「パート」から「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」、「主婦」から「専業主婦（主夫）」に選択肢が変更されています。

図3 【回答者の職業】

【今回調査】



【前回調査】



3 居住地域

問4 あなたが住んでいる小学校区を教えてください。(単数回答)

図 4 【住んでいる小学校区】

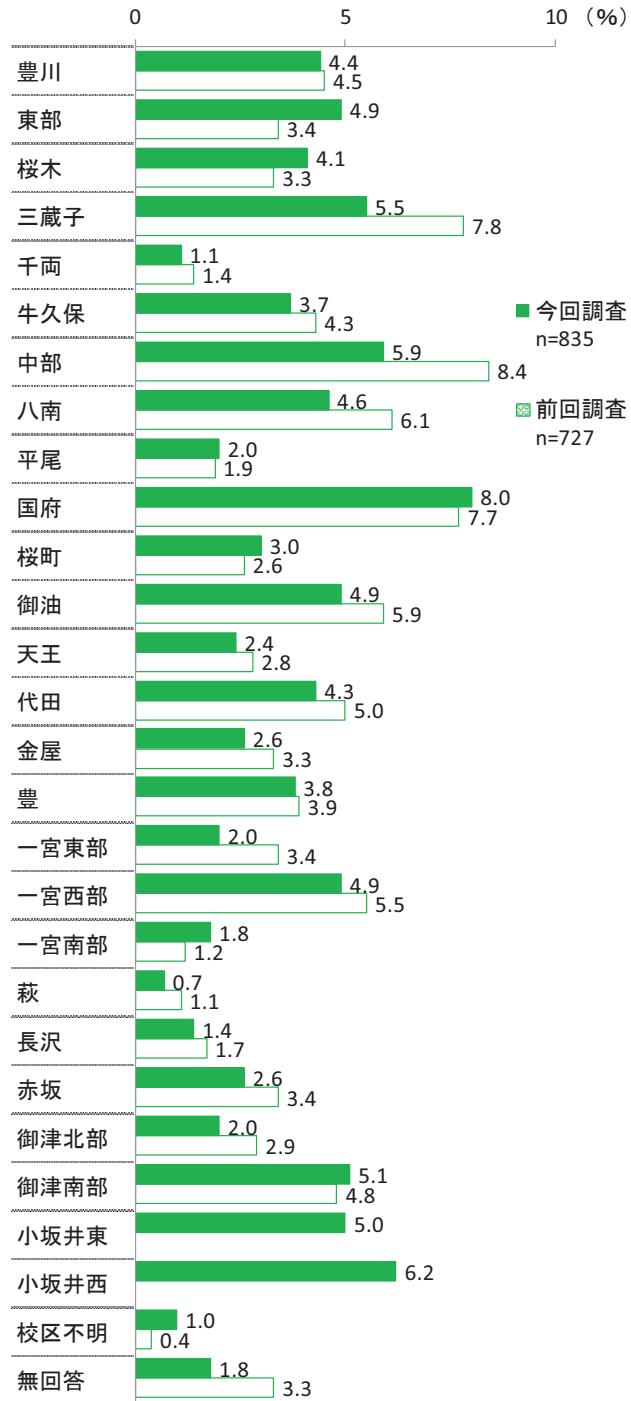
◆ 回答者の住んでいる小学校区は「国府」
8.0%、「小坂井西」6.2%

回答者の住んでいる小学校区は、「国府」が8.0%と最も多く、次いで「小坂井西」が6.2%、「中部」が5.9%となっています。

中学校区でみると「東部(豊川、東部、桜木、豊)」が17.2%と最も多く、次いで「西部(国府、御油)」が12.9%、「南部(牛久保、中部、天王)」が12.0%となっています。

前回調査と比較すると、増加した地域は「東部」、「桜木」、「国府」、「桜町」、「一宮南部」、「御津南部」となっています。増加した地域が24地域(小坂井地区は除く)中、6地域にとどまった背景には、今回から選択肢となった「小坂井西」と「小坂井東」が合わせて11.2%となっていることが考えられます。

また、減少幅が最も大きかった地域は、「中部」が2.5ポイントで、次いで「三蔵子」が2.3ポイントとなっています。



4 健康・体力

問5 あなたは、自分の健康・体力に自信を持っていますか。（単数回答）

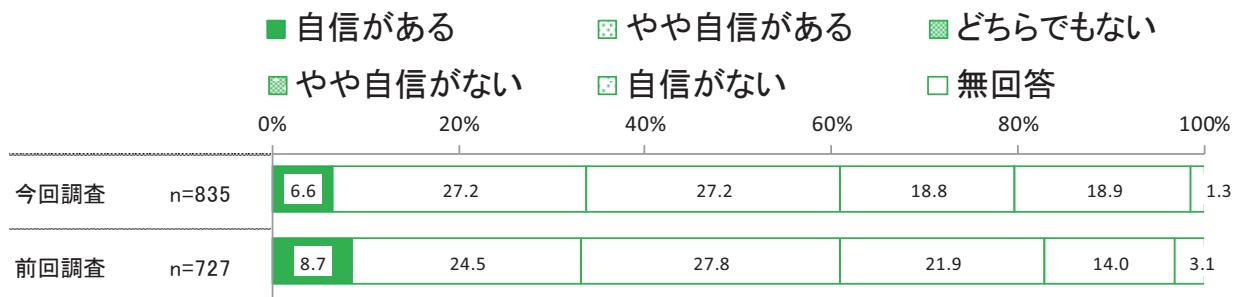
◆ 自分の健康・体力に「やや自信がある」、「どちらでもない」とともに27.2%

自分の健康・体力に自信があるかについては、「やや自信がある」と「どちらでもない」が27.2%と最も多く、次いで「自信がない」が18.9%となっています。また、「自信あり」が33.8%と「自信なし」が37.7%となっており、全体を通しては「自信なし」が「自信あり」を上回っています。

前回調査と比較してみると、「自信がない」が4.9ポイント増加しており、「自信がある」が2.1ポイント減少しています。

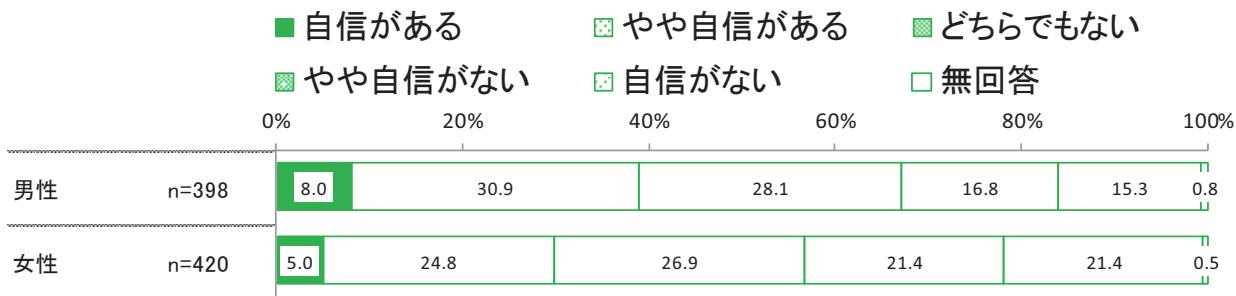
※「自信あり」は「自信がある」と「やや自信がある」を合わせたもので、「自信なし」は「やや自信がない」と「自信がない」を合わせたものです。

図 5 【健康・体力への自信】



性別でみると、「自信あり」は、「男性」が「女性」より9.1ポイント高くなっています。「自信なし」は、10.7ポイント低くなっています。この点から、「女性」の方が男性より健康・体力に対しての自信が低い傾向にあることがわかります。

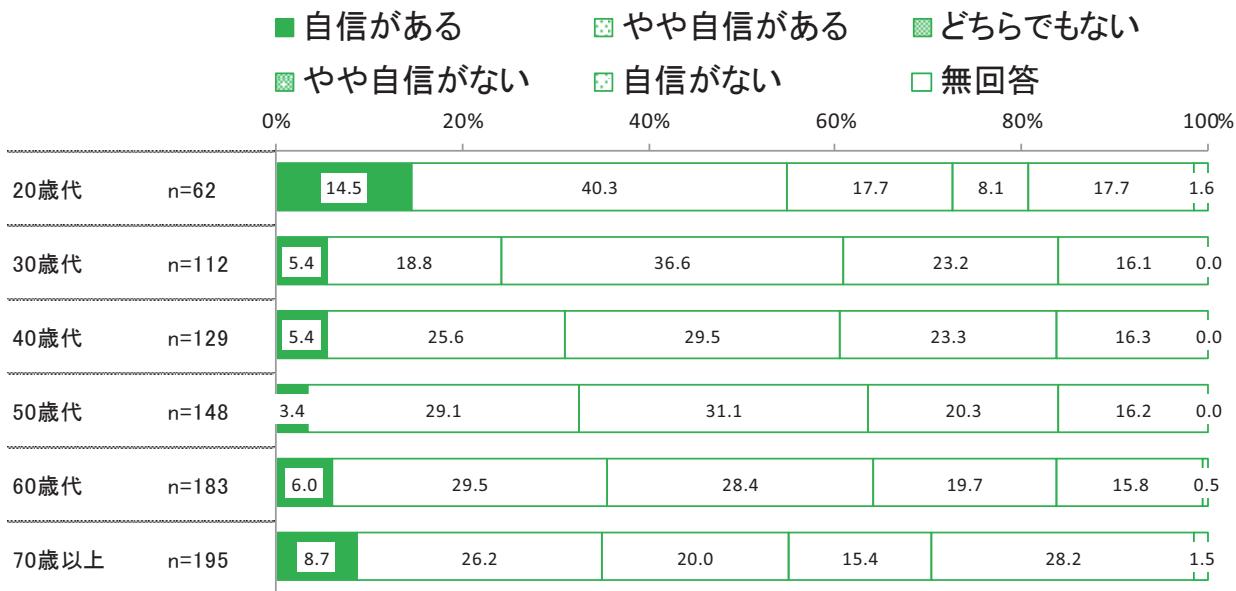
図 6 【健康・体力への自信（性別）】



年代別でみると、「自信あり」が「20歳代」で54.8%と最も多くなっており、「自信なし」が「70歳以上」で43.6%となっています。また、「70歳以上」の「自信がない」との割合が他の年代より1割以上高い傾向は、改善課題としてあげられます。

「30歳代～60歳代」の傾向をみてみると、年代が上がるにつれて「自信あり」の割合が増加している傾向があり、「自信なし」が「40歳代」で39.6%と最も多く、次いで「30歳代」で39.3%となっています。この結果から、働き盛りの世代への「健康や運動」の改善策を検討する必要があると思われます。

図 7 【健康・体力への自信（年代別）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

健康・体力に「やや自信がある」人がスポーツをしない理由は、「忙しい・時間がない」が最も多く、次いで「きっかけがない」と「仲間がない」となっています。「忙しい・時間がない」の点は、施策等で改善するのは難しいため、「きっかけがない」や「仲間がない」といった層に対して、仲間づくりやきっかけになる取り組みを行っていくことが必要になってくると思われます。

健康・体力に「自信がない」と回答した人の理由は、「健康上の理由」が最も多く、次いで「スポーツが嫌い・苦手」となっています。

表 1 【健康・体力に自信がある人がスポーツをしない理由】

		調査数 (n)	苦手 スポーツが嫌い・ い	関心 がない	い忙 しい・ 時間 がな い	仲間 がい ない	お 金 が か か る	指 導 者 が い な い	場 所 が な い	き つ か け が な い	要 ス ポ ー ツ が な い ツ を す る 必 要	健 康 上 の 理 由	そ の 他	(%)	
健 康 ・ 体 力	自信がある	11	9.1	27.3	45.5	9.1	-	-	-	27.3	-	9.1	27.3	9.1	
	やや自信がある	46	10.9	10.9	52.2	17.4	10.9	8.7	-	32.6	10.9	4.3	-	6.5	
	どちらでもない	83	13.3	13.3	53	13.3	8.4	-	3.6	26.5	2.4	8.4	8.4	7.2	
	やや自信がない	69	17.4	13	46.4	14.5	8.7	4.3	5.8	40.6	1.4	18.8	4.3	4.3	
	自信がない	105	30.5	18.1	24.8	13.3	12.4	1.9	5.7	22.9	4.8	37.1	13.3	3.8	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

健康・体力に対しての自信の有無に関わらず、「健康を保持・増進するため」が最も多くなっています。次いで「自信がある」人は、「スポーツが好きだから・楽しいから」となっており、それ以外の人は「体力・筋力を向上させるため」となっています。

表 2 【健康・体力の自信によるスポーツ目的の違い】

		調査数 (n)	す 健 康 た め 保 持 ・ 增 進	ダ イ エ ク ツ ト の た め	の 友 た 達 め づ く り ・ 交 友	か ス ら ・ 一 樂 ツ し が い 好 か き ら だ	め ス ト レ ス 解 消 の た	さ 体 せ 力 る ・ 筋 力 を 向 上	ビ 病 り 気 の や た け め が の リ ハ	す 競 技 た め 記 録 に 挑 戦	を 競 技 う で た の め 勝 ち 負 け	そ の 他	(%)	
自信がある	55	69.1	14.5	34.5	49.1	23.6	38.2	-	1.8	3.6	1.8	7.3		
やや自信がある	227	79.3	23.8	26.9	33.0	29.5	45.8	3.5	4.8	1.3	0.9	4.4		
どちらでもない	227	76.7	26.0	23.3	17.2	32.2	37.4	6.2	0.4	0.4	1.8	5.7		
やや自信がない	157	79.0	37.6	24.8	19.7	23.6	48.4	12.1	-	-	0.6	5.1		
自信がない	158	74.1	28.5	13.9	7.6	24.1	39.9	19.0	-	-	3.8	7.6		

上位 1位 2位 3位 無回答除く

5 スポーツをすること

問6 あなたは、スポーツで体を動かすことが好きですか。(単数回答)

◆ スポーツで体を動かすこと「好き」、「やや好き」とともに28.3%

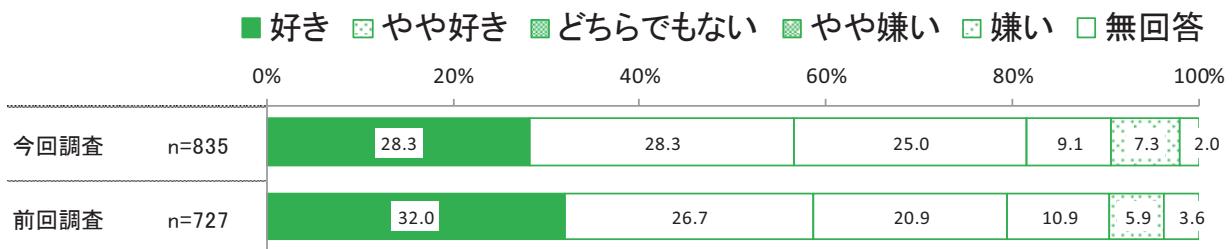
スポーツで体を動かすことについては、「好き」と「やや好き」がともに28.3%と最も多く、次いで「どちらでもない」が25.0%となっています。また「スポーツ好き」が56.6%となっており、「スポーツ嫌い」の16.4%より40.2ポイント高くなっています。

前回調査と比較してみると、「スポーツ好き」が2.1ポイント減少しており、「スポーツ嫌い」が0.4ポイント減少しています。これは、「どちらでもない」の割合が4.1ポイント増加していることが影響していると考えられます。

スポーツの実施率向上を目指す上でも、2割以上を占めている、この「どちらでもない」層を取り込んでいくことが必要になると思われます。

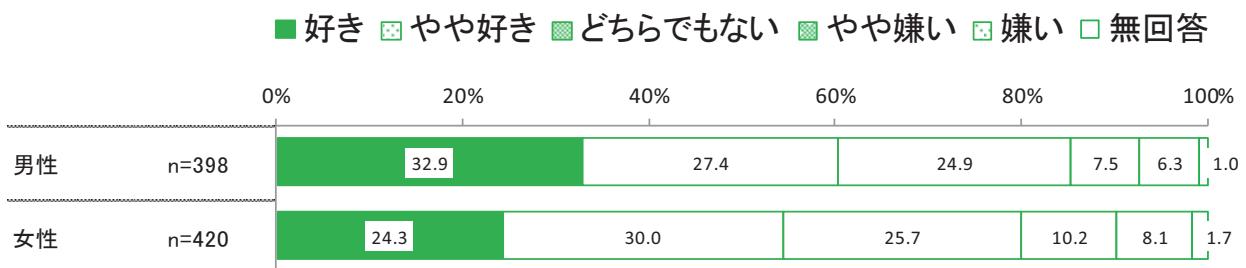
※「スポーツ好き」は「好き」と「やや好き」を合わせたもので、「スポーツ嫌い」は「やや嫌い」と「嫌い」を合わせたもの。

図 8 【スポーツで体を動かすことについて】



性別でみると、「スポーツ好き」は、「男性」が「女性」より6.0ポイント高く、「スポーツ嫌い」は4.5ポイント低くなっています。また、男女ともに半数以上が「スポーツ好き」と回答しています。

図 9 【スポーツで体を動かすことについて（性別）】



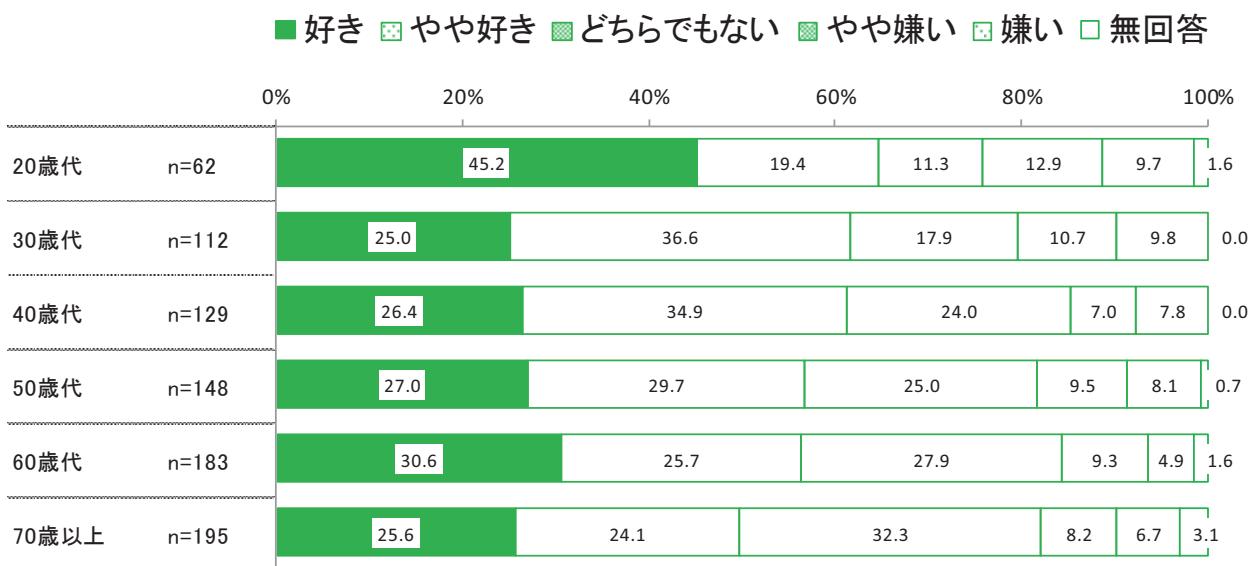
豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

スポーツで体を動かすことについては、年齢が若いほど「スポーツ好き」との回答が高くなっている傾向にあります。また、「20歳代」の45.2%が「好き」と回答している一方で、「スポーツ嫌い」との回答が最も多かったのも「20歳代」で22.6%となっています。

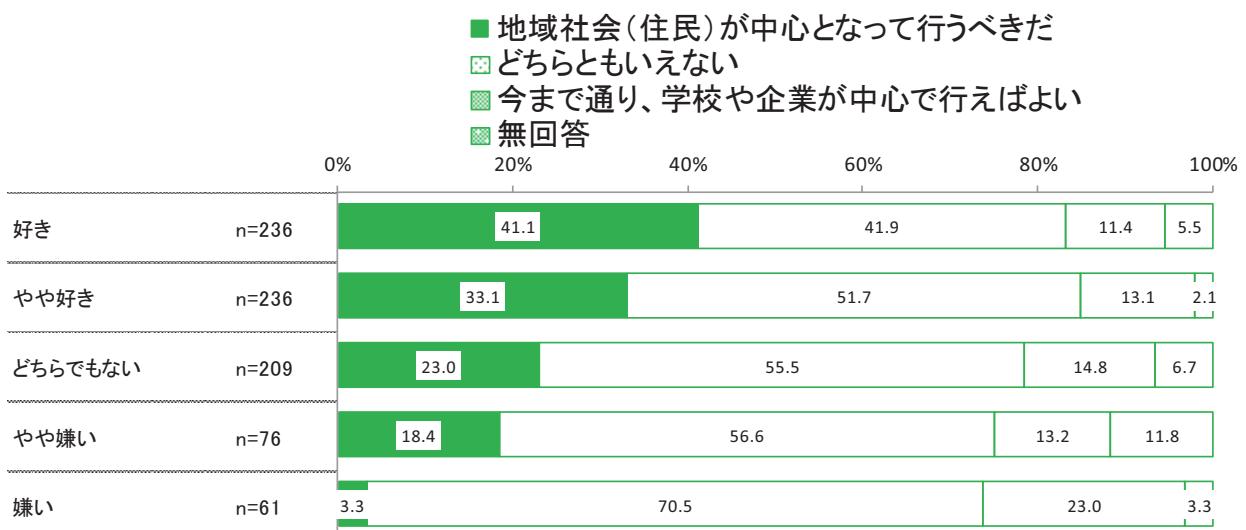
【図7】の「30歳代から60歳代で年代が高くなるについて、健康・体力に自信がある傾向」を考慮すると、「スポーツで体を動かすことが好きだが、健康・体力に自信がない30歳代、40歳代」ということが考えられます。

図10 【スポーツで体を動かすことについて（年代別）】



スポーツを支える中心担い手については、スポーツが好きな人ほど「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」という結果になりました。このことから、スポーツが好きな市民を増やしていくことは、「支えるスポーツ」の推進につながるものであると思われます。

図11 【スポーツ好きの度合いによる中心担い手の違い】



「スポーツ好き」が活動場所としてあげたところは、「市内の公共施設」が最も多く、次いで「公園や広場」と「市内の民間施設」となっています。

また、「自宅」を活動場所とした割合は、スポーツが嫌いな人ほど、高くなっています。そのため、スポーツが嫌いな人ほど近場でスポーツをする傾向があると思われます。

表 3 【スポーツ好きの人の活動場所】

		調査数 (n)	自宅	地 近 な 所 の 道 路 や 空 き	公 園 や 広 場	山 や 海 ・ 川 な ど	学 校 の 施 設	市 内 の 公 共 施 設	市 内 の 民 間 施 設	市 外 の 公 共 施 設	市 外 の 民 間 施 設	ツ 職 施 設 に あ る ス ポ ー ト	そ の 他	無 回 答	(%)
ス ポ ト の い い 人 の 中 で	好 き														
ス ポ ト の い い 人 の 中 で	好き	236	19.9	23.3	37.3	18.2	20.3	65.7	31.4	13.6	11.9	3.0	2.5	5.1	
	やや好き	236	25.0	34.3	34.3	20.3	13.1	53.0	37.3	5.9	8.1	2.1	1.7	3	
	どちらでもない	209	31.1	24.9	29.2	15.3	4.8	38.3	19.6	5.3	4.3	1.9	3.8	11	
	やや嫌い	76	38.2	27.6	31.6	15.8	2.6	40.8	25	6.6	6.6	1.3	–	6.6	
	嫌い	61	45.9	16.4	26.2	9.8	1.6	23	11.5	1.6	–	1.6	6.6	9.8	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

「スポーツ好き」と回答した人が拡充を望む公共施設は、「ウォーキングコース」が最も多く、次いで「温水プール」と「スポーツジム」となっています。しかし、「スポーツ嫌い」と回答した人も同じ傾向にあるので、スポーツが好きかどうかで、拡充を望む公共施設に違いがあるとはいえない。ただ、スポーツの好嫌に関わらず、「ウォーキングコース」、「温水プール」、「スポーツジム」の拡充希望が上位を占めている点を考慮すると、この3施設の拡充を検討していく必要があると思われます。

表 4 【スポーツ好きの人が拡充を望む公共施設】

		調査票 (n)	体育館	サッカーフィールド	ル野球・ソフトボール	学校運動場の夜間	陸上競技場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場	%
スポーツの好嫌	好き	236	25.4	5.9	12.7	10.2	1.7	29.2	11.0	2.5	1.3	
	やや好き	236	19.9	2.5	6.8	9.7	1.3	34.3	6.4	2.5	1.7	
	どちらでもない	209	12.4	2.9	4.8	7.2	1.0	27.3	6.2	2.4	1.9	
	やや嫌い	76	14.5	6.6	2.6	5.3	2.6	31.6	10.5	3.9	2.6	
	嫌い	61	6.6	4.9	3.3	6.6	3.3	29.5	6.6	3.3	-	

		調査票 (n)	フグラウンド・ゴール	多目的グラウンド	スウォーキングコート	スポーツジム	サイクリングコート	硬式野球場	その他	無回答	
スポーツの好嫌	好き	236	11.0	14.0	32.6	29.2	15.7	3.4	3.0	10.6	
	やや好き	236	7.2	14.0	38.1	27.5	16.1	0.8	3.8	13.6	
	どちらでもない	209	2.9	9.6	34.9	19.1	13.9	2.4	3.3	22.5	
	やや嫌い	76	6.6	18.4	38.2	19.7	17.1	-	1.3	18.4	
	嫌い	61	3.3	9.8	39.3	23.0	11.5	1.6	3.3	23.0	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

6 スポーツを観ること

問7 あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることが好きですか。（単数回答）

◆ テレビや競技場でスポーツを観ること 「好き」 39.3%、「やや好き」 31.3%

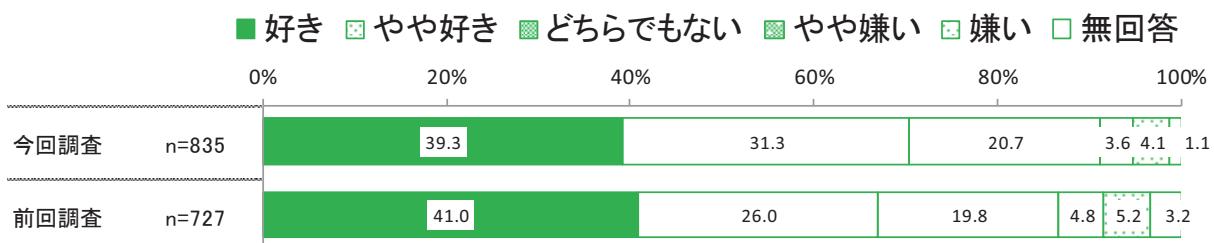
テレビや競技場でスポーツを観ることについては、「好き」が39.3%と最も多く、次いで「やや好き」31.3%、「どちらでもない」20.7%となっています。また、「観戦好き」が70.6%となっており、「観戦嫌い」の7.7%より62.9ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査では「観戦好き」が3.6ポイント増加しています。これは「観るスポーツ」のスポーツ観戦率の向上という点からみると、前進していると言えます。

※「観戦好き」は「好き」と「やや好き」を合わせたもので、「観戦嫌い」は「やや嫌い」と「嫌い」を合わせたもの。

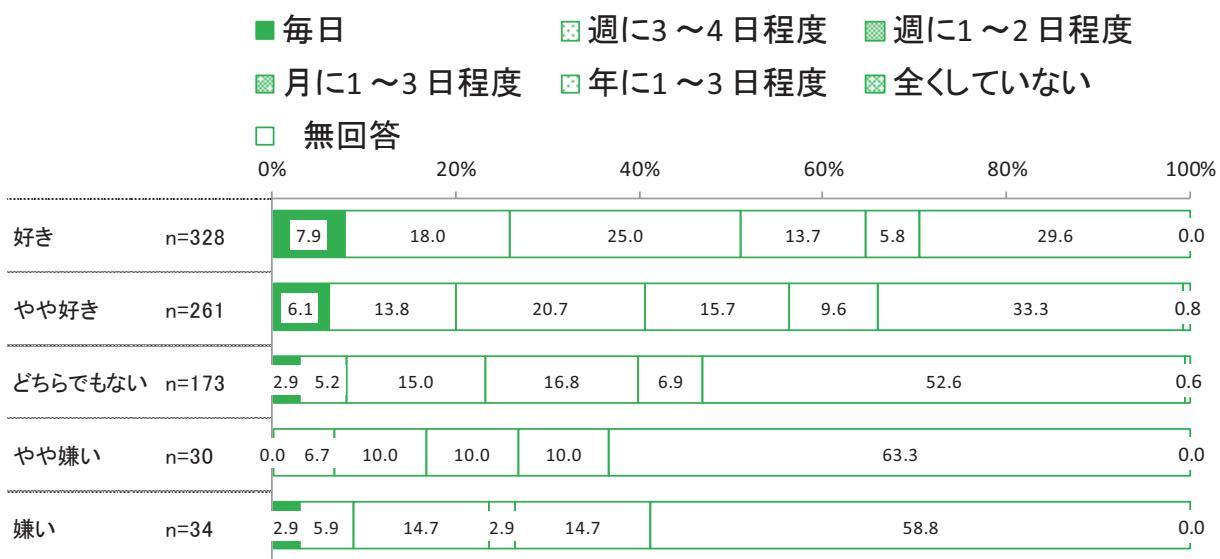
※前回調査の選択肢には、「好き」と「嫌い」に「観ることは」という一文が入っています。

図 12 【テレビや競技場でスポーツを観ること】



スポーツ観戦の好嫌と実際のスポーツの実施頻度との関係については、スポーツ観戦が好きな人ほど、スポーツの実施頻度も高くなる傾向にあります。このことから、スポーツ観戦を入口として、スポーツの実施につなげていくことも、有効な手段の一つと考えられます。

図 13 【スポーツ観戦の好嫌とスポーツの実施頻度との関係性】

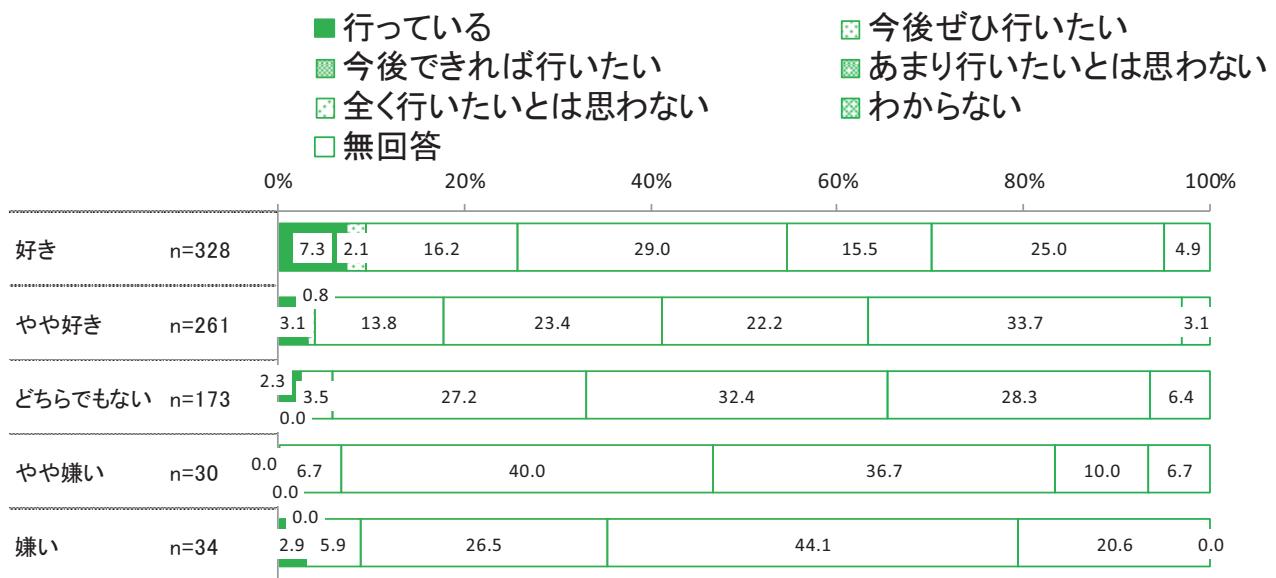


豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

スポーツ観戦の好嫌とスポーツの指導・ボランティアとの関係については、スポーツ観戦が好きな人ほど、今後スポーツの指導・ボランティアの活動を行いたいという傾向があります。そのため、「支えるスポーツ」を推進していくためにも、スポーツ観戦に親しむ土壤を育していく必要があると思われます。

図 14 【スポーツ観戦の好嫌とスポーツの指導・ボランティアとの関係性】



問8 あなたは、スポーツの観戦をどこですることが多いですか。(単数回答)

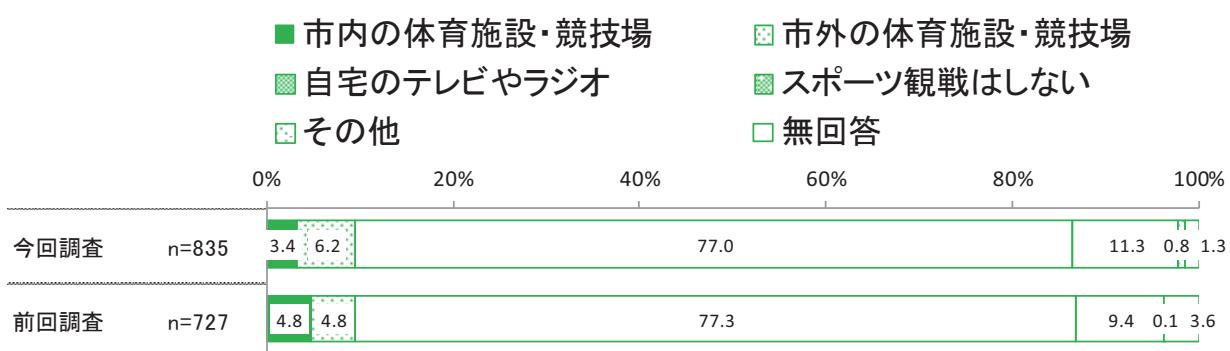
◆ スポーツの観戦場所 「自宅のテレビやラジオ」 77.0%

スポーツの観戦場所は、「自宅のテレビやラジオ」が77.0%と最も多く、次いで「市外の体育施設・競技場」6.2%、「市内の体育施設・競技場」3.4%となっています。また、「スポーツ観戦はしない」と回答した人は、全体の11.3%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査で「市内外の体育施設・競技場」まで足を運ぶ割合が9.6%となっており、変化がありませんでした。ただ今回調査においては「市外」が「市内」より2.8ポイント高くなっています。このことから、市内におけるスポーツ観戦が減少していると思われます。

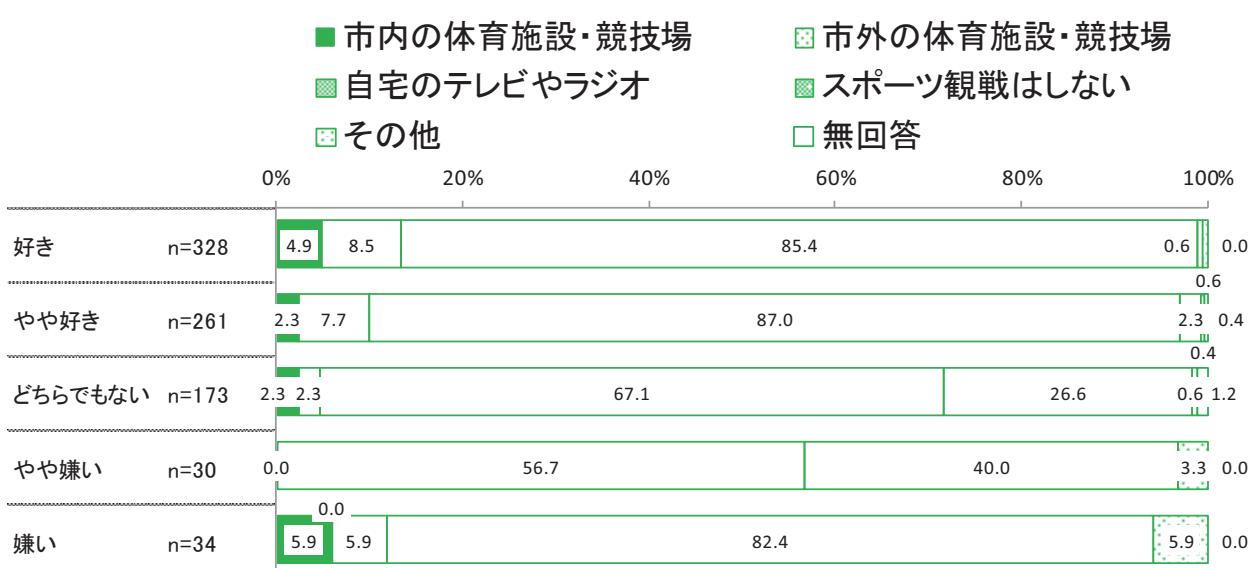
※前回の設問は、「あなたは、スポーツを観戦する際に、主にどこで観戦しますか。」となっています。

図 15 【スポーツの観戦場所】



スポーツの観戦場所とスポーツ観戦の好嫌との関係については、スポーツ観戦が好きな人ほど、「市内外の体育施設・競技場」で観戦する割合が高くなる傾向にあります。

図 16 【スポーツの観戦場所とスポーツ観戦の好嫌との関係性】



2. あなたのスポーツの実施状況等についてお尋ねします

1 スポーツの実施頻度

問9 あなたは、何日くらいスポーツをしていますか。(単数回答)

◆ スポーツの実施頻度 「週に1～2日程度」 20.4%、「月に1～3日程度」 14.3%

スポーツの実施頻度については、「週に1～2日程度」が20.4%と最も多く、次いで「月に1～3日程度」14.3%、「週に3～4日程度」12.9%となっています。また、「まったくしていない」が37.6%となっています。

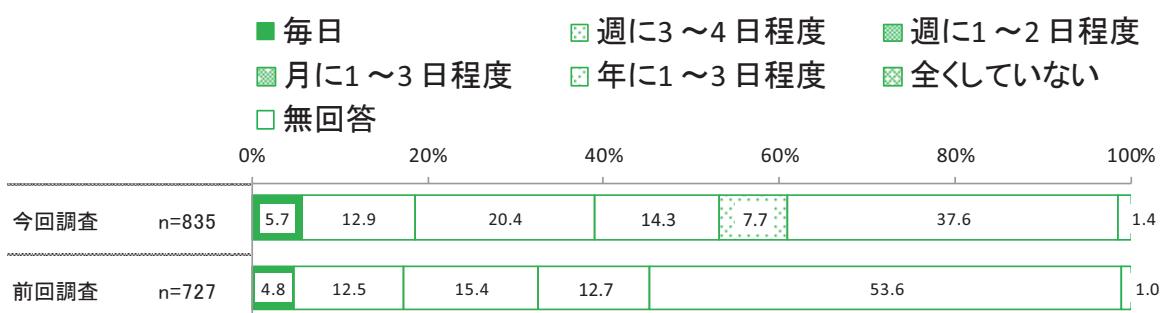
前回調査と比較すると、今回調査では「週1日以上」が39.0%となっており、前回調査の32.7%より6.3ポイント増加しています。また、平成26年度の目標値である「週1日以上の割合40.0%」には届かなかったものの、「ほとんどしていない」が前回より8.3ポイント減少している点からも、スポーツをしている市民は、増えている傾向にあると言えます。

※前回調査の設問では、「あなたは、普段何日くらいスポーツをしていますか」となっています。

※今回調査の選択肢では、「年に1～3日程度」が新たに設定されています。

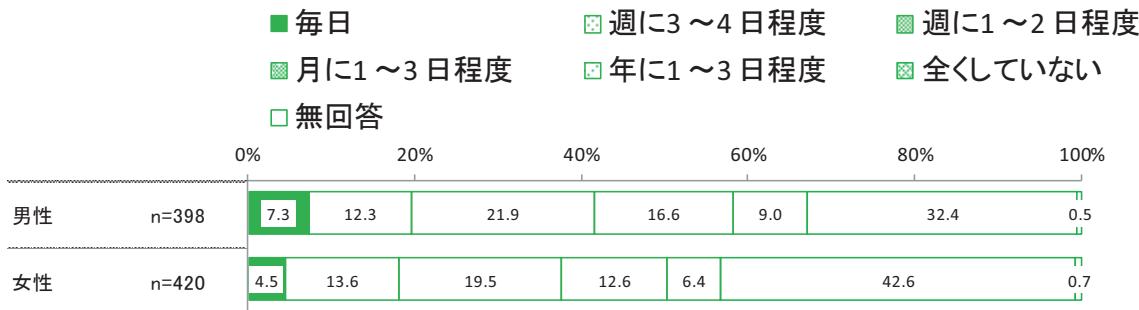
※「ほとんどしていない」は、今回調査では「年に1～3日程度」と「全くしていない」を合わせたものに該当し、前回調査では「全くしていない」に該当します。

図 17 【スポーツの実施頻度】



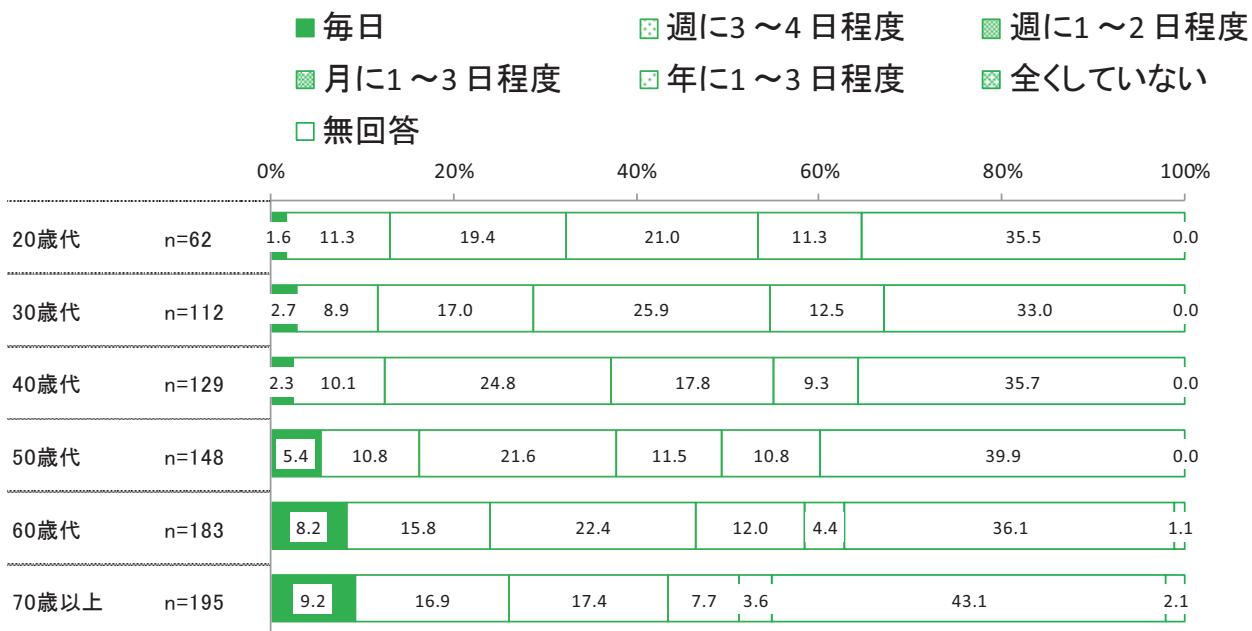
性別でみると週1日以上のスポーツの実施頻度の違いは、「男性」が41.5%で、「女性」の37.6%より3.9ポイント高くなっています。また「男性」では、平成26年度の目標値である40.0%を達成しているため、「女性」に対しての働きかけを進めていく必要があると思われます。

図 18 【スポーツの実施頻度（性別）】



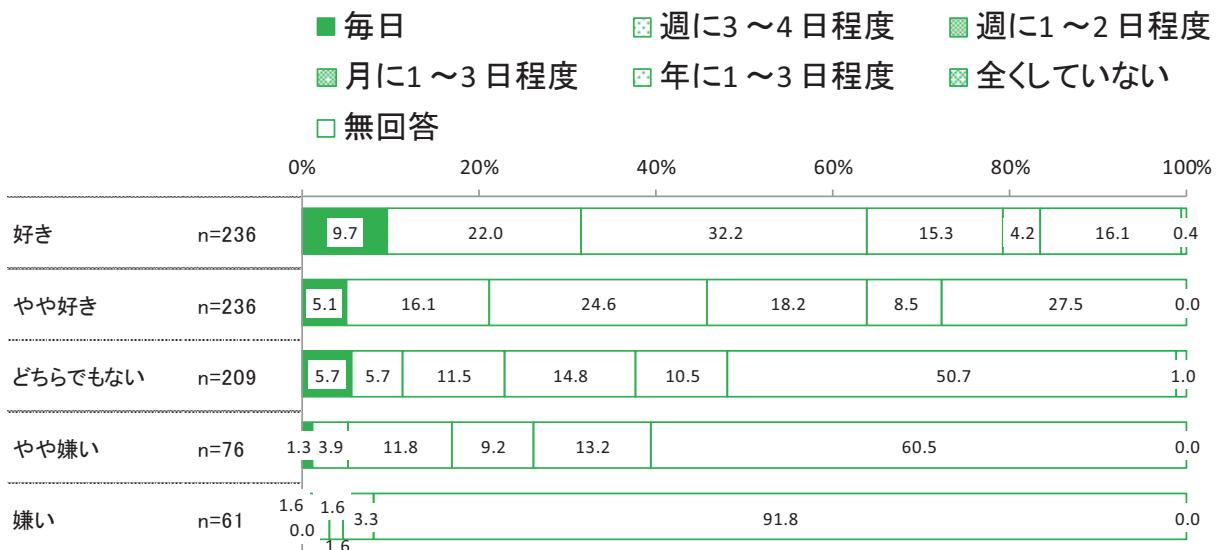
週1日以上スポーツをしている人の割合を年代別でみると、「20歳代」で32.3%、「30歳代」で28.6%、「40歳代」で37.2%、「50歳代」で37.8%、「60歳代」で46.4%、「70歳以上」で43.5%となっています。このことから、「60歳以上」で平成26年度の目標値である40.0%をこえていることがわかります。この点から、若い世代や働く世代に対してのスポーツ啓発活動が必要であると考えられます。また、【図18】より、女性が男性より週1日以上のスポーツの実施頻度が低いことを考慮すると、最も少ない「30歳代」(28.6%)の女性への働きかけを検討する必要があると思われます。

図19 【スポーツの実施頻度（年代別）】



体を動かすことが好きな人とスポーツの実施頻度との関係については、体を動かすことが好きな人ほど、スポーツの実施頻度が高くなる傾向があります。また、週に1日以上スポーツをしている人は、体を動かすことが「好き」で63.9%、「やや好き」で45.8%となっています。

図20 【スポーツの実施頻度と体を動かすこととの関係】

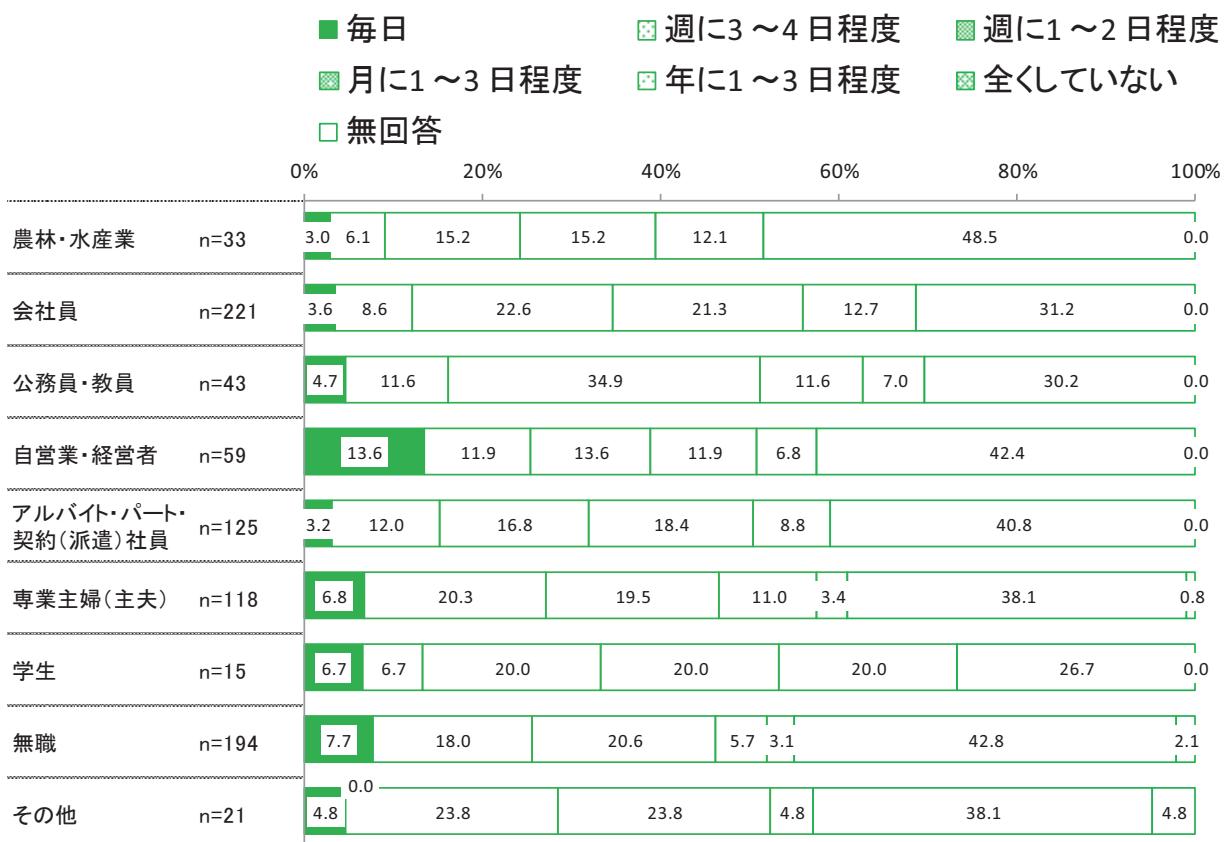


豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

週1日以上スポーツをしている人の割合を職業別でみると、「公務員・教員」が51.2%となっており、次いで「専業主婦（主夫）」が46.6%、「無職」が46.3%となっています。以上より、比較的時間や行動を自由に使いやすいと思われる職業の方が多い傾向にあるといえます。また、「毎日」と回答した割合が最も多い職業は、「自営業・経営者」となっています。そして「農林・水産業」については、職業の内容上、取り上げて運動をする必要がないため、スポーツの実施頻度が低くなっている可能性があります。

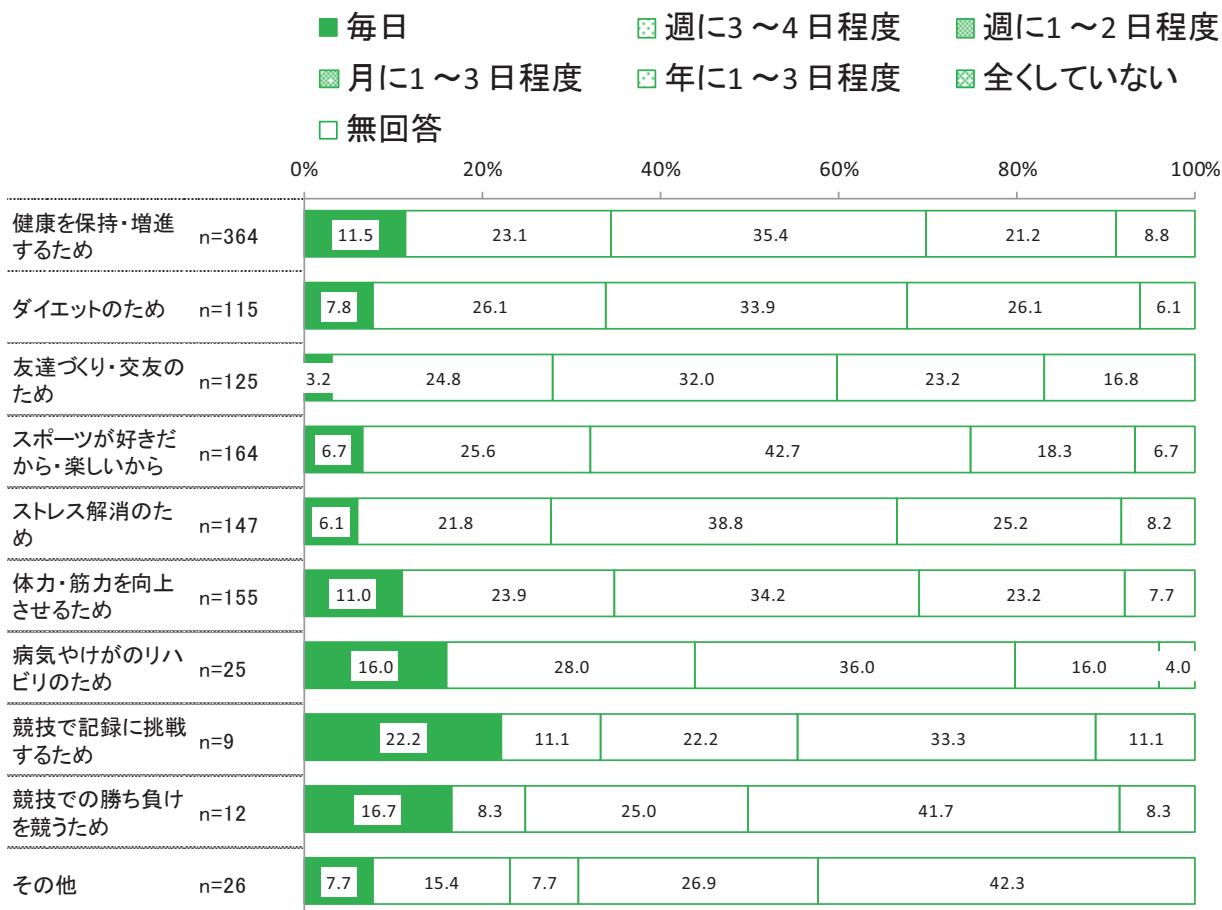
図 21 【職業別のスポーツの実施頻度】



スポーツの目的によるスポーツの実施頻度の違いについて、「毎日」スポーツすると回答した方では、「健康を保持・増進するため」が11.5%となっています。また、「週に3~4日程度」と回答した方は、「ダイエットのため」が26.1%、「週に1~2日程度」と回答した方は、「スポーツが好きだから・楽しいから」が42.7%となっています。以上より、スポーツをする目的によても、スポーツの実施頻度にも差が出てくると思われます。

「病気やけがのリハビリ」を目的としてスポーツする方は、週1日以上スポーツを実施する割合が高くなる傾向にある可能性があります。

図 22 【スポーツの目的によるスポーツの実施頻度の違い】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

望む公共施設の整備拡充希望については、特にスポーツの実施頻度による差は見られず、全体的に「ウォーキングコース」、「温水プール」と「スポーツジム」の拡充希望が高くなっていることがわかります。

表 5 【スポーツの実施頻度と望む公共施設の拡充との関係】

		調査票 (n)	体育館	サッカー場	ル野球 場	照明学校 運動場の夜間	陸上競技場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場	%
ス ポ ー ツ 実 施 頻 度	毎日	48	8.3	-	4.2	6.3	2.1	35.4	4.2	6.3	-	
	週に3~4日程度	108	15.7	2.8	7.4	9.3	0.9	31.5	15.7	1.9	-	
	週に1~2日程度	170	23.5	7.6	10.0	7.6	0.6	25.9	8.2	2.9	1.8	
	月に1~3日程度	119	25.2	1.7	13.4	9.2	1.7	35.3	9.2	0.8	-	
	年に1~3日程度	64	21.9	4.7	10.9	10.9	3.1	35.9	-	6.3	1.6	
	全くしていない	314	14.0	4.1	3.5	8.6	1.9	28.0	7.3	2.2	2.9	

		調査票 (n)	フグラウンド ・ゴル	多目的 グラウンド	ス ウ オ ー キ ン グ コ ー	ス ポ ー ツ ジ ム	ス サ イ ク リ ン グ コ ー	硬式野球場	その 他	無 回 答	
ス ポ ー ツ 実 施 頻 度	毎日	48	6.3	16.7	47.9	27.1	14.6	2.1	-	16.7	
	週に3~4日程度	108	10.2	10.2	41.7	27.8	17.6	0.9	4.6	12.0	
	週に1~2日程度	170	8.2	9.4	33.5	30.0	12.9	2.4	4.1	12.9	
	月に1~3日程度	119	11.8	17.6	39.5	15.1	19.3	2.5	2.5	7.6	
	年に1~3日程度	64	3.1	20.3	26.6	32.8	23.4	6.3	3.1	14.1	
	全くしていない	314	4.5	12.1	33.8	23.2	12.7	1.0	2.9	22.3	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

2 スポーツの実施状況

問10 あなたは、どこでスポーツをしていますか。(複数回答) (いくつでも)

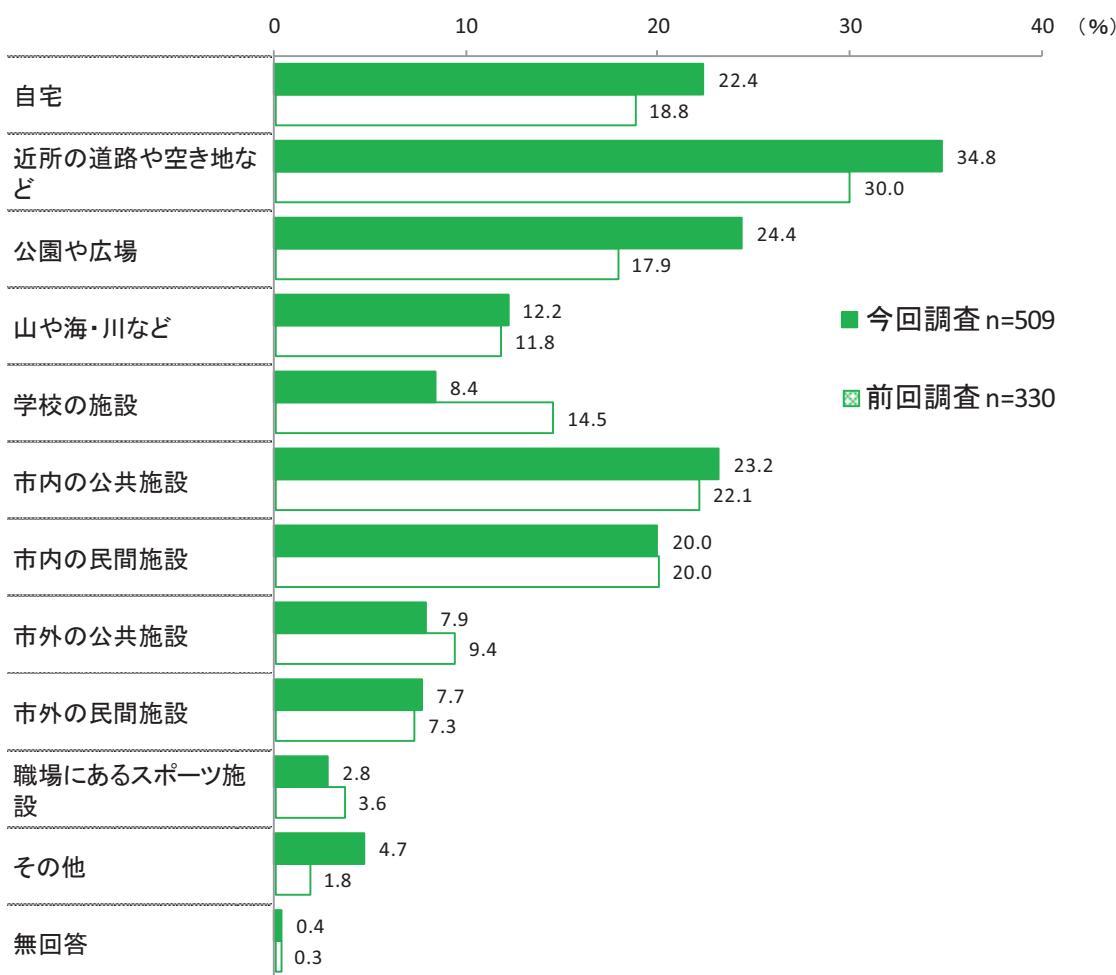
※問9で「毎日」、「週に3~4日程度」、「週に1~2日程度」、「月に1~3日程度」、「年に1~3日程度」を選んだ人のみ。

◆ スポーツの実施場所 「近所の道路や空き地など」 34.8%

スポーツの実施場所は、「近所の道路や空き地など」が34.8%と最も多く、次いで「公園や広場」が24.4%、「市内の公共施設」が23.2%となっています。また、【図 15】の「市内の公共施設がスポーツの観戦場所としてはあまり利用されていない」という結果と比較すると、「市内の公共施設」はスポーツをする場所としては、2割以上の市民に使用されているため、「スポーツを見る場所」よりも「スポーツをする場所」として活用されていると考えられます。

前回調査と比較すると、スポーツの実施場所として「学校の施設」、「市外の公共施設」、「職場にあるスポーツ施設」の項目で、今回調査の方が低くなっています。特に「学校の施設」が6.1ポイントと最も減少しています。また、増加したスポーツ場所は、「公園や広場」で6.5ポイント「近所の道路や空き地など」が4.8ポイントとなっています。このことから、「公園や広場」、「近所の道路や空き地」がスポーツに使われていることを認識し、使用法や整備等を考えていく必要があると思われます。

図 23 【スポーツの実施場所】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別にみると、どの年代においても「近所の道路や空き地など」が最も多くなっています。次いで「公園や広場」と回答した年代は、「20歳代」と「60歳以上」となっており、「30歳代」は「自宅」、「40歳代」は「市内の公共施設」、「50歳代」は「市内の民間施設」となっています。【図 19】より、スポーツの実施頻度を向上させる必要性が考えられる「20歳代～50歳代」に対して、市として対応できる施設を考慮すると、市内の公共施設と、公園や広場の充実を進めていく必要があるのではないかと思われます。

性別でみると、「男性」、「女性」とともに「近所の道路や空き地など」が最も多くなっています。次いで、「男性」では「公園や広場」、「女性」では「市内の公共施設」となっています。

表 6 【スポーツの実施場所（年代別・性別）】

		調査数 (n)	自宅	近所の道路や空き地など	公園や広場	山や海・川など	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	職場にあるスポーツ施設	その他	無回答	(%)
年代別	性別														
年代別	20歳代	40	25.0	40.0	35.0	15.0	17.5	25.0	12.5	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-
	30歳代	75	28.0	33.3	24.0	12.0	8.0	22.7	24.0	16.0	12.0	4.0	4.0	4.0	-
	40歳代	83	19.3	32.5	22.9	15.7	9.6	27.7	14.5	10.8	8.4	6.0	3.6	3.6	-
	50歳代	89	16.9	33.7	10.1	19.1	12.4	20.2	28.1	3.4	9.0	3.4	6.7	6.7	-
	60歳代	115	23.5	36.5	27.0	8.7	7.8	17.4	23.5	6.1	6.1	0.9	5.2	5.2	-
	70歳以上	107	23.4	34.6	30.8	6.5	1.9	28.0	14.0	4.7	5.6	-	3.7	1.9	-
性別	男性	267	20.2	37.8	29.6	14.6	7.1	20.2	20.2	9.7	10.9	3.0	5.2	5.2	-
	女性	238	24.8	30.7	18.5	9.7	10.1	26.9	19.7	5.9	4.2	2.1	4.2	0.8	-

上位 1位 2位 3位 無回答除く

問11 あなたが、現在行っているスポーツは何ですか。（複数回答）（3つまで）

◆ 現在行っているスポーツ「ウォーキング」34.4%

現在行っているスポーツは、「ウォーキング」が34.4%と最も多く、次いで「ゴルフ」が13.0%、「ジョギング・ランニング」が11.0%となっています。また、【図 23】より、近所や道路、空き地や公園などでスポーツをする人が多い傾向と関係しているものと考えられます。

※問9で「毎日」、「週に3～4日程度」、「週に1～2日程度」、「月に1～3日程度」、「年に1～3日程度」を選んだ人のみ。

表 7 【現在行っているスポーツ】

現在行っているスポーツ(上位21種目)

	選択肢	件数	(%)
1	ウォーキング	175	34.4
2	ゴルフ	66	13.0
3	ジョギング・ランニング	56	11.0
4	体操・健康体操	42	8.3
5	スポーツジム・筋力トレーニング	40	7.9
6	グラウンド・ゴルフ	26	5.1
7	野球	26	5.1
8	ヨガ	25	4.9
9	水泳	24	4.7
10	テニス	24	4.7
11	バレー・ボール	23	4.5
12	ソフトボール	21	4.1
13	登山・トレッキング	19	3.7
14	サッカー・フットサル	19	3.7
15	卓球	16	3.1
16	ソフトバレー・ボール	15	2.9
17	自転車	13	2.6
18	バドミントン	13	2.6
19	ダンス	12	2.4
20	ストレッチ	10	2.0
21	武道	8	1.6
22	その他	96	18.9
23	無回答	36	7.1

※サンプル数(n=509)

その他の項目(n=96)

50m歩競技	スキー・スノーボード	ボクシング	上体起こし
インディアカ	スクワット	マラソン	水中ウォーキング
ウエイクボード	ダイビング	モータースポーツ	水中運動
エアロバイク	つま先立ち	よさこい	素振り
エクササイズ	トレーニング	ラグビー	釣り
オショダハイエット	バイクツーリング	ルーシーダットン	鉄棒
キャッチボール	バスケットボール	レクリエーション	馬術
キャンプ	パドルボード	弓道	民踊
ゲートボール	ピラティス	懸垂	野外活動
ゲッタマン	フライングディスク	子どもと公園で遊ぶ	
サーフィン	ペタンク	射撃(シューティング)	
ジャグリング	ボール遊び	狩猟	

※一部抜粋

豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別でみると、「30歳以上」で「ウォーキング」が最も多くなっており、「20歳代」では、「ジョギング・ランニング」が最も多くなっています。また、「ウォーキング」は、年代が高くなるほど、行っているスポーツとして回答した方が多くなっています。「70歳以上」においては、「体操・健康体操」と「グラウンド・ゴルフ」が1割以上、他の年代より高くなっています。「サッカー・フットサル」に関しては、「20歳代」が17.5%と他の年代と比べて高くなっています。

※「その他」、「無回答」は除く

表 8 【現在行っているスポーツ（年代別）】

		調査票（n）	ウォーキング	ゴルフ	ニジングギング・ラン	体操・健康体操	筋骨ストレーニング	スポーツジム・ジム	グラウンド・ゴルフ	野球	ヨガ
年代別	20歳代	40	10.0	0.0	22.5	0.0	15.0	0.0	15.0	2.5	
	30歳代	75	22.7	16.0	16.0	1.3	14.7	1.3	12.0	8.0	
	40歳代	83	24.1	10.8	10.8	4.8	2.4	4.8	4.8	4.8	
	50歳代	89	39.3	18.0	7.9	4.5	5.6	0.0	2.2	5.6	
	60歳代	115	52.2	16.5	6.1	7.0	10.4	3.5	4.3	7.8	
	70歳以上	107	36.4	9.3	11.2	23.4	3.7	15.9	0.0	0.0	

		調査票（n）	水泳	テニス	バレーボール	ソフトボール	グランピング	登山・トレッキング	サッカーフット	卓球	ルーラー
年代別	20歳代	40	2.5	5.0	5.0	0.0	2.5	17.5	2.5	0.0	
	30歳代	75	5.3	4.0	6.7	2.7	1.3	9.3	1.3	4.0	
	40歳代	83	6.0	8.4	9.6	10.8	6.0	3.6	0.0	4.8	
	50歳代	89	0.0	2.2	4.5	6.7	7.9	0.0	2.2	4.5	
	60歳代	115	5.2	6.1	2.6	2.6	2.6	1.7	5.2	3.5	
	70歳以上	107	7.5	2.8	0.9	0.9	1.9	0.0	5.6	0.0	

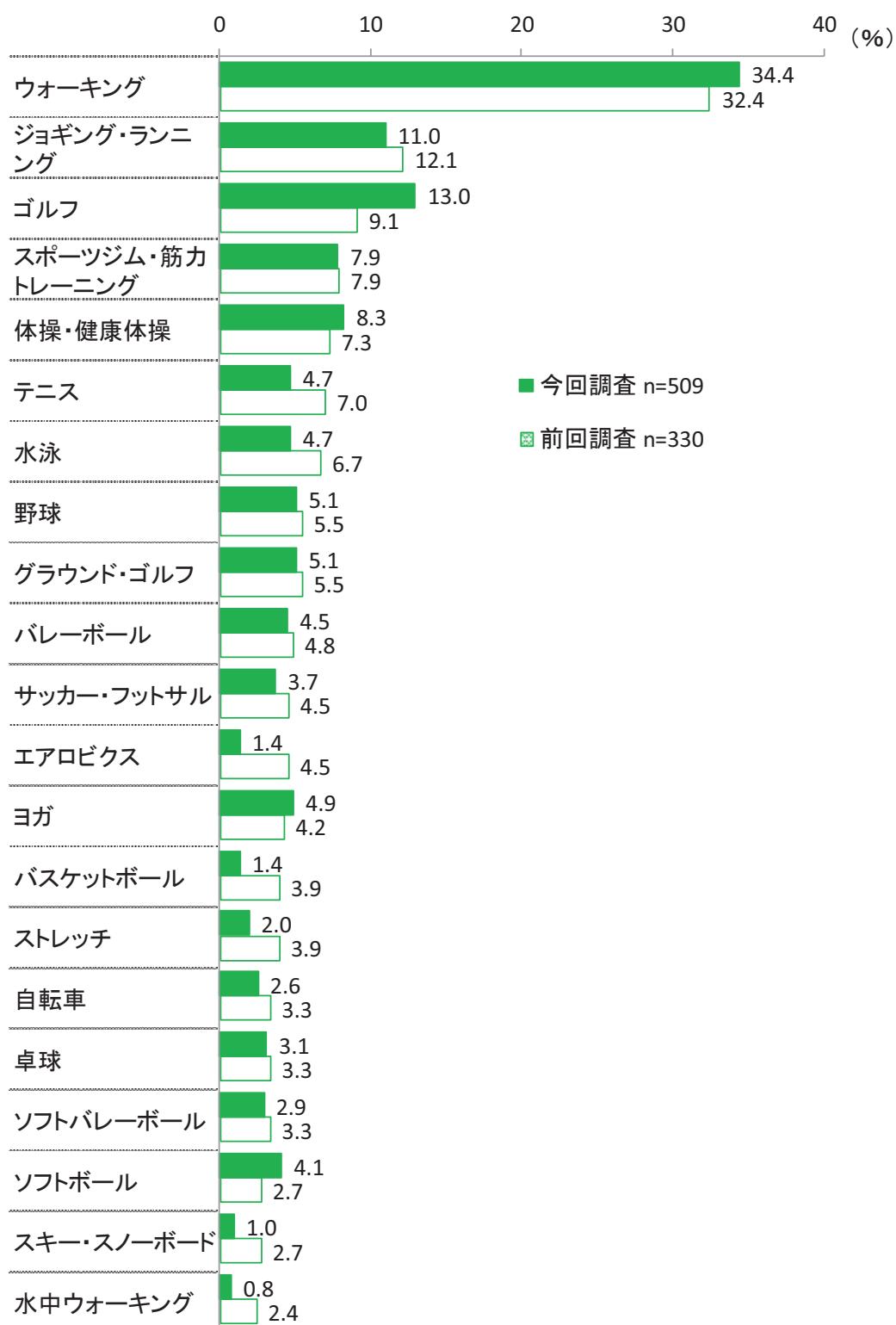
		調査票（n）	自転車	バドミントン	ダンス	ストレッチ	武道	その他	無回答
年代別	20歳代	40	7.5	0.0	5.0	0.0	0.0	35.0	10.0
	30歳代	75	1.3	6.7	1.3	0.0	0.0	17.3	6.7
	40歳代	83	3.6	6.0	2.4	1.2	0.0	20.5	7.2
	50歳代	89	1.1	2.2	2.2	2.2	1.1	20.2	10.1
	60歳代	115	2.6	0.9	2.6	4.3	0.9	16.5	3.5
	70歳以上	107	1.9	0.0	1.9	1.9	5.6	18.7	7.5

上位 1位 2位 3位 無回答除く

前回調査と比較すると、「ウォーキング」がともに3割以上と最も多くなっています。また、前回調査では、「ウォーキング」、「ジョギング・ランニング」、「ゴルフ」、「スポーツジム」であったのに対し、今回調査では、「ウォーキング」、「ゴルフ」、「ジョギング・ランニング」、「体操・健康体操」となっています。

「ウォーキング」と「ゴルフ」については、前年と比較すると増加傾向にあります、「ジョギング・ランニング」については1.1ポイント減少する結果となっています。

図 24 【現在行っているスポーツ（経年比較）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

問12 あなたが、今スポーツを行っているのはどのような理由からですか。（複数回答）（3つまで）

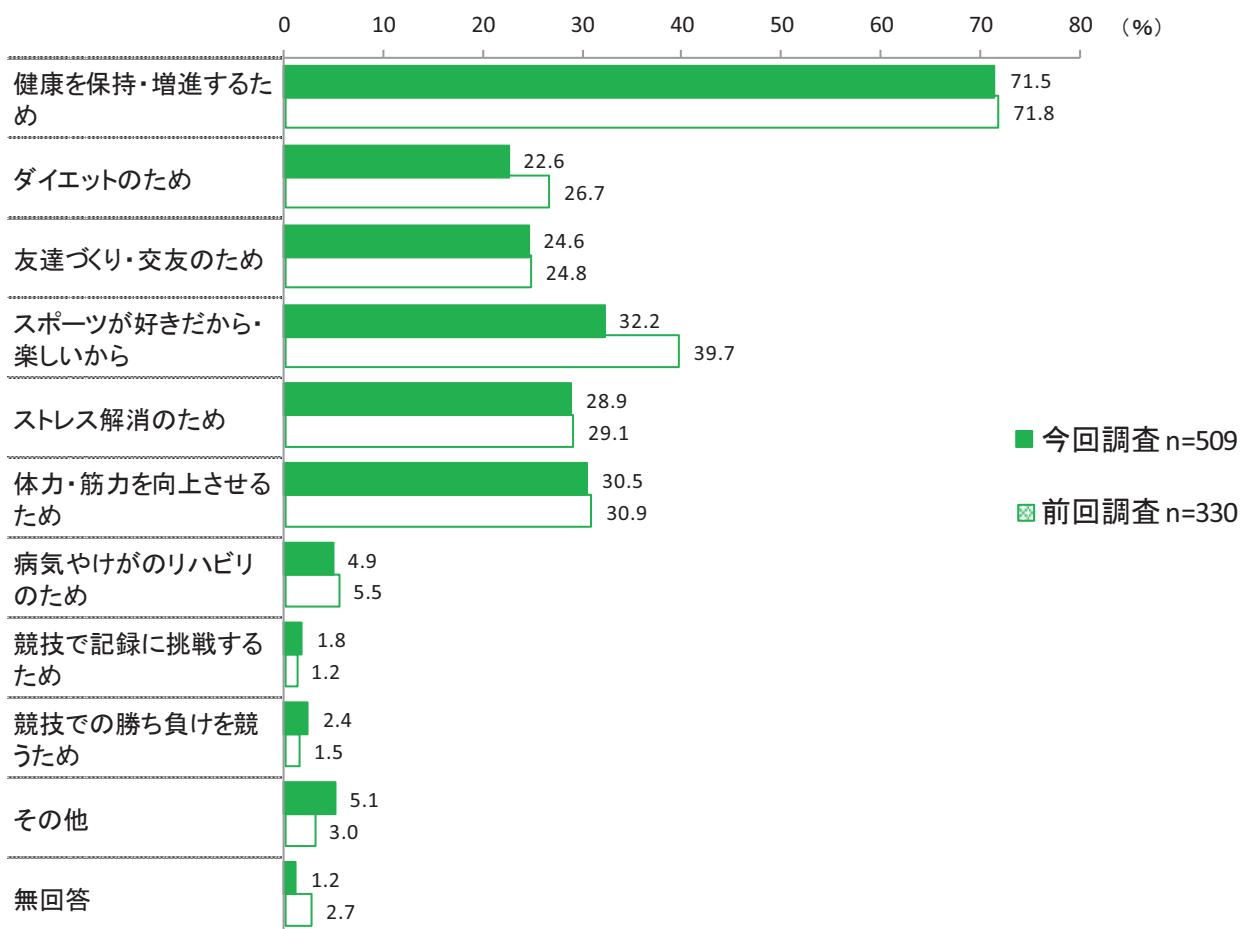
※問9で「毎日」、「週に3～4日程度」、「週に1～2日程度」、「月に1～3日程度」、「年に1～3日程度」を選んだ人のみ。

◆ スポーツを行っている理由「健康を保持・増進するため」71.5%

スポーツを行っている理由は、「健康を保持・増進するため」が71.5%と最も多く、次いで「スポーツが好きだから・楽しいから」が32.2%、「体力・筋力を向上させるため」が30.5%となっています。スポーツの目的として「健康を保持・増進するため」が7割以上を占め、他の項目の2倍以上となっている点から、スポーツに健康の保持と増進を求めていることがわかります。そのため、「するスポーツ」を推進していく取り組み方として、「健康」と結び付けたイベントや講座を開いていくことも考えられます。

前回調査と比較すると、最も変化した項目は、「スポーツが好きだから・楽しいから」となっており、今回調査において7.5ポイント減少しています。また、競技スポーツの振興という点からは、「競技で勝ち負けを競うため」が前回調査より0.9ポイント高くなっています。

図 25 【スポーツを行っている理由】



年代別でみると、どの年代においても「健康を保持・増進するため」が最も多くなっています。次いで「スポーツが好きだから・楽しいから」と回答した年代は、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」となっています。「20歳代」は「ストレス解消のため」、「40歳代」は「ダイエットのため（同率でスポーツが好きだから・楽しいから）」、「50歳代」は「体力・筋力を向上させるため」、「70歳以上」は「友達づくり、交友のため」となっています。「70歳以上」のスポーツの実施頻度が高い理由の一つとして、他の年代より「友達づくり・交友のため」、つまり他者とのつながりに重きを置いている点が影響していると思われます。

性別でみると、「男性」、「女性」とともに「健康を保持・増進するため」が最も多くなっています。次いで、「男性」では「スポーツが好きだから・楽しいから」、「女性」では「体力・筋力を向上させるため」となっています。また、2番目以降に「スポーツが好き・楽しい」、「友達づくり・交友のため」という理由をあげた「男性」と、「体力・筋力の向上」、「ストレスの解消」をあげた「女性」を比較すると、「女性」はより「健康な体や心を維持・増進」を目的としてスポーツに取り組んでいることが伺えます。

表 9 【スポーツを行っている理由（年代別・性別）】

		調査数(n)	ため健康を保持・増進する	ためダイエットのため	ため友達づくり・交友のた	ら・楽しいから	スポーツが好きだか	ストレス解消のため	体力・筋力を向上させ	るため	病気やけがのリハビリ	ため競技で記録に挑戦する	うため競技での勝ち負けを競	その他	(%)
年代別	20歳代	40	45.0	32.5	20.0	35.0	42.5	22.5	-	2.5	12.5	-	2.5		
	30歳代	75	56.0	25.3	21.3	34.7	28.0	26.7	1.3	1.3	1.3	18.7	-		
	40歳代	83	62.7	36.1	21.7	36.1	27.7	28.9	2.4	3.6	2.4	7.2	1.2		
	50歳代	89	75.3	21.3	21.3	30.3	24.7	33.7	1.1	2.2	2.2	3.4	2.2		
	60歳代	115	82.6	16.5	25.2	34.8	32.2	33.0	7.8	0.9	0.9	1.7	0.9		
	70歳以上	107	84.1	14.0	32.7	25.2	25.2	31.8	11.2	0.9	0.9	0.9	0.9		
性別	男性	267	69.7	20.2	29.2	37.8	28.5	24.7	3.4	2.6	3.7	3.4	1.5		
	女性	238	73.1	25.2	19.7	26.1	29.8	36.6	6.3	0.8	0.8	7.1	0.8		

上位 1位 2位 3位 無回答除く

3 スポーツクラブやチーム等への所属

問13 あなたは、スポーツクラブやチーム等に所属していますか。(単数回答)

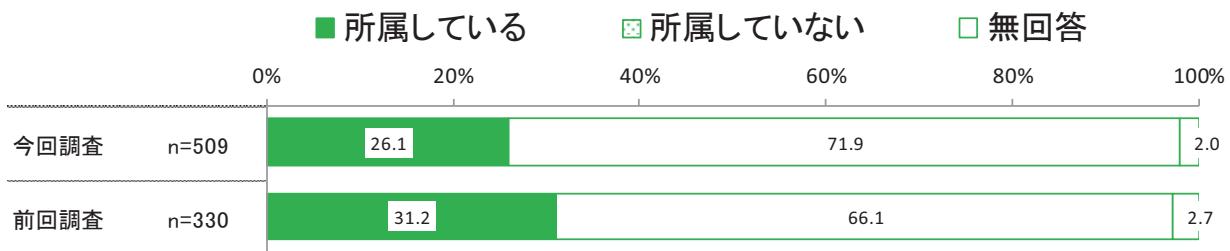
※問9で「毎日」、「週に3～4日程度」、「週に1～2日程度」、「月に1～3日程度」、「年に1～3日程度」を選んだ人のみ。

◆ スポーツクラブやチーム等に「所属している」 26.1%、「所属していない」 71.9%

スポーツクラブやチーム等に「所属している」が26.1%、「所属していない」が71.9%となっています。

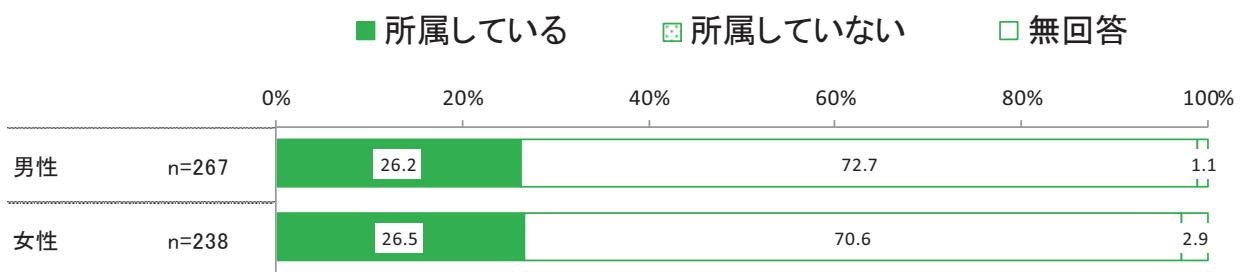
前回調査と比較すると、「所属している」が今回調査では5.1ポイント減少し、所属していないが7割を超えていました。これは、【図1】より、「60歳以上」の回答率が15.9ポイント増加していることが一因として考えられます。

図26 【スポーツクラブやチーム等の所属について】



性別でみると、「男性」、「女性」とともに約26.0%となっています。そのため、スポーツクラブやチームの所属については、性別による差はありませんと考えられます。

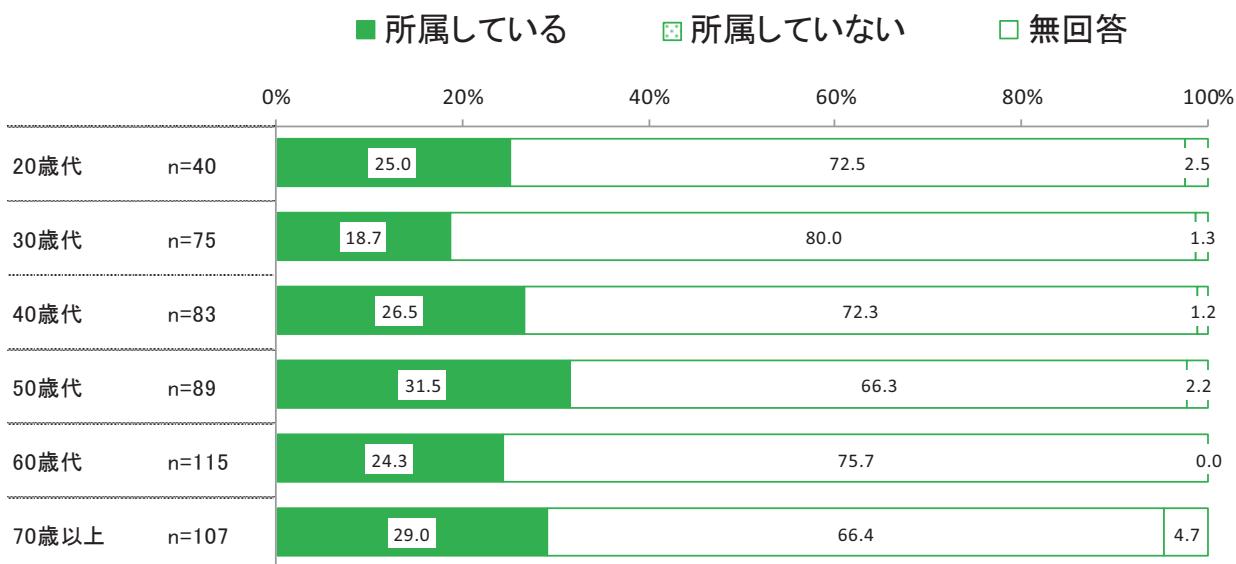
図27 【スポーツクラブやチーム等の所属について(性別)】



年代別でみると、「50歳代」が31.5%と最も多く、次いで「70歳以上」が29.0%、「40歳代」が26.5%となっています。また、所属率が一番低い年代は、「30歳代」で8割となっています。

【図 19】より、年代が高くなるほどスポーツの実施頻度が高くなる傾向がありました。スポーツクラブやチーム等の所属においては、大きな差は見られませんでした。このことより、「60歳以上」は、スポーツクラブやチーム等に所属せずにスポーツ活動をしている割合が、他の年代よりも高いと思われます。

図 28 【スポーツクラブやチーム等の所属について（年代別）】



所属別にみると、所属の有無に関わらず「健康を保持・増進するため」が最も多くなっています。次いで「所属している」は、「スポーツが好きだから・楽しいから」、「友達づくり・交友のため」となっており、「所属していない」は、「体力・筋力を向上させるため」、「ストレス解消のため」となっています。

表 10 【スポーツクラブやチーム等に所属している人の活動理由】

		調査数 （n）	す 健 康 た を め 保 持 ・ 増 進	ダ イ エ ツ ト の た め	の 友 た 達 め づ く り ・ 交 友	か ス ら ボ ・ 一 楽 ツ し が い 好 か き ら だ	め ス ト レ ス 解 消 の た	さ 体 せ 力 る ・ た 筋 力 め を 向 上	ビ 病 り 気 の や た け め が の リ ハ	す 競 る 技 た で め 記 録 に 挑 戦	を 競 技 う で た の め 勝 ち 負 け	そ の 他	無 回 答	(%)
所	属													
所 属	所属している	133	68.4	15.8	40.6	56.4	27.8	25.6	1.5	3.8	6.8	-	0.8	
	所属していない	366	73.8	25.7	18.9	24.0	29.8	32.8	6.0	1.1	0.5	7.1	0.3	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

4 スポーツをしていない理由

問14 あなたが、スポーツをしていないのはどのような理由からですか。（複数回答）（いくつでも）

※問9で、「全くしていない」を選んだ方のみ。

※選択肢10「健康上の理由」が前回調査では「身体的な理由」となっています。

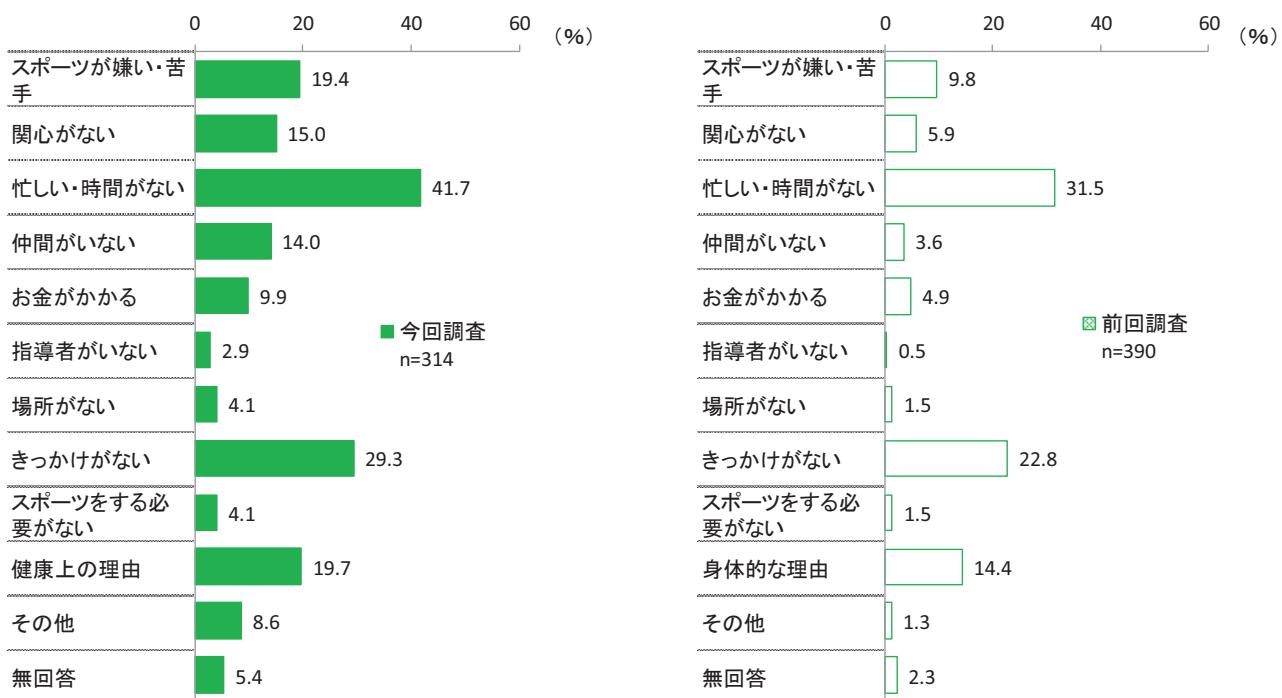
※前回調査は「単数回答」で、今回調査は「複数回答」となっています。

◆ スポーツをしていない理由は「忙しい・時間がない」41.7%

スポーツをしていない理由は、「忙しい・時間がない」が41.7%と最も多く、次いで「きっかけがない」が29.3%、「健康上の理由」が19.7%となっています。スポーツ活動を阻害する要因として「忙しい・時間がない」が約4割を占める結果となった一方で、「きっかけがない」が約3割となっています。このことから、様々な形で「スポーツに触れ合うきっかけ」の場を提供していく必要があると思われます。

前回調査と比較すると、上位4項目の順番、「忙しい・時間がない」、「きっかけがない」、「健康上の理由」、「スポーツが嫌い・苦手」が同じになっています。そのため、スポーツ活動を阻害する要因は、段階の変化がないと思われます。

図 29 【スポーツをしていない理由】



年代別でみると、「50歳代」までは「忙しい・時間がない」が最も多く、それぞれ5割以上となっています。「60歳代」では「きっかけがない」が39.4%、「70歳以上」では「健康上の理由」が39.3%と最も多くなっています。またこれらは、「仕事」が関係していると思われます。特に「60歳代」は、「定年」という生活スタイルの変化しやすい時期を迎える為、新たな活動への転換を行っていく中で、スポーツ活動へのきっかけがつかめないと感じている人が出てくる可能性があります。そして、「30歳代～50歳代」でも「きっかけがない」が2番目の阻害要因になっている点にも注目する必要があると思われます。

性別でみると、男女とも「忙しい・時間がない」が最も多く、次いで「きっかけがない」となっています。また、「忙しい・時間がない」を理由にあげた割合は、「女性」が「男性」よりも9.4ポイント高くなっています。

表 11 【スポーツをしていない理由（年代別・性別）】

		調査数(n)	スポーツが嫌い・苦手	関心がない	忙しい・時間がない	仲間がない	お金がかかる	指導者がない	場所がない	きっかけがない	ないスポーツをする必要が	健康上の理由	その他	無回答 (%)
年代別	20歳代	22	50.0	27.3	50.0	22.7	4.5	-	4.5	36.4	9.1	4.5	4.5	-
	30歳代	37	18.9	16.2	51.4	8.1	10.8	-	2.7	32.4	5.4	8.1	16.2	8.1
	40歳代	46	21.7	10.9	58.7	21.7	17.4	4.3	10.9	39.1	4.3	6.5	4.3	2.2
	50歳代	59	18.6	20.3	55.9	16.9	16.9	3.4	5.1	33.9	5.1	10.2	1.7	5.1
	60歳代	66	15.2	18.2	36.4	15.2	9.1	3.0	3.0	39.4	-	24.2	6.1	4.5
	70歳以上	84	14.3	7.1	20.2	7.1	2.4	3.6	1.2	9.5	4.8	39.3	15.5	8.3
性別	男性	129	17.8	18.6	36.4	17.1	9.3	3.9	4.7	27.9	6.2	22.5	4.7	7.0
	女性	179	20.1	12.8	45.8	11.7	10.1	2.2	3.4	30.2	2.8	17.9	11.2	4.5

上位 1位 2位 3位 無回答除く

3. あなたの将来のスポーツ活動についてお尋ねします

1 将来行ってみたいスポーツについて

問15 あなたが、これからやってみたい、もしくは続けて行きたいスポーツや運動を記入してください。(複数回答) (3つまで)

◆ 将来行ってみたい、続けて行きたいスポーツ「ウォーキング」22.6%

将来行ってみたい、続けて行きたいスポーツについては、「ウォーキング」が最も多く、次いで「水泳」が9.9%、「テニス」が9.7%となっています。また、【表 7】より、現在行っているスポーツとして「水泳」、「テニス」とともに4.7%の点を考慮すると、今後需要が高くなる可能性が考えられます。

表 12 【やってみたい、続けて行きたいスポーツ】

これからやってみたい、続けて行きたいスポーツ(上位22種目)

	選択肢	件数	(%)
1	ウォーキング	189	22.6
2	水泳	83	9.9
3	テニス	81	9.7
4	ゴルフ	71	8.5
5	ジョギング・ランニング	60	7.2
6	ヨガ	49	5.9
7	登山・トレッキング	42	5.0
8	卓球	41	4.9
9	体操・健康体操	38	4.6
10	バドミントン	37	4.4
11	自転車	35	4.2
12	野球	34	4.1
13	バレーボール	28	3.4
14	サッカー・フットサル	27	3.2
15	ソフトボール	27	3.2
16	グラウンド・ゴルフ	27	3.2
17	スポーツジム・筋力トレーニング	24	2.9
18	マラソン	23	2.8
19	ダンス	17	2.0
20	武道	16	1.9
21	ソフトバレーボール	16	1.9
22	ストレッチ	16	1.9
23	その他	142	17.0
24	無回答	240	28.7

※サンプル数(n=835)

その他の項目(n=142)

アイスホッケー	ゲッタマン	ピラティス	射撃
インディアカ	サーフィン	フィギュアスケート	乗馬
ウインタースポーツ	ジャグリング	フライングディスク	水中ウォーキング
ウェイクボード	スカッシュ	ボウリング	水中エアロ
エアロ	スケート	ボクシング	相撲
エアロバイク	ダイビング	ボルダリング	孫とのトレーニング
エアロビクス	つま先立ち	マシントレーニング	体力維持のための運動
エクササイズ	ドッヂボール	ヨット	釣り
オートバイ	トレーニング	ラフティング	鉄棒
オショダダイエット	バスケットボール	レクリエーション活動	日本の踊り
カイトボード	パドルボード	ロッククライミング	認知症予防運動
カヌー	パラグライダー	基礎体力づくり	馬術
キャンプ	バレトン	気功	野外活動
クライミング	ハンドボール	弓道	陸上競技
ゲートボール	ビーチバレー	球技	

※一部抜粋

豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別でみると、「20歳代」以外で「ウォーキング」が最も多くなっており、「20歳代」では、「水泳」が最も多くなっています。また、「20歳代」と「30歳代」では、「ジョギング・ランニング」が1割以上をこえる結果となっています。「70歳以上」においては、「グラウンド・ゴルフ」と「体操・健康体操」が他の年代と比較して、最も多くなっています。

※「その他」、「無回答」は除く

表 13 【やってみたい、続けて行きたいスポーツ（年代別）】

		調査票（n）	ウォーキング	水泳	テニス	ゴルフ	ニジショギング・ラン	ヨガ	グ登山・トレッキン	卓球	(%)
年代別	20歳代	62	11.3	16.1	8.1	3.2	12.9	6.5	0.0	1.6	
	30歳代	112	19.6	8.9	14.3	10.7	16.1	12.5	1.8	3.6	
	40歳代	129	20.9	11.6	16.3	9.3	7.0	7.8	3.1	1.6	
	50歳代	148	20.9	10.1	8.8	12.2	4.1	7.4	11.5	5.4	
	60歳代	183	32.2	11.5	8.7	9.3	5.5	4.4	8.2	7.1	
	70歳以上	195	21.5	6.2	4.1	5.1	4.6	0.5	2.1	6.7	

		調査票（n）	体操・健康体操	バドミントン	自転車	野球	バレーボール	サッカー・フット	ソフトボール	グラウンド・ゴル	(%)
年代別	20歳代	62	0.0	4.8	4.8	14.5	6.5	9.7	0.0	0.0	
	30歳代	112	4.5	8.0	8.0	7.1	3.6	8.0	3.6	0.0	
	40歳代	129	2.3	8.5	7.0	5.4	7.0	5.4	7.0	1.6	
	50歳代	148	2.7	6.8	2.7	3.4	3.4	1.4	2.7	1.4	
	60歳代	183	5.5	1.1	4.4	1.1	1.1	1.6	2.7	2.2	
	70歳以上	195	8.2	1.0	1.0	0.5	0.5	0.0	2.1	9.7	

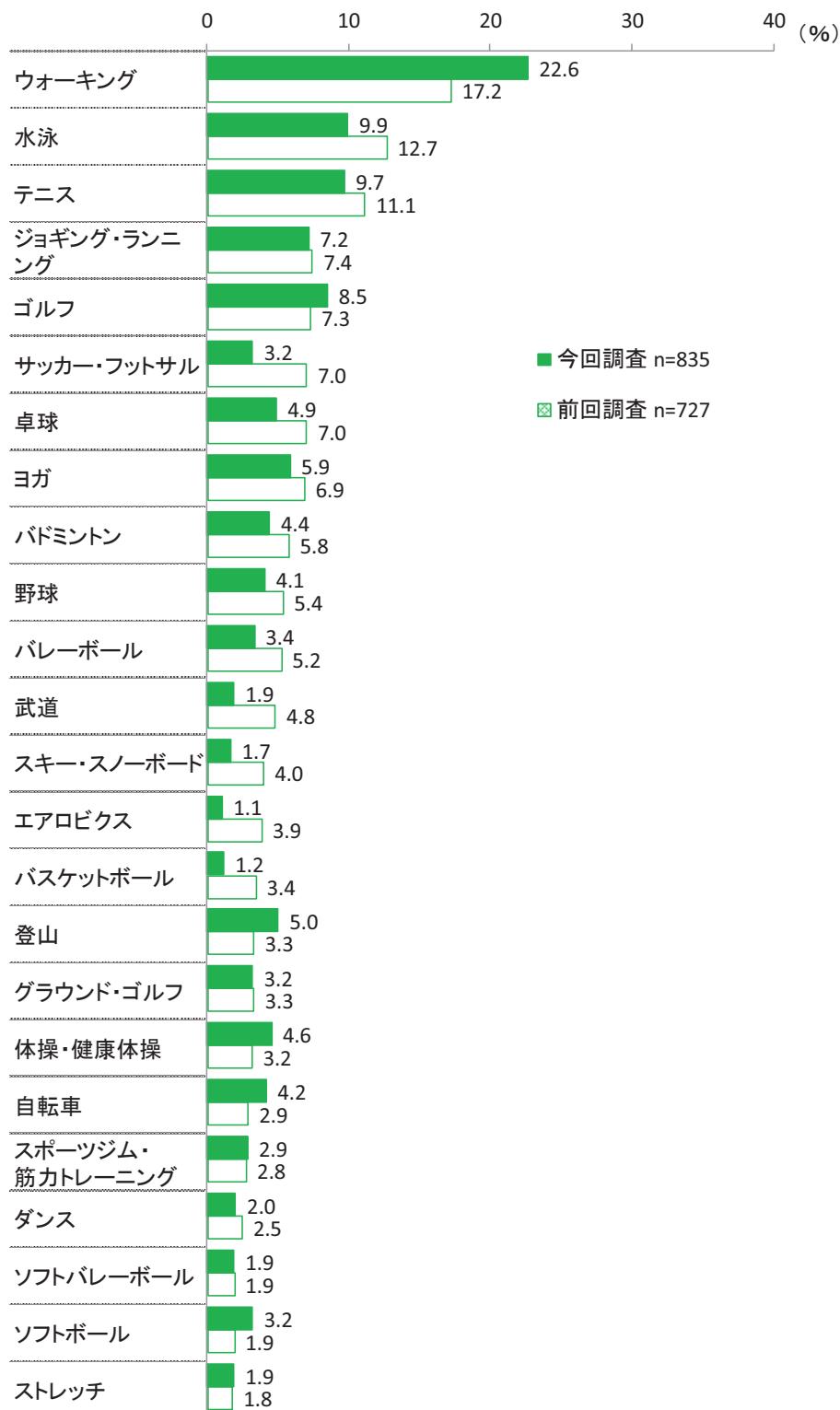
		調査票（n）	筋スカボトレツジニムング	マラソン	ダンス	武道	ルソフトラーボー	ストレッチ	その他	無回答	(%)
年代別	20歳代	62	1.6	4.8	6.5	1.6	0.0	1.6	32.3	21.0	
	30歳代	112	6.3	6.3	3.6	1.8	4.5	0.9	21.4	13.4	
	40歳代	129	3.1	3.9	1.6	2.3	1.6	3.1	24.0	18.6	
	50歳代	148	2.7	2.7	1.4	1.4	2.7	0.7	14.2	30.4	
	60歳代	183	4.4	1.1	1.1	2.2	1.6	4.4	15.3	29.0	
	70歳以上	195	0.0	1.0	1.5	1.5	0.0	0.5	8.2	46.2	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

前回調査と比較すると、「ウォーキング」がともに最も多くなっています。また、前回調査と比較して「ウォーキング」が5.4ポイント増加している一方で、「水泳」が2.8ポイント、「テニス」が1.4ポイント減少しています。そのため、【表7】より、上位種目である「水泳」と「テニス」についてはさらに詳しく、検証していく必要があると思われます。

また、「サッカー・フットサル」においては3.6ポイント、「武道」においては、2.9ポイントの減少となっています。

図30 【やってみたい、続けて行きたいスポーツ（経年比較）】



2 将来スポーツを行う場合の目的

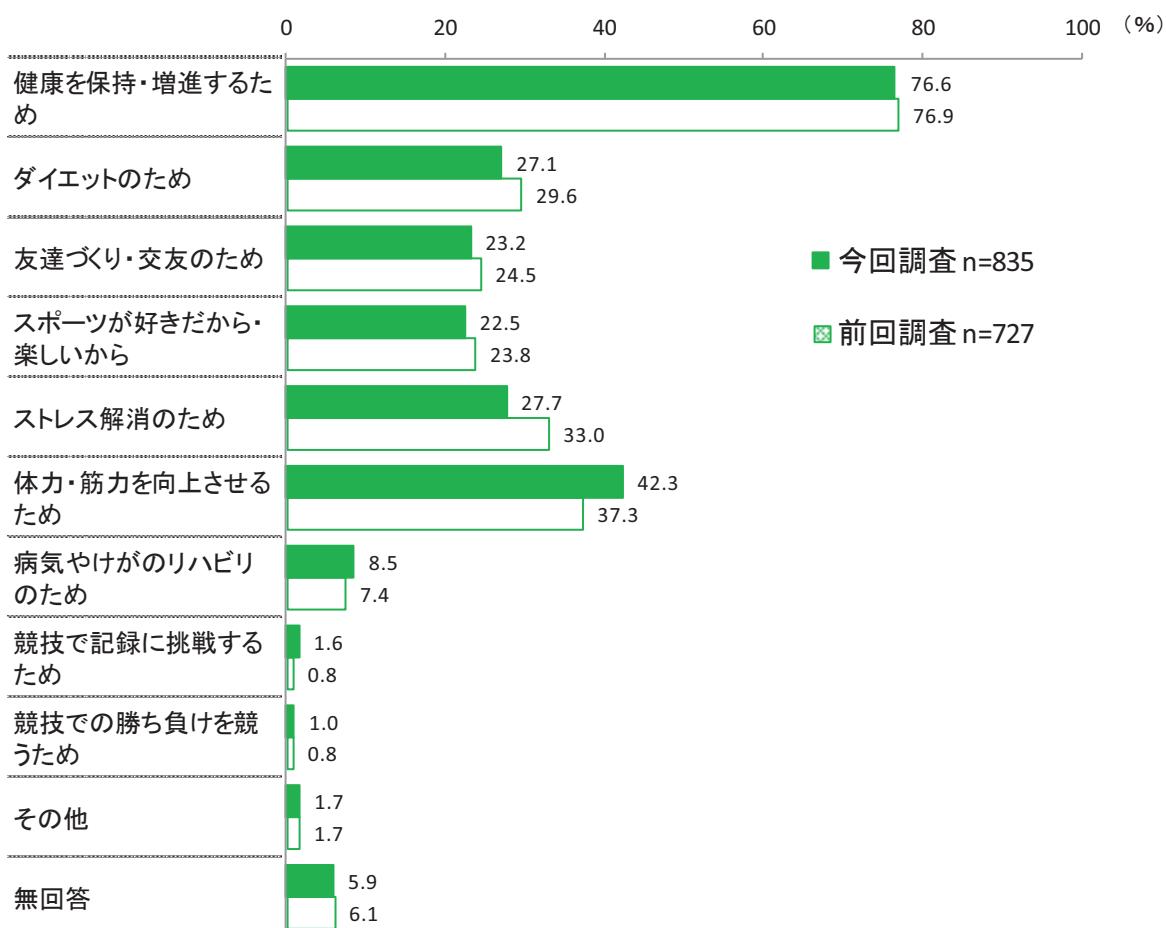
問16 あなたがスポーツを行おうとする場合、どのような目的で行うことになると思いますか。
(複数回答) (3つまで)

◆ スポーツを行う場合の目的「健康を保持・増進するため」 76.6%

これからスポーツを行う際に目的となると考えられるものは、「健康を保持・増進するため」が76.6%と最も多く、次いで「体力・筋力を向上させるため」が42.3%、「ストレス解消のため」が27.7%となっています。また、【図25】の現在スポーツを行っている理由として2番目にあげられた「スポーツが好きだから・楽しいから」が、今後行う目的としては6番目となっています。このことから、「スポーツが好きだから・楽しいから」に関しては、現在スポーツをする目的と今後スポーツする際の目的のかい離があることに注意してみる必要があります。また、「健康の保持・増進」、「体力・筋力の向上」の面に今後のニーズがあることがわかりました。

前回調査と比較すると、上位7項目の順番が同じになっています。また、一番違いが出た項目は、「体力・筋力を向上させるため」が今回調査では5.0ポイント増加しています。

図 31 【スポーツを行う場合の目的】



年代別にみると、どの年代でも「健康を保持・増進するため」が最も多く、6割以上を占めています。そして、「50歳代」と「60歳代」ではともに8割をこえています。次いで「体力・筋力を向上させるため」となっています。

また、「競技スポーツの振興」でみると、年代が低いほど高くなる傾向にありますが、1割にも満たない状況です。そのため、競技スポーツを進展させていくためには、「20歳代」や「30歳代」への環境を整えていくだけではなく、他の年代への情報発信や環境整備も進めていく必要があると思われます。

性別でみると、男女ともに「健康を保持・増進するため」が最も多く、次いで「体力・筋力を向上させるため」となっています。

以上のことから、どの年代、どちらの性別においても「健康を保持・増進するため」、「体力・筋力を向上させるため」にスポーツを行いたいとのニーズがあると思われます。

※「競技スポーツの振興」の数値は、「競技での勝ち負けを競うため」と「競技で記録に挑戦するため」を合わせたものとなっています。

表 14 【スポーツを行う場合の目的（年代別・性別）】

		調査数（n）	た健康を保持・増進する	ダイエットのため	め友達づくり・交友のた	らス・ポー・ツいが好きだか	ストレス解消のため	る体力ため・筋力を向上させ	の病気やけがのりハビリ	ため競技で記録に挑戦する	うため競技での勝ち負けを競	その他	無回答
年代別	20歳代	62	66.1	32.3	21.0	38.7	35.5	54.8	-	3.2	4.8	-	1.6
	30歳代	112	73.2	40.2	20.5	27.7	33.0	45.5	4.5	2.7	0.9	0.9	-
	40歳代	129	75.2	44.2	21.7	30.2	30.2	45.0	3.1	0.8	0.8	1.6	2.3
	50歳代	148	82.4	28.4	26.4	20.3	27.0	39.2	6.1	2.0	-	0.7	3.4
	60歳代	183	85.8	20.2	21.3	18.6	28.4	46.4	12.0	1.1	0.5	1.6	6.0
	70歳以上	195	69.7	12.3	26.7	13.3	20.0	33.3	15.9	1.0	-	3.6	14.9
性別	男性	398	72.9	24.1	26.1	27.4	27.9	38.2	7.5	2.5	1.3	2.0	6.0
	女性	420	80.2	30.0	21.2	17.4	27.4	46.7	9.3	0.7	0.2	1.4	5.5

上位 1位 2位 3位 無回答除く

3 将来スポーツを行う際の場所

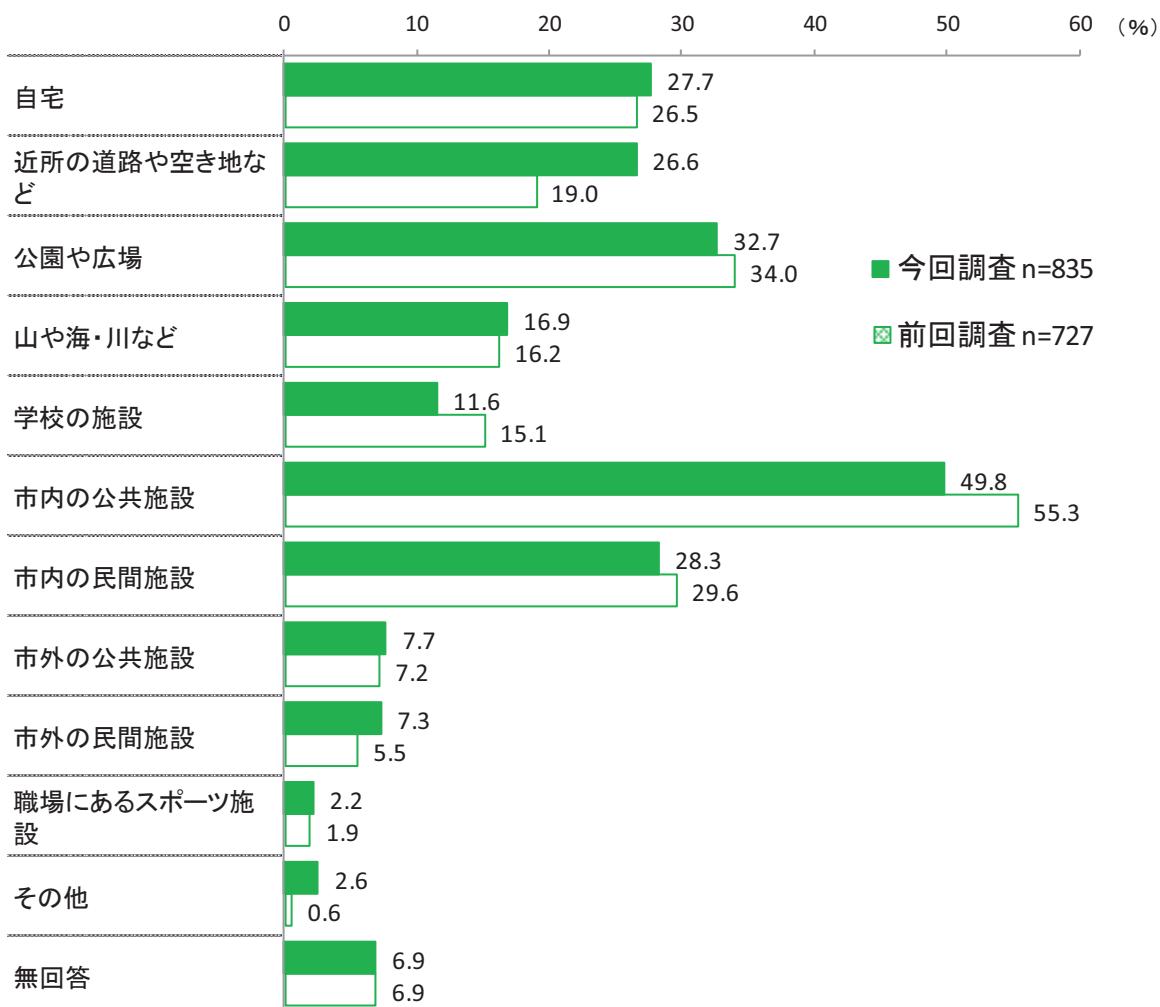
問17 今後、あなたがスポーツを行おうとする時、どこでスポーツを行いたいですか。（複数回答）
(いくつでも)

◆ スポーツを行う際の場所「市内の公共施設」49.8%

これからスポーツを行う際の場所として考えられるものは、「市内の公共施設」が49.8%と最も多く、次いで「公園や広場」が32.7%、「市内の民間施設」が28.3%となっています。また、【図 23】より、現在行っているスポーツ場所としての「市内の公共施設」と比較すると、26.6ポイント高くなっています。このことから「市内の公共施設」のニーズがあると考えられるため、市内の公共施設についての情報発信や整備等を進めていく必要があると思われます。

前回調査と比較すると、スポーツを行う際の場所の順番に変化はありませんでした。また、スポーツを行いたい場所として最も差が出た項目は、「近所の道路や空き地など」で7.6ポイント増加となっています。

図 32 【スポーツを行う際の場所】



年代別にみると、どの年代においても「市内の公共施設」が最も多くなっています。次いで「20歳代～40歳代」までは「市内の民間施設」、「50歳以上」の年代では「公園や広場」となっています。

「市内の民間施設」においては、「20歳代～40歳代」で約4割以上が希望している一方で、「50歳以上」の年代では約2割～1割にとどまっています。このことから年代が高い世代は、比較的市内の民間施設を利用しない傾向があると思われます。

性別でみると、男女ともに「市内の公共施設」が最も多くなっています。次いで「男性」では「公園や広場」、「近所の道路や空き地など」、「女性」では「自宅」、「市内の民間施設」となっています。

表 15 【スポーツを行う際の場所（年代別・性別）】

		調査数（n）	自宅	地近所などの道路や空き	公園や広場	山や海・川など	学校の施設	市内の公共施設	市内の民間施設	市外の公共施設	市外の民間施設	ツ職場にあるスポ	その他	(%)	
年 代 別	20歳代	62	33.9	30.6	33.9	24.2	11.3	61.3	45.2	22.6	12.9	4.8	-	1.6	
	30歳代	112	31.3	26.8	35.7	21.4	16.1	66.1	42.9	12.5	12.5	3.6	2.7	-	
	40歳代	129	20.9	24.0	31.8	18.6	14.0	57.4	38.8	8.5	9.3	6.2	1.6	3.9	
	50歳代	148	23.6	21.6	24.3	22.3	10.8	49.3	23.6	6.1	6.1	2.0	2.7	4.1	
	60歳代	183	27.9	30.6	39.3	18.6	10.9	44.8	25.7	5.5	7.1	-	2.2	7.1	
	70歳以上	195	31.3	26.7	31.8	5.6	7.2	35.9	12.3	3.1	2.6	-	4.6	16.9	
	性別	男性	398	21.1	26.4	38.2	20.1	10.3	44.2	25.9	9.8	9.5	2.5	3.0	6.8
		女性	420	33.8	26.9	27.9	14.0	12.4	54.8	30.2	5.7	5.2	1.9	2.4	6.9

上位 1位 2位 3位 無回答除く

4 将来スポーツを行う際に考えられる問題点

問18 あなたが、将来スポーツを行おうとするときに問題となると考えられることは何ですか。
(複数回答) (3つまで)

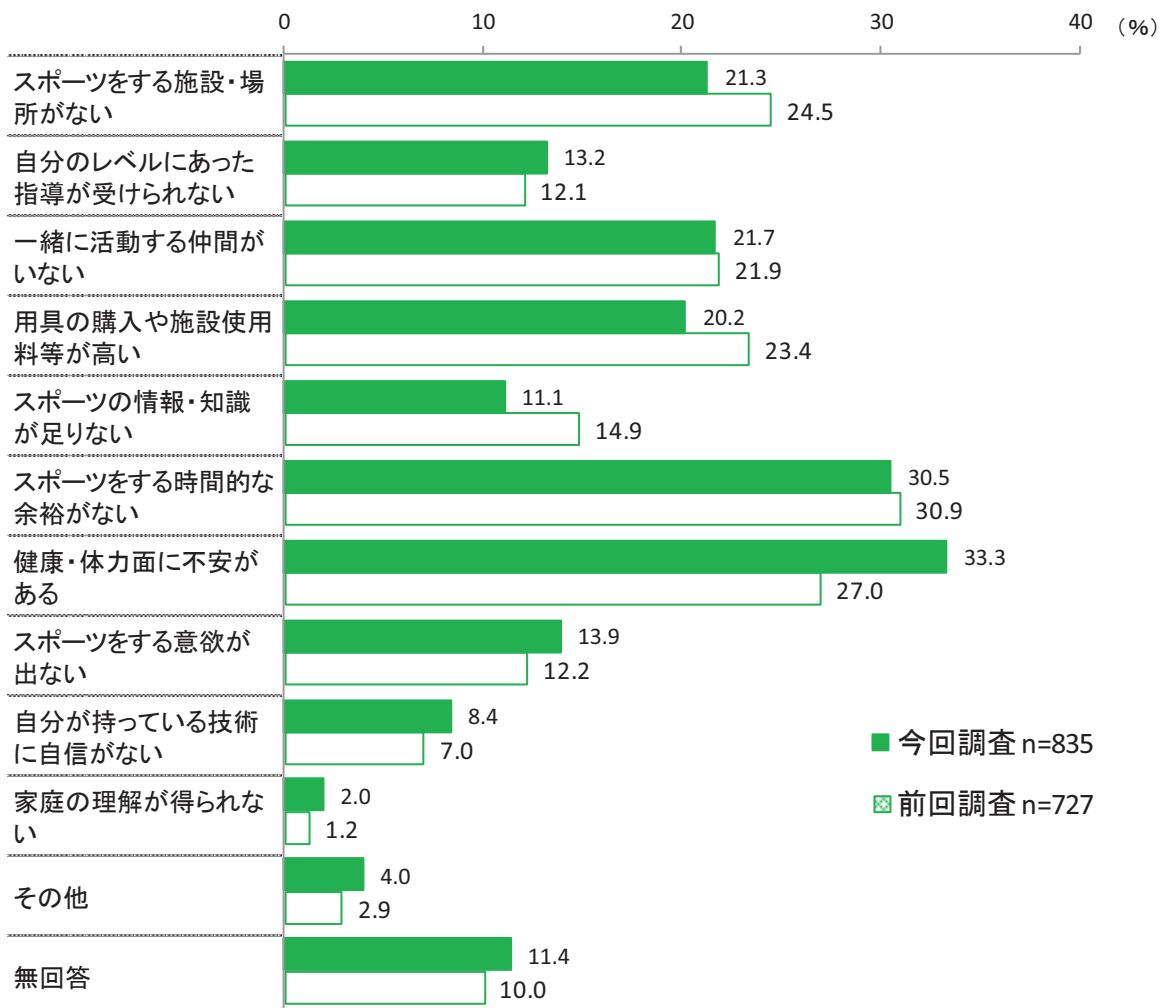
◆ 将来スポーツを行う際に考えられる問題点「健康・体力面に問題がある」 33.3%

将来スポーツを行う際に考えられる問題点は、「健康・体力面に問題がある」が33.3%と最も多く、次いで「スポーツをする時間的な余裕がない」が30.5%、「一緒に活動する仲間がない」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「健康・体力面に不安がある」が今回調査では6.3ポイント増加しています。また、前回調査の順番は「スポーツをする時間的な余裕がない」、「健康・体力面に不安がある」、「スポーツする施設・場所がない」であったのに対し、今回調査の順番は「健康・体力面に不安がある」、「スポーツをする時間的な余裕がない」、「一緒に活動する仲間がない」となっています。

さらに、「スポーツする施設・場所がない」、「用具の購入や施設使用料等が高い」、「スポーツの情報・知識が足りない」がそれぞれ前回調査と比較して3.0ポイント以上減少している点は、それらの問題点が改善傾向にあることを示していると考えられます。

図 33 【将来スポーツを行う際の問題点】



年代別でみると、「20歳代～50歳代」までは「スポーツをする時間的な余裕がない」が最も多く、「60歳以上」では「健康・体力面に不安がある」が最も多くなっています。次いで「20歳代」では「スポーツをする施設・場所がない」、「一緒に活動する仲間がない」、「30歳代」と「60歳代」では「一緒に活動する仲間がない」となっています。「40歳代」と「50歳代」では「健康・体力面に不安がある」、「70歳以上」では「スポーツをする施設・場所がない」となっています。以上よりどの年代においても将来スポーツをする際の問題点としては、「スポーツをする時間的な余裕がない」と「健康・体力面に不安がある」と考えられます。

性別でみると、「男性」では「スポーツをする時間的な余裕がない」が31.4%と最も多く、次いで「健康・体力面に不安がある」が30.9%となっており、「女性」では「健康・体力面に不安がある」が35.7%と最も多く、次いで「スポーツをする時間的な余裕がない」が30.5%となっています。これらより、男女ともに将来スポーツをする際の問題点としては、「スポーツをする時間的な余裕がない」と「健康・体力面に不安がある」があると考えられます。

表 16 【将来スポーツする際の問題点（年代別・性別）】

		調査数（n）	場所がいをなつける施設・	指導者が受けられるにあつた	一緒に活動する仲間が	料用等がの高い購入や施設使用	が足りない情報・知識	なスポーツがなをする時間的	ある健康・体力面に不安が	出ないスポーツをする意欲が	に自分が持つている技術	い家庭の理解が得られな	その他	無回答	(%)
年代別	性別	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男性	女性						
年代別	20歳代	62	38.7	6.5	38.7	33.9	8.1	51.6	12.9	24.2	8.1	1.6	4.8	1.6	
	30歳代	112	26.8	8.0	27.7	26.8	11.6	53.6	21.4	14.3	8.0	4.5	3.6	0.9	
	40歳代	129	24.0	16.3	22.5	30.2	5.4	40.3	36.4	14.0	3.9	3.9	4.7	3.1	
	50歳代	148	23.0	12.8	20.3	24.3	14.9	34.5	32.4	13.5	5.4	2.0	2.7	7.4	
	60歳代	183	16.4	18.6	21.3	16.9	16.9	19.7	33.9	13.7	13.1	0.5	3.3	13.1	
	70歳以上	195	13.8	9.7	13.3	6.2	7.2	11.8	45.1	11.3	9.7	1.0	5.1	27.7	
性別	男性	398	23.1	11.1	22.9	22.1	9.5	31.4	30.9	13.3	7.0	1.5	3.8	11.3	
	女性	420	19.3	14.5	20.7	18.6	12.6	30.5	35.7	14.3	9.8	2.6	4.3	11.7	

5 スポーツを行う際の施設利用料

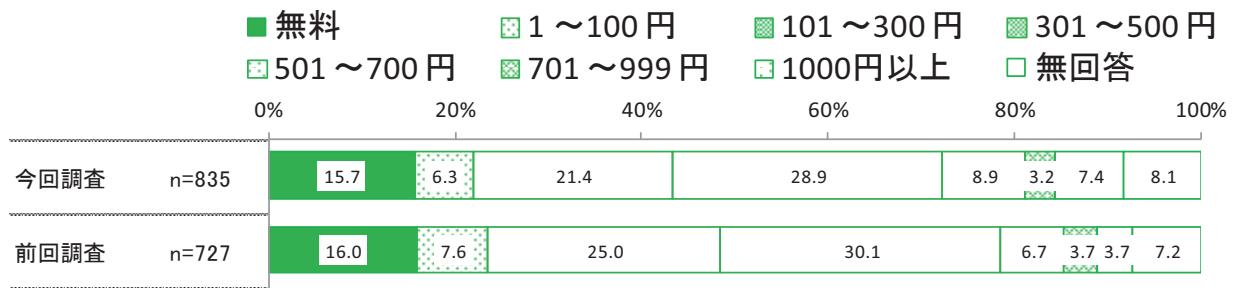
問19 スポーツを行う際、あなたが負担してもよいと思う1回あたりの施設使用料はいくらですか。(単数回答)

◆ 負担してもよいと考える1回当たりの利用料「301～500円」

負担してもよいと考える1回あたりの利用料は、「301～500円」が28.9%で最も多く、次いで「101～300円」が21.4%、「無料」が15.7%となっています。また、「500円以下」が72.3%、「1000円以下」が84.4%となっています。

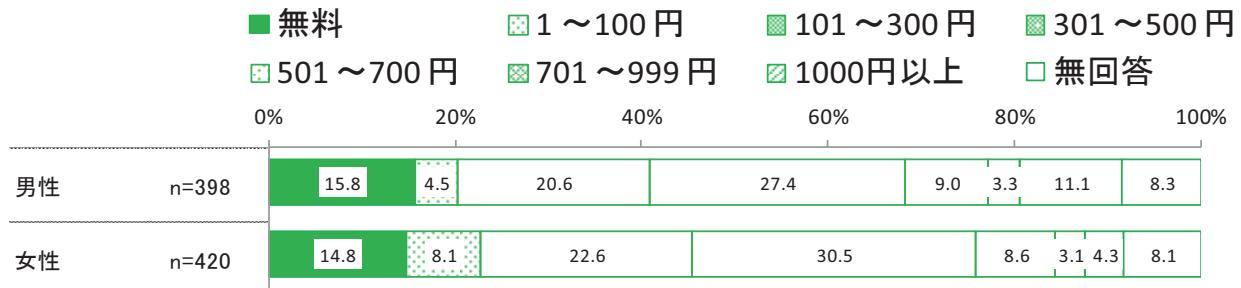
前回調査と比較すると、今回調査では「500円以下」が6.4ポイント減少し、「501円以上」が5.4ポイント増加しています。このことから施設利用料として負担してもよいと考える額は、増加傾向にあるといえます。

図 34 【負担してもよいと考える施設使用料】



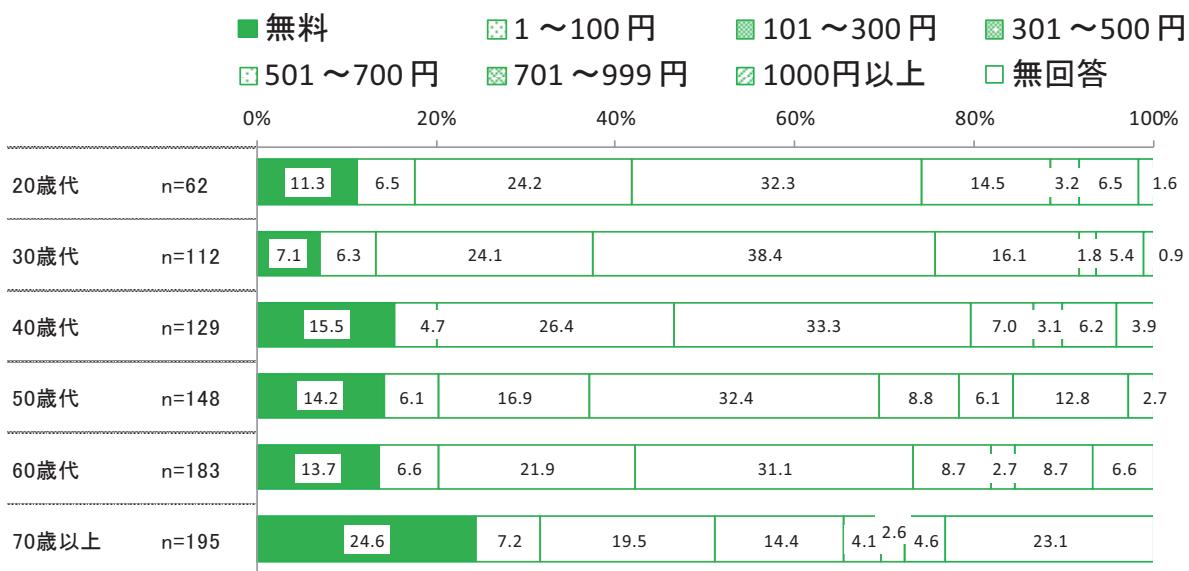
性別でみると、「500円以下」と回答した「男性」は68.3%、「女性」は76.0%となっており、「女性」の方が7.7ポイント高くなっています。また、「1000円以下」と回答した「男性」は80.6%、「女性」は87.7%となっており、「女性」の方が7.1ポイント高くなっています。このことから、施設の利用料として負担してもよい額は、「女性」の方が低くなっていると思われます。

図 35 【負担してもよいと考える施設使用料（性別）】



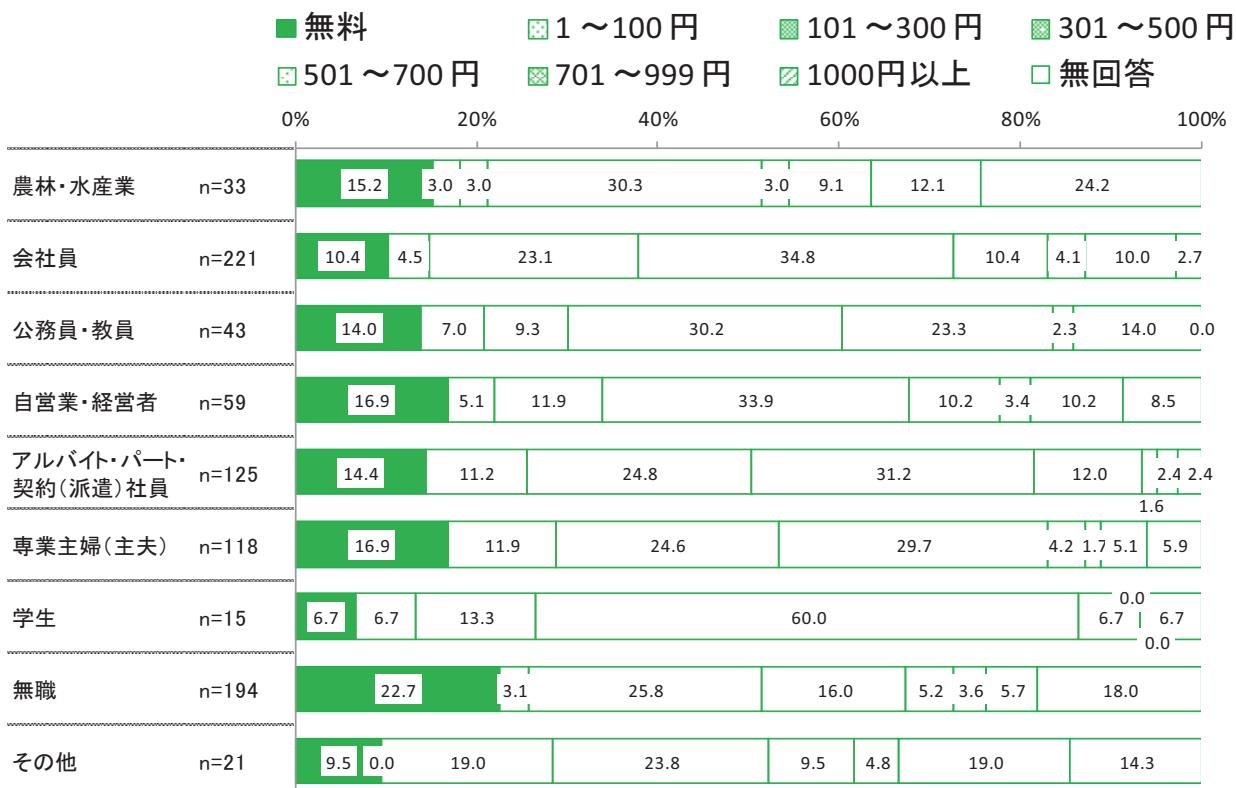
年代別でみると、「60歳以下」の年代では「301～500円」が最も多くなっています。また、「70歳以上」では、2割以上が「無料」と回答しています。そしてどの世代においても、「500円以下」が6割以上となっています。

図 36 【負担してもよいと考える施設使用料（年代別）】



職業別でみると、「無職」の方以外の職業では「301～500円」が最も多くなっています。また、「無職」の方は「101～300円」が約3割を占めています。そしてどの職業においても、「500円以下」が6割以上となっています。

図 37 【負担してもよいと考える施設使用料（職業別）】



4. 地域におけるスポーツ活動についてお尋ねします

1 総合型地域スポーツクラブについて

問20 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。(単数回答)

◆ 総合型地域スポーツクラブについて「全然知らない」 74.0%

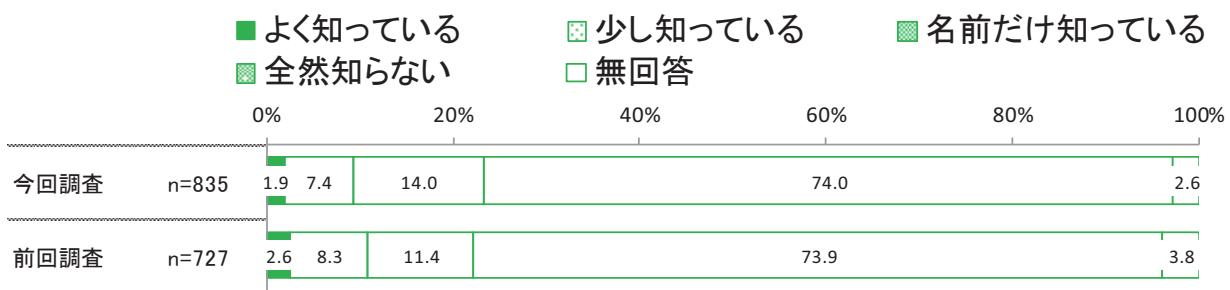
総合型地域スポーツクラブの認知度については、「全然知らない」が74.0%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が14.0%、「少し知っている」が7.4%となっています。また、「知っている」が23.3%、「知らない」が74.0%となっており、認知度は少なくとも3割以下となっています。

前回調査と比較すると、今回調査においては「知っている」が1.0ポイント増加していますが、「知らない」が0.1ポイント減少にとどまっています。これより平成22年度から「総合型地域スポーツクラブ」についての認知度が高まっていない現状があると思われます。生涯スポーツの振興を目指す上で、その中核を担う「総合型地域スポーツクラブ」を広めていく取り組みについては、積極的に行っていく必要があると思われます。

※「知っている」は、「よく知っている」と「少し知っている」、「名前だけ知っている」を合わせたもの。

※「知らない」は「全然知らない」に該当します。

図 38 【総合型地域スポーツクラブの認知度】



性別でみると、「知っている」については、「男性」で23.2%、「女性」で23.4%となっており、認知度については、ほとんど差がないと思われます。そのためどちらの性別に対しても「総合型地域スポーツクラブ」について呼びかけていく必要があると思われます。

図 39 【総合型地域スポーツクラブの認知度（性別）】

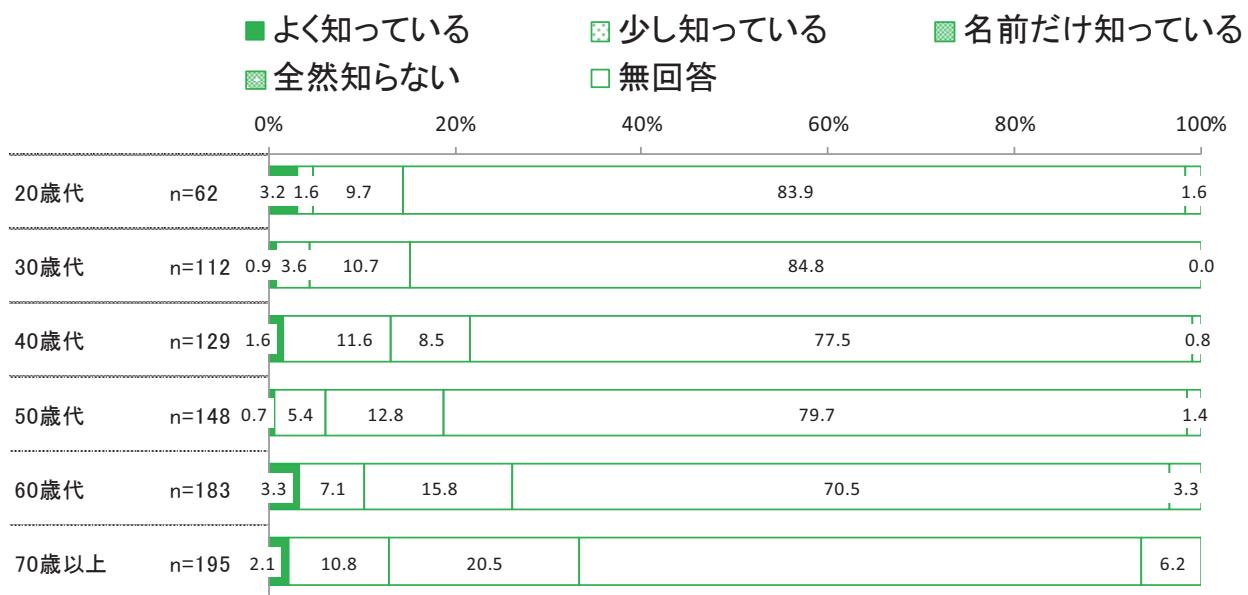


年代別でみると、年代が高くなるにつれて認知度が上がる傾向となっています。

【図 38】より、全体の「総合型地域スポーツクラブ」認知度23.3%と比較して高い年代は、「60歳代」が26.2%、「70歳以上」で33.4%となっています。

以上から「総合型地域スポーツクラブ」の認知度を上げていくためには、「20歳代～50歳代」に対して呼びかけを行っていく一方で、「20歳代以下」の子どもたちに対しても関わりやすい環境を作っていくことで、将来的な認知度や利用状況が改善されていくと思われます。

図 40 【総合型地域スポーツクラブの認知度（年代別）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

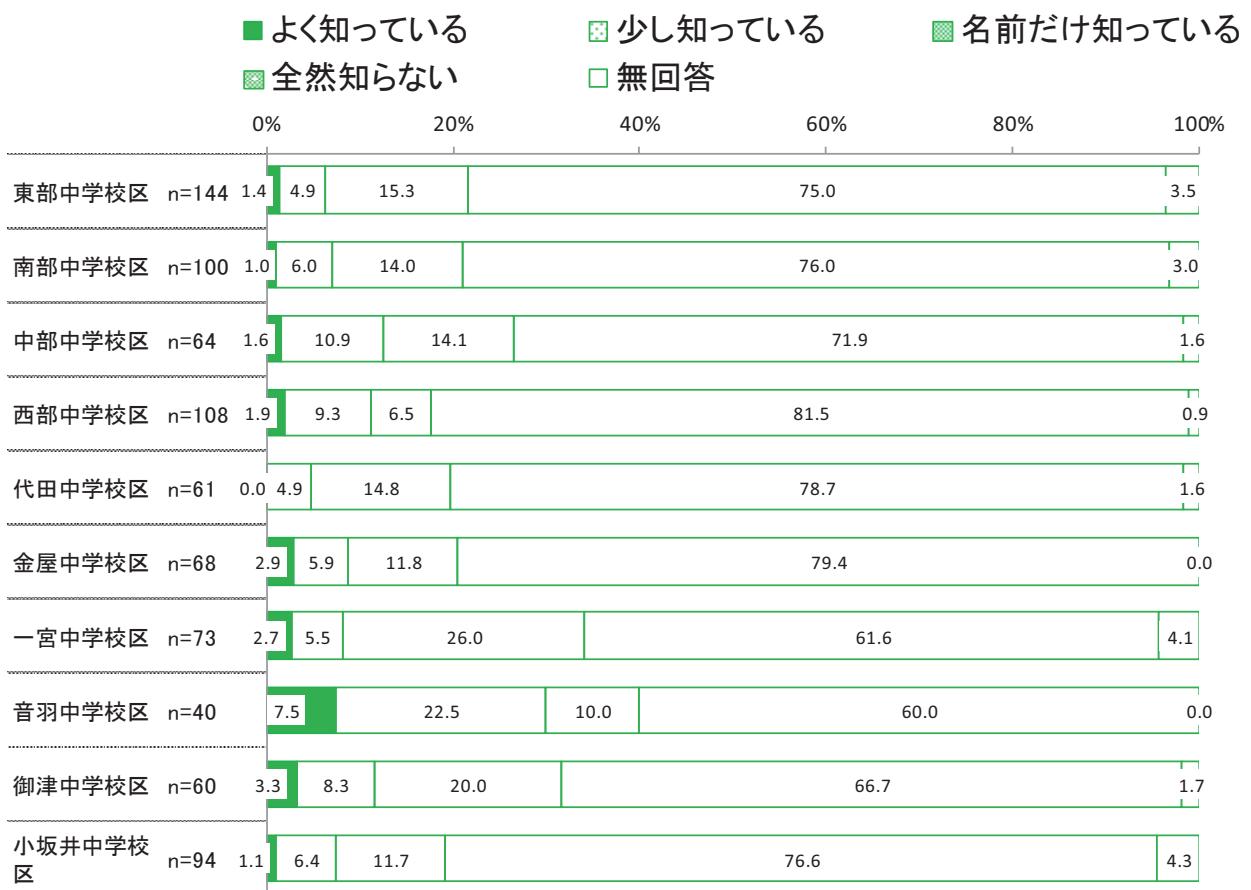
調査報告書

中学校区別でみると、「音羽中学校区」で「よく知っている」が7.5%、「少し知っている」が22.5%とともに最も高くなっています。「知っている」については、「音羽中学校区」が40.0%と最も多く、次いで「一宮中学校区」が34.2%、「御津中学校区」が31.6%となっています。また一方で「小坂井中学校区」、「西部中学校区」、「代田中学校区」では認知度が2割を下回っています。

豊川市においては、「音羽中学校区」に「音羽スポーツクラブ」、「一宮中学校区」に「わすぼ一宮」が設立されています。そのため身近にある「音羽中学校区」と「一宮中学校区」の認知度が高くなっていると考えられます。また、平成15年設立の「音羽スポーツクラブ」と、平成25年設立の「わすぼ一宮」の設立年の差から、「音羽中学校区」では「少し知っている」が22.5%、「一宮中学校区」では「名前だけ知っている」が26.0%となっていると思われます。

今後においては、総合型地域スポーツクラブが未設立の中学校区、特に2割を下回った中学校区に対しても積極的に呼びかけを行っていく必要があると考えられます。

図 41 【総合型地域スポーツクラブの認知度（中学校区別）】



2 中学校の体育的部活動について

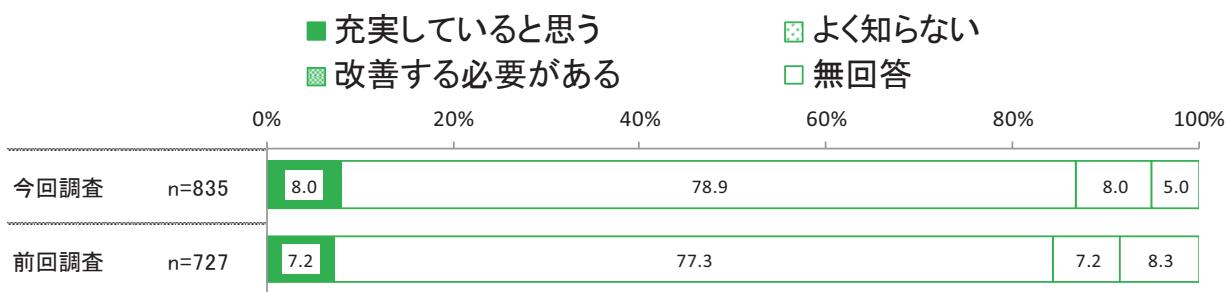
問21 中学校の体育的部活動についてお尋ねします。現在の中学校の体育的部活動は、活動内容が充実していると思いますか。（単数回答）

◆ 中学校の体育的部活動「充実していると思う」、「改善する必要がある」とともに8.0%

中学校の体育的部活動について「充実していると思う」と「改善する必要がある」がともに8.0%となっています。また、「よく知らない」が78.9%となっています。中学校の体育的部活動については、関わりがない人が多い点も一因となっていると思われますが、良く知らないが約8割を占めている結果となりました。

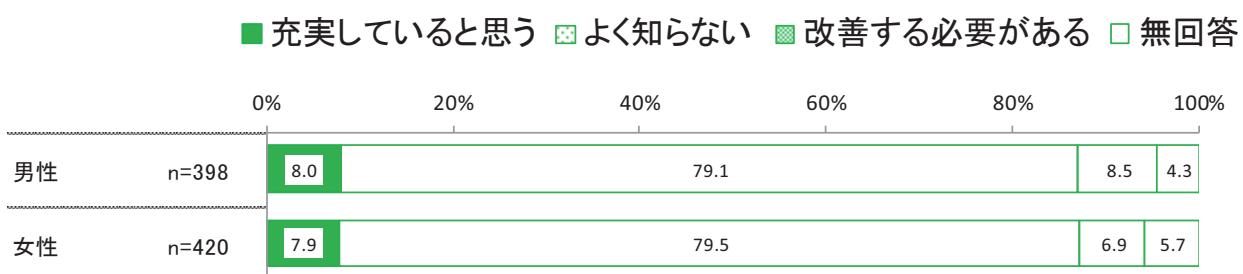
前回調査と比較すると、「充実していると思う」と「改善する必要がある」がともに0.8ポイント増加しています。ただ、「よく知らない」との回答も1.6%増加している点も考慮すると、特段の変化はみられないといえます。

図 42 【中学校の体育的部活動の充実感】



性別でみると、「男性」では「充実していると思う」が「改善する必要がある」より0.5ポイント低く、「女性」では1.0ポイント高くなっています。

図 43 【中学校の体育的部活動の充実感（性別）】



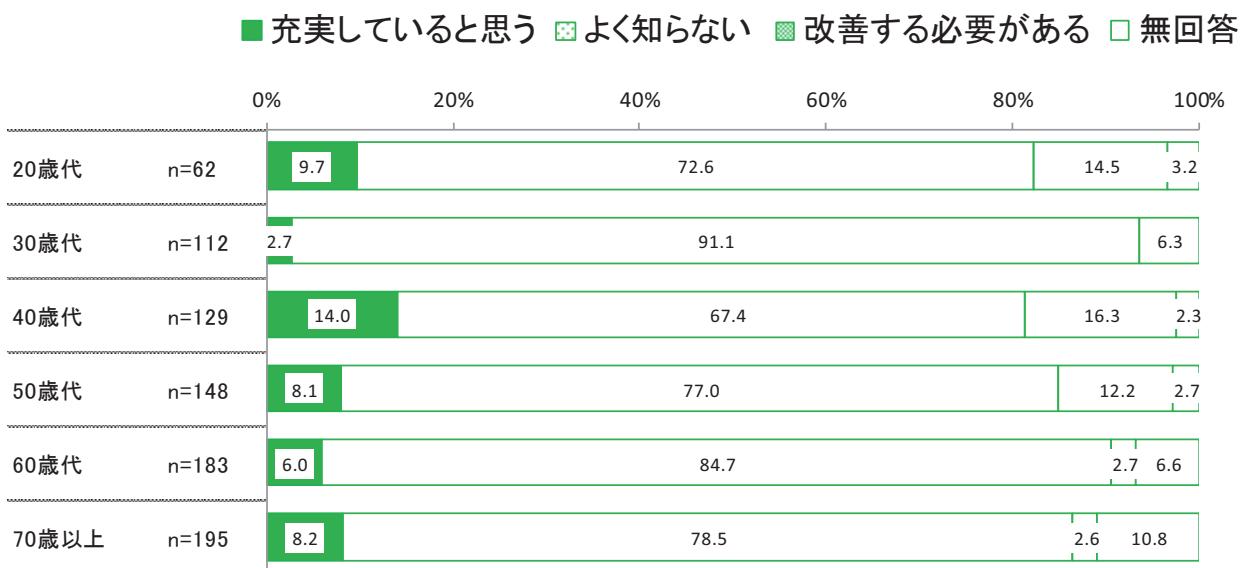
豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別でみると、「充実していると思う」が「改善する必要がある」より下回っているのは、「20歳代～50歳代」となっており、それぞれ「20歳代」は4.8ポイント、「30歳代」は3.6ポイント、「40歳代」は、2.3ポイント、「50歳代」は4.1ポイント低くなっています。また、「60歳以上」では「充実していると思う」が「改善する必要がある」より上回っており、「60歳代」では3.3ポイント、「70歳以上」では、5.6ポイント高くなっています。このことから「20歳代～50歳代」までは、どちらかというと中学校の体育的部活動に「改善する必要がある」と感じており、「60歳以上」では、どちらかというと「充実している」と感じている傾向にあるといえます。

また、「40歳代」で「よく知らない」が最も低くなっている要因としては、他の年代に比べて、中学生のお子さんをもつ保護者の方など、身近に中学校の体育的部活動を知る機会が多い可能性があることが関係していると思われます。

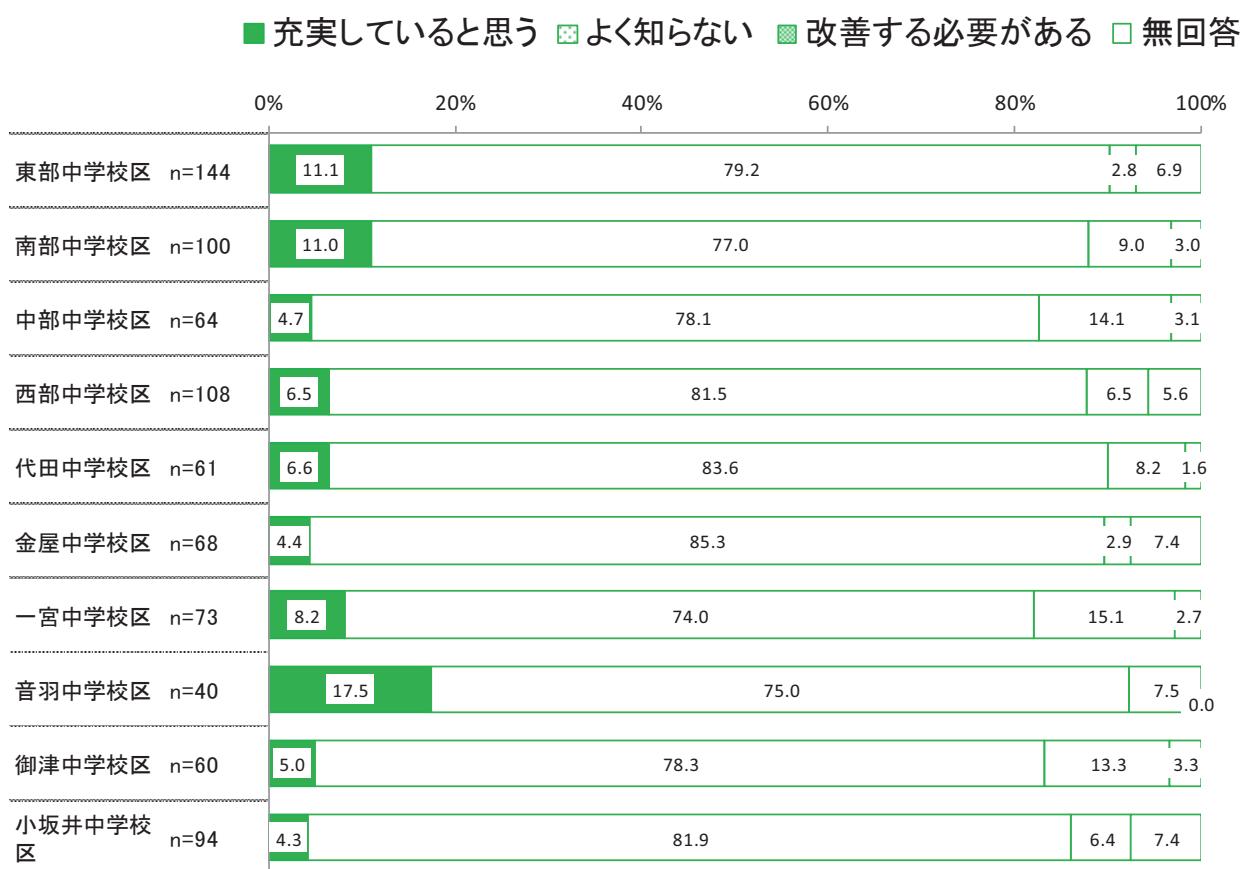
図 44 【中学校の体育的部活動の充実感（年代別）】



中学校区別でみると、「充実していると思う」が「改善する必要がある」より下回っているのは、「中部中学校区」が9.4ポイント、「御津中学校区」が8.3ポイント、「一宮中学校区」が6.9ポイント、「小坂井中学校区」が2.1ポイント、「代田中学校区」が1.6ポイントと低くなっています。また、「充実していると思う」が「改善する必要がある」より上回っている中学校区は、「音羽中学校区」で10.0ポイント、「東部中学校区」で8.3ポイント、「南部中学校区」で2.0ポイント、「金屋中学校区」で1.5ポイントと高くなっています。

中学校の体育的部活動の充実感については、「音羽中学校区」で17.5%と最も高くなっています。これは、音羽スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）と音羽中学校の部活動が、連携して事業（活動）を行っており、部活動の充実や人材交流など面で良い影響を与えている可能性が考えられます。

図 45 【中学校の体育的部活動の充実感（中学校区別）】



3 スポーツ活動の担い手

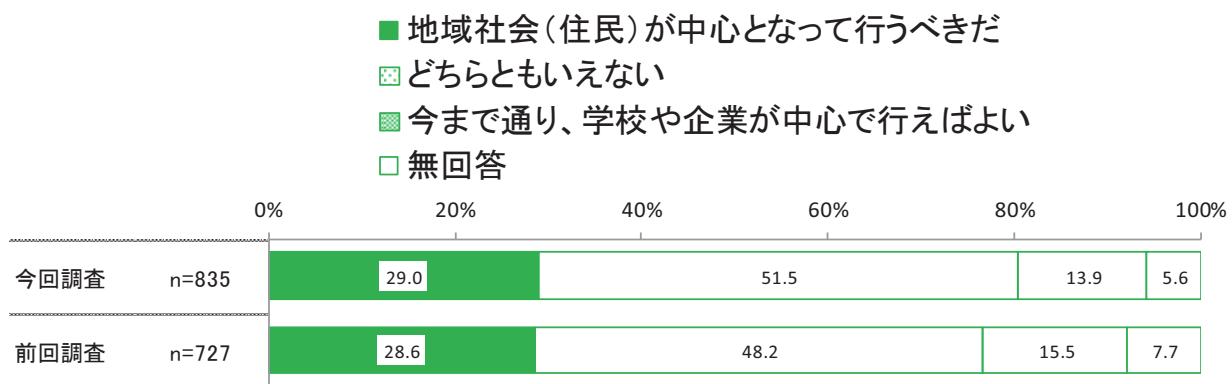
問22 現在までのスポーツ活動は、学校や企業が中心で行われてきましたが、今後は地域社会（住民）が中心になってスポーツに取り組んでいくべきだと言われています。このような考え方に対して、あなたはどのように思いますか。（単数回答）

◆ スポーツ活動は「地域社会が（住民）が中心となって行うべきだ」 29.0%

スポーツ活動の担い手は、「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」が29.0%、「今まで通り、学校や企業が中心で行えばよい」が13.9%となっています。また、「どちらともいえない」が51.5%となっています。

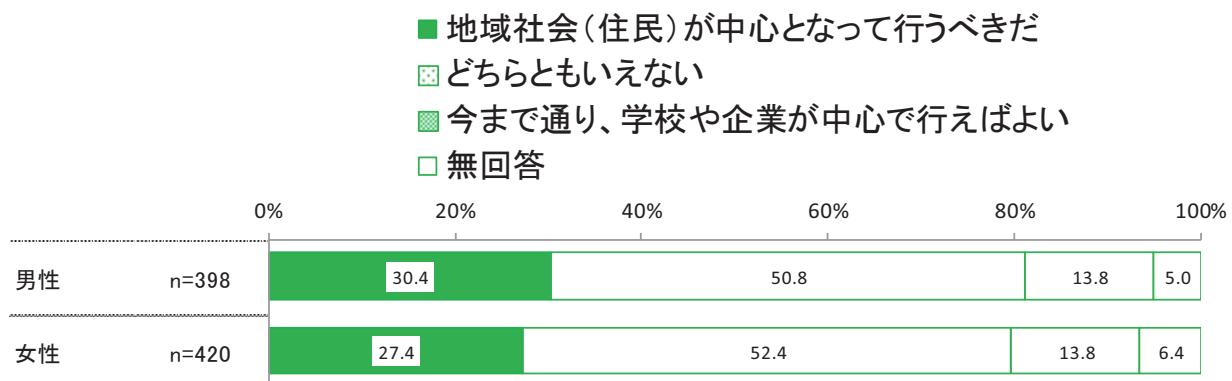
前回調査と比較すると、今回調査では「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」が0.4ポイント増加し、「今まで通り、学校や企業が中心で行えばよい」が1.6ポイント減少しています。

図 46 【地域社会がスポーツ活動の中心となるべきか】



性別でみると、「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」については、「男性」が「女性」よりも3.0ポイント高くなっています。このことから、「男性」の方がより、スポーツ活動は地域社会が担っていくべきだと考える傾向があると思われます。

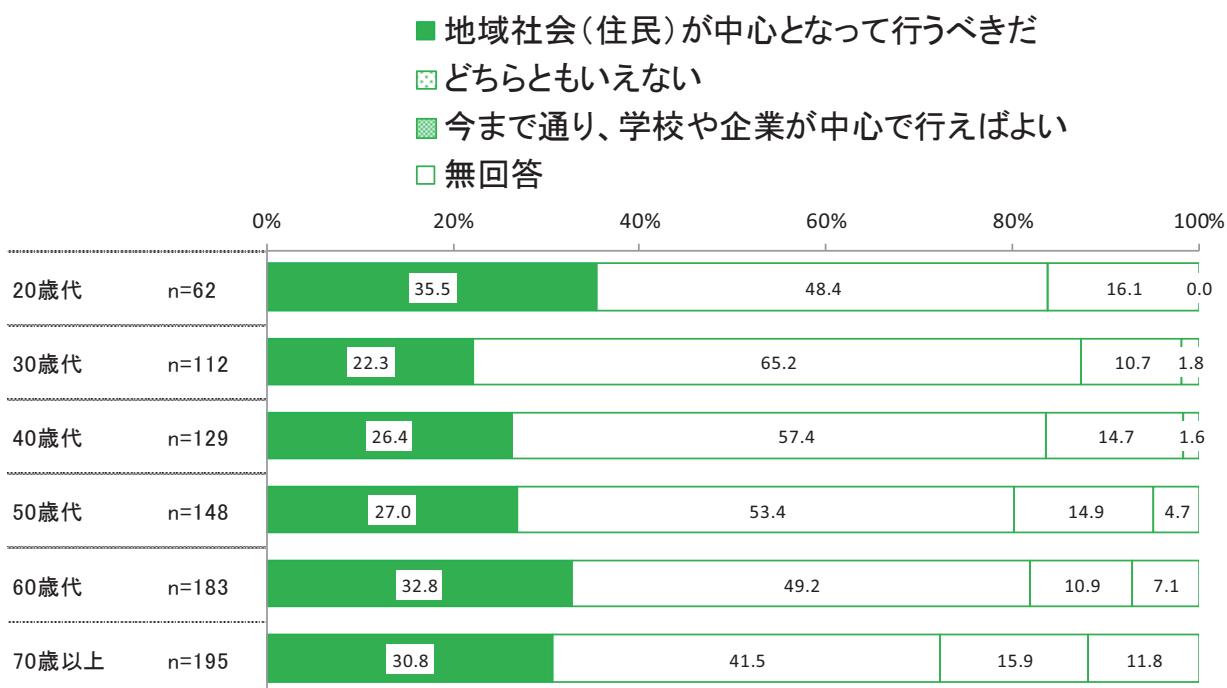
図 47 【地域社会がスポーツ活動の中心となるべきか（性別）】



年代別にみると、どの年代においても「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」が「今まで通り、学校や企業が中心で行えばよい」より上回っています。

また、「地域社会（住民）が中心となって行うべきだ」については、「20歳代」が35.5%で最も多く、次いで「60歳代」が32.8%、「70歳以上」が30.8%となっています。しかし一方で、「20歳代」と「70歳以上」では、「今まで通り、学校や企業が中心で行えばよい」も多くなる結果となっていることも注意してみる必要があります。

図 48 【地域社会がスポーツ活動の中心となるべきか（年代別）】



4 スポーツの指導・ボランティア

問23 あなたは、スポーツの指導やスポーツに関するボランティア活動を行っていますか。行っていない場合、今後行ってみたいと思いますか。(単数回答)

※前回調査票の設問は、「将来、これまでの経験を活かしてスポーツを指導する機会があれば、指導を行ってみたいと思いますか」で、選択肢は、「指導を行ってみたい」、「わからない」、「指導はしたくない」となっています。

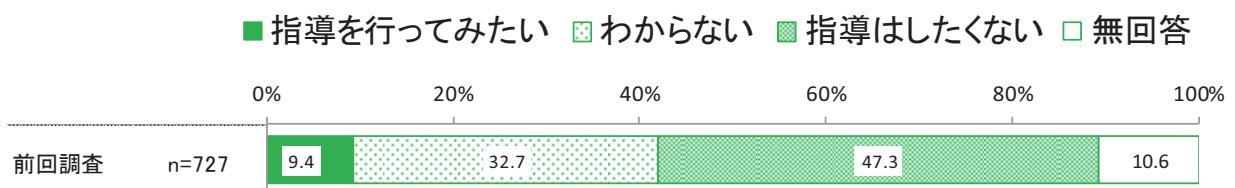
◆ スポーツの指導・ボランティアについて「現在行っていなくて今後行いたい」13.2%

スポーツの指導・ボランティアについては、「あまり行いたいとは思わない」が27.2%と最も多く、次いで「全く行いたいとは思わない」が22.9%、「今後できれば行いたい」が12.0%となっています。また、スポーツの指導・ボランティアを「行っている」または「現在行っていなくて今後行いたい」と考えている人は、17.8%となっています。その中でも「現在行っていなくて行いたい」との回答は、13.2%となっており、スポーツの指導者・ボランティアの登録率を向上させ「支えるスポーツ」を推進するためには、この層に働きかけをしていく必要があると思われます。

前回調査と比較すると、「行っている」または「現在行っていなくて今後行いたい」が「指導を行ってみたい」より8.4ポイント高くなっています。ただ、今回調査においては「スポーツボランティア」という文言が追加されているため、注意して検討する必要があります。

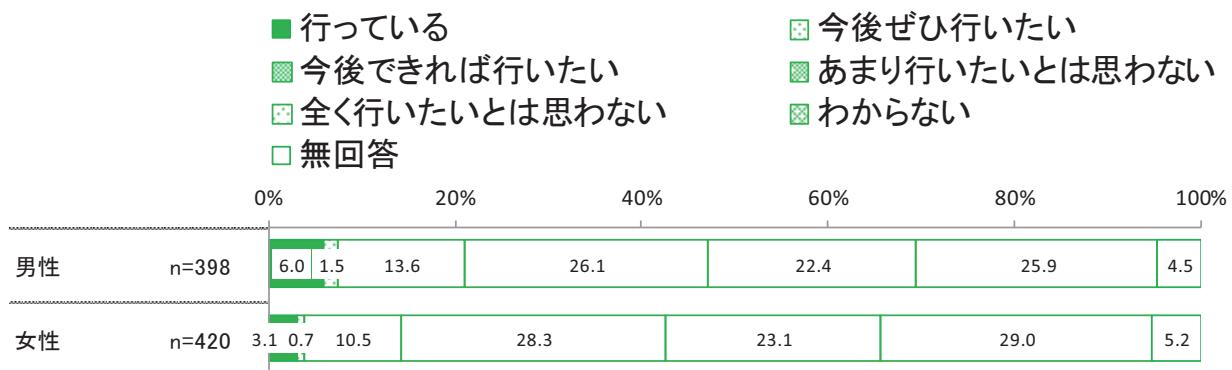
※「現在行っていなくて今後行いたい」とは、「今後ぜひ行いたい」と「今後できれば行いたい」を合わせたもの。

図 49 【スポーツの指導・ボランティアについて】



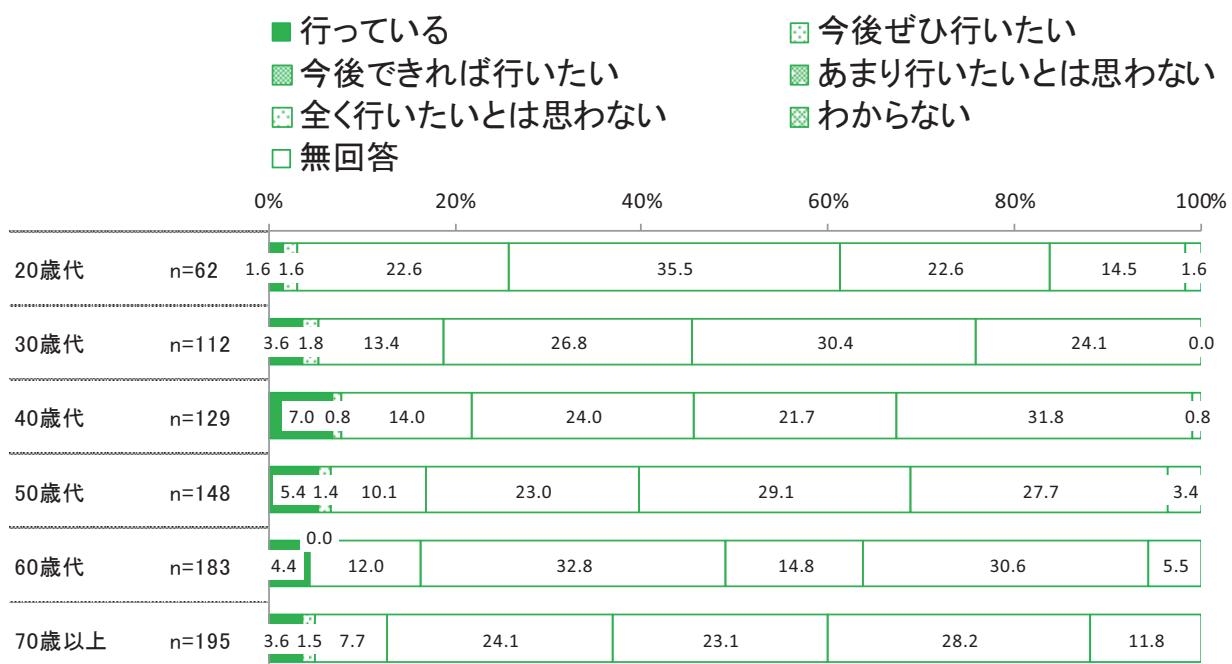
性別でみると、「行っている」については、「男性」が「女性」より2.9ポイント高くなっています。また、「現在行っていなくて今後行いたい」との回答についても、「男性」が「女性」より3.9ポイント高くなっています。このことより、「男性」の方がスポーツの指導・ボランティアに関する意識が高いと思われます。

図 50 【スポーツの指導・ボランティアについて（性別）】



年代別でみると、「行っている」については、「40歳代」が7.0%と最も多く、次いで「50歳代」が5.4%、「60歳代」が4.4%となっています。また、「現在行っていなくて今後行いたい」との回答は、年代が低くなるほど多くなる傾向があります。以上より、現在スポーツの指導・ボランティアの活動が少なく、今後行う意欲のある「20歳代」や「30歳代」に対して呼びかけを行っていく必要があると思われます。

図 51 【スポーツの指導・ボランティアについて（年代別）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

職業別にみると、スポーツの指導・ボランティアを行っているかについて「公務員・教員」が16.3%と最も多く、次いで「農林・水産業」が9.1%、「自営業・経営者」が5.1%となっています。この結果より、現在のスポーツ指導・ボランティアの担い手は、「公務員・教職員」が多いと思われます。また、「現在行っていなくて今後行いたい」については、「会社員」が19.0%と最も多く、次いで「自営業・経営者」が15.3%、「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」が11.2%となっています。のことから「会社員」の方の意欲が高い傾向を鑑み、職場を通しての「スポーツの指導・ボランティア」の呼びかけも検討していく必要があると思われます。

図 52 【スポーツの指導・ボランティアについて（職業別）】



問24 現在、スポーツの指導やスポーツに関するボランティア活動を行っていない理由を教えて下さい。

※問23で「今後ぜひ行いたい」、「今後できれば行いたい」を選んだ方のみ

	件数
多忙	23
時間的な余裕がない	20
忙しい	2
他にやる事が沢山有るから	1
情報不足	20
活動を知らないから	10
情報を知らないから	6
情報をどのように得られるのか知らないから	3
協力のしかたがわからない	1
仕事の都合	11
仕事が忙しい	6
仕事の都合上	2
不規則な勤務・夜勤の為	2
自営業の為自由がない時が多い	1
指導に対しての技術的问题	9
人に教えるほどの技術ではない	5
指導するほど専門的知識がない	2
スポーツについて指導の自信がない	2
機会がない	6
機会がない	6
育児	6
子育て中で自由な時間がほとんど無い	4
子育てなどで、興味はあっても時間が無いため。	1
子どもが小さいため	1
高齢のため	6
高齢の為	6
体調・体力的問題	5
体力に自信がないため	3
体調がよくないため	2
プレイする側でいたい	4
自分の練習で手一杯、時間的に無理。	2
特に理由は無いが、まだ自分でスポーツをする時間が欲しい。	1
指導者より、プレイヤーに楽しみを感じている。	1
以前はやっていた	4
今まで、指導を行っていたが、機会がなくなった。	2
過去は行っていたが、現在は加齢のため行っていません。	1
学生時代は行っていたが、社会人になり、タイミングが合わないため。	1
休みが合わない	3
休日が平日、不規則で合わない。	2
日程が合わない	1
その他	2
家族の看護のため	1
地元にいないため	1

※一部抜粋

5. 市のスポーツ施策についてお尋ねします

1 市のスポーツ施策

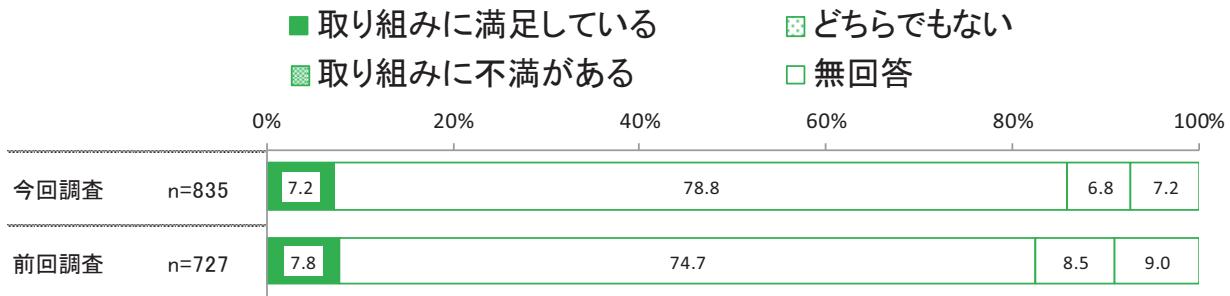
問25 あなたは、市が行っているスポーツ振興のための取り組みや施策をどのように感じていますか。(単数回答)

- ◆ **市のスポーツ振興施策「取り組みに満足している」7.2%、「取り組みに不満がある」6.8%**

市のスポーツ振興施策については、「取り組みに満足している」が7.2%、「取り組みに不満がある」が6.8%となっています。

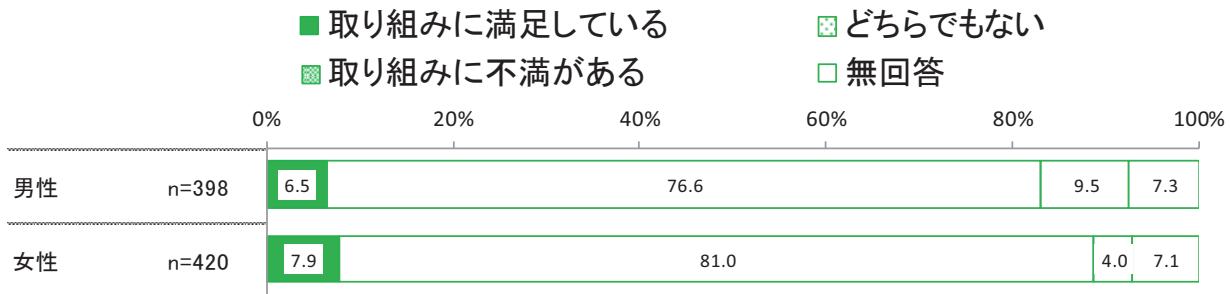
前回調査と比較すると、今回調査では、「取り組みに満足している」が0.6ポイント減少し、「取り組みに満足していない」が1.7ポイント減少しています。この理由として「どちらでもないが」増えている点が影響していると思われますが、少なくとも取り組みに不満を感じている人が減少している点から、市のスポーツ振興のための取り組みや施策に対して、改善傾向があるといえます。

図 53 【市のスポーツ振興施策について】



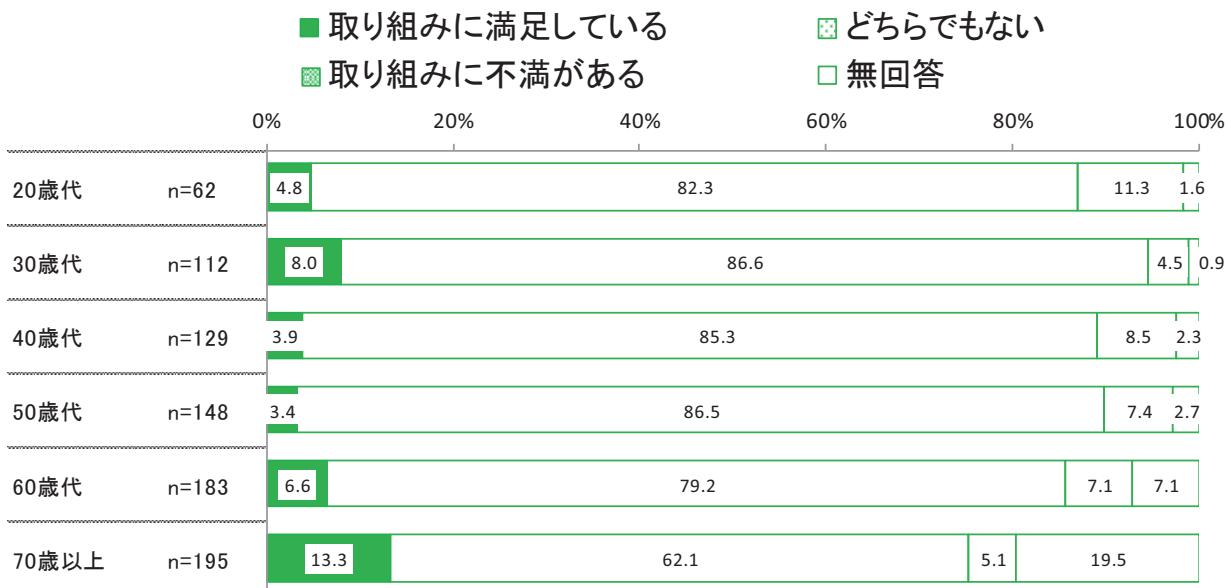
性別でみると、市のスポーツ振興施策について、「取り組みについて不満がある」と答えた男性は約1割となっており、女性比較するとより5.5ポイント高くなっています。

図 54 【市のスポーツ振興施策について（性別）】



年代別でみると、市のスポーツ振興施策に満足しているかについては、「70歳以上」で13.3%と最も多く、次いで「30歳代」が8.0%となっています。また、取り組みに不満であるとの回答は、「20歳代」が11.3%と最も多く、次いで「40歳代」が8.5%、「50歳代」が7.4%となっています。

図 55 【市のスポーツ振興施策について（年代別）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

問26 不満の理由を教えてください。

※問25で「取り組みに不満がある」を選んだ方のみ

	件数
情報不足	24
どのような取り組みをしているかわからない	13
情報・広報不足	10
活動が周知されていないから	1
施設の問題	16
施設が充実していない	6
スポーツする場所が少ない	4
中学校区の学校グラウンドにナイター設備が必要	2
気軽な施設がない	2
屋内プールの利用時間を増やしてほしい	1
球場や多目的広場の整備不足	1
魅力の問題	5
行政で行うものは、おもしろさに欠ける。	2
取りあつかっている種目が少ないから	2
中身がない	1
行政について	4
本質的に社会教育の範囲を認識していない。指導者の育成にも参加しているとは思えない。	1
税金の無駄	1
市が取り組まなくて良い	1
地域社会を巻き込むのは止めてほしい	1
偏りがある	3
一部の人の利用が中心になっていること	2
スポーツができる人あるいは、豊川にずっと居る人が入りやすく、最近引越をして来た人は入りにくい。古い人がたまりすぎている。	1
その他	5
ゴルフについては何もない	1
時間があるかわからない	1
町内会での役員が回って来た時、出るのが(付き合い)苦痛。	1
自分でできるものがない	1
子どもが体力を増強させる事を習慣にする様な施策が大切。それが教育である。また、金を無駄使いしないで、子ども同士が身体をぶつけ合いながら楽しむ様な環境が欲しい。	1

※一部抜粋

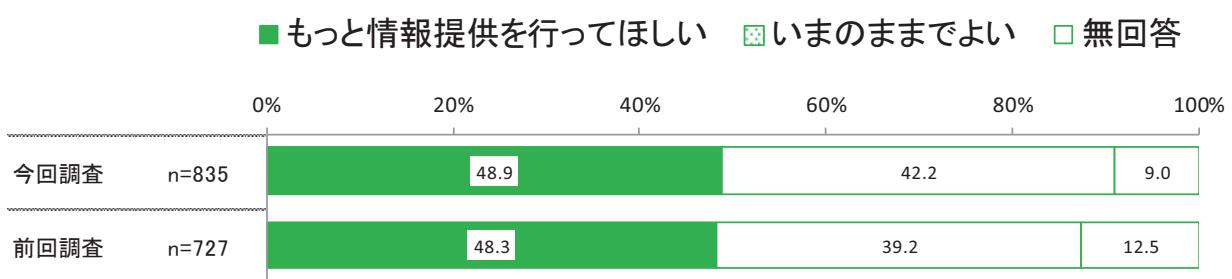
問27 市が行っているスポーツに関する広報や情報提供をどのように思いますか。（単数回答）

◆ スポーツに関する情報提供「もっと情報提供を行ってほしい」 48.9%

市のスポーツに関する広報や情報提供については、「もっと情報提供を行ってほしい」が48.9%、「いまのままでよい」が42.2%となっています。この結果から、約5割の方がさらなる情報提供を求めていることがわかります。そのため「総合型地域スポーツクラブ」等も含めた、情報発信を積極的に行っていくことを検討していく必要があります。

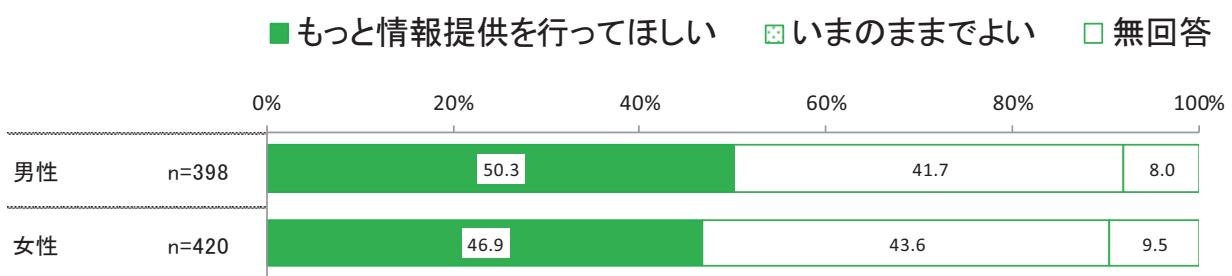
前回調査と比較すると、今回調査では「もっと情報提供を行ってほしい」が0.6ポイント増加し、「いまのままでよい」が3.0ポイント増加しています。「いまのままでよい」との回答が増加している点に注目すると、市の情報提供の状況は改善傾向にあるといえます。

図 56 【市のスポーツに関する広報や情報提供について】



性別でみると、「もっと情報提供を行ってほしい」については、「男性」が「女性」より3.4ポイント高くなっています、「いまのままでよい」は、男性が女性より1.9ポイント低くなっています。この結果から、「男性」の方が「女性」より「市のスポーツに関する広報や情報提供」を求める傾向があるといえます。

図 57 【市のスポーツに関する広報や情報提供について（性別）】

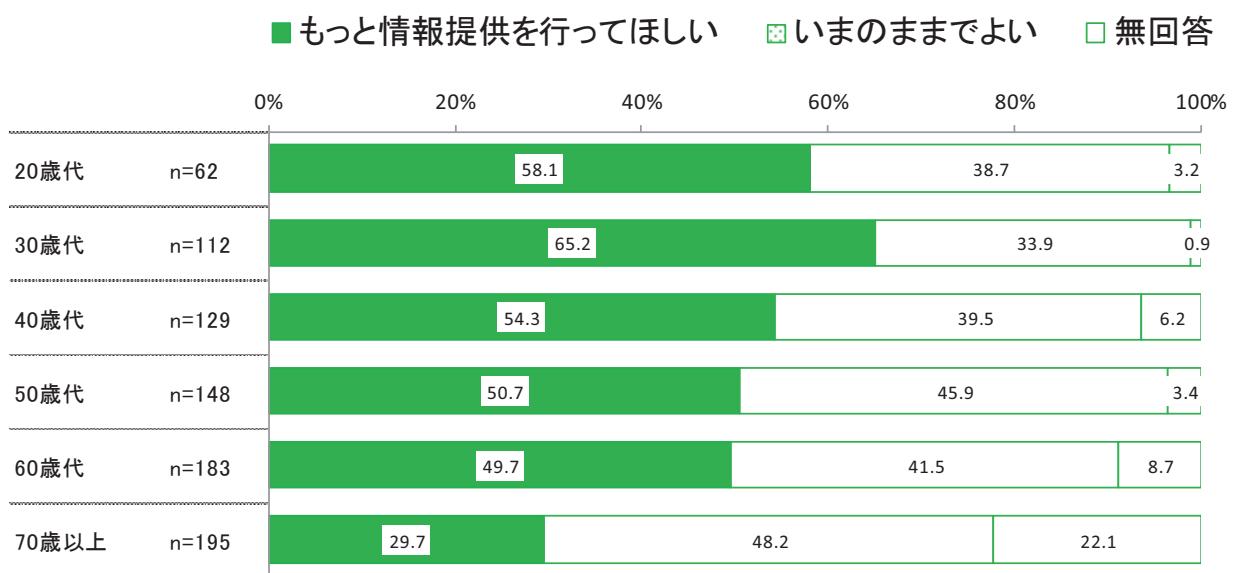


豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別でみると、「もっと情報提供を行ってほしい」との回答については、年代が低くなるほど多くなる傾向がみられます。また、【図 56】と比較すると、「20歳代～60歳代」までが48.9%をこえていることがわかります。この結果より「20歳代～60歳代」、特に「20歳代」と「30歳代」への若い世代への広報や情報提供のあり方について検討していく必要があると思われます。

図 58 【市のスポーツに関する広報や情報提供について（年代別）】



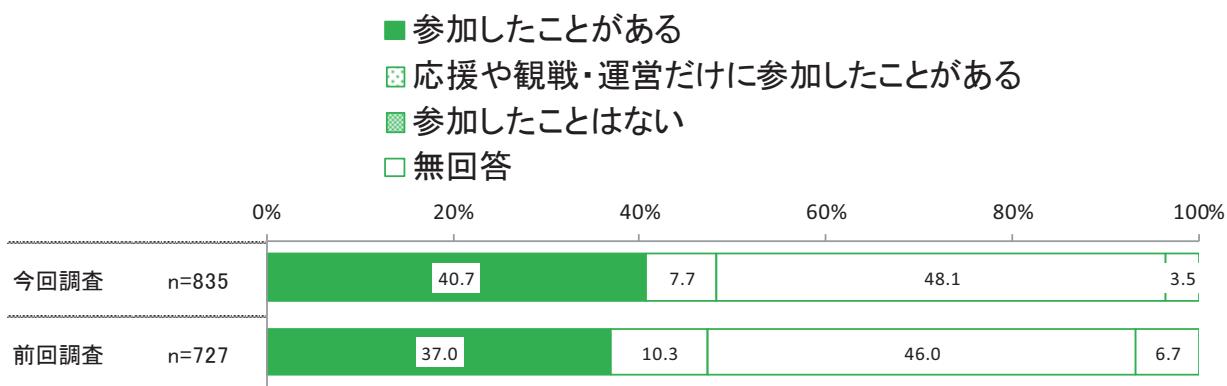
問28 市や校区体育振興会（町内会）などが主催するスポーツ事業（運動会・スポーツ大会・スポーツ教室・講習会等）に参加したことはありますか。（単数回答）

◆ **市や校区体育振興会主催のスポーツ事業「参加したことがある」40.7%、「参加したことない」48.1%**

市や校区体育振興会主催のスポーツ事業については、「参加したことがある」が40.7%、「参加したことない」が48.1%となっています。

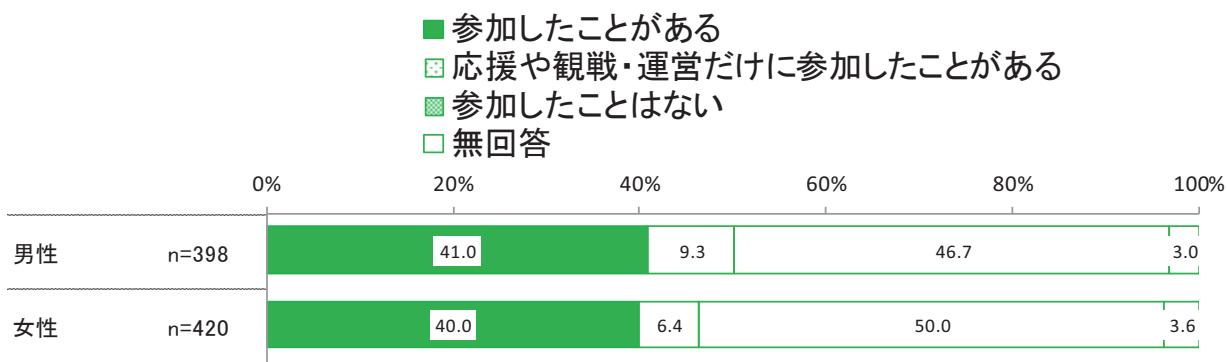
前回調査と比較すると、今回調査では「参加したことがある」が3.7ポイント増加している一方で、「参加したことない」も2.1ポイント増加しています。これは「無回答」の減少が一因と考えられますが、それだけでなく「応援や観戦・運営だけに参加したことがある」層が、スポーツ事業に参加に移行していったという可能性も考えられます。

図 59 【スポーツ事業への参加】



性別でみると、「応援や観戦・運営だけに参加したことがある」との回答は、「男性」が「女性」より2.9ポイント高くなっています。また、「参加したことない」との回答は、「女性」が「男性」より3.3ポイント高くなっています。

図 60 【スポーツ事業への参加（性別）】

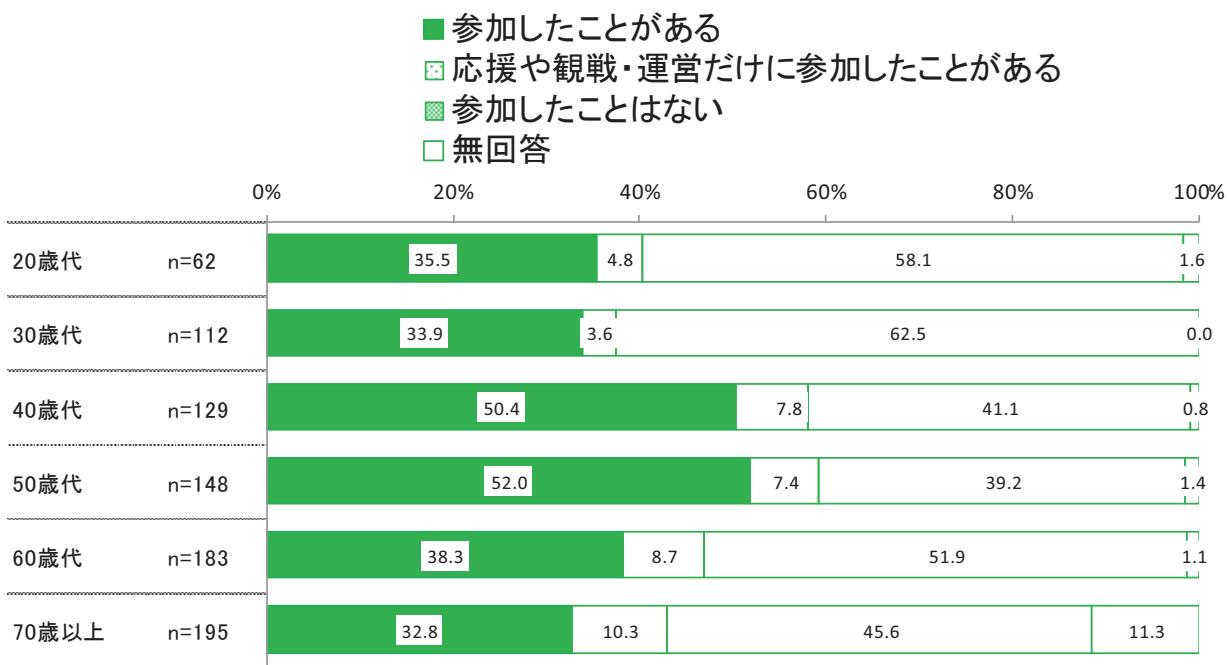


豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

年代別でみると、「40歳代」と「50歳代」の参加率がともに5割以上となっており、他の年代より1割以上高くなっています。この結果から、市や校区体育振興会主催のスポーツ事業に参加している年代は、「40歳代」と「50歳代」が多いということがわかりました。また、「60歳以上」では他の年代に比べて「応援や観戦・運営だけに参加したことがある」が高くなっています。のことから、「年代にあったスポーツ事業への参加」も意識して取り組みを進めていく必要があると思われます。

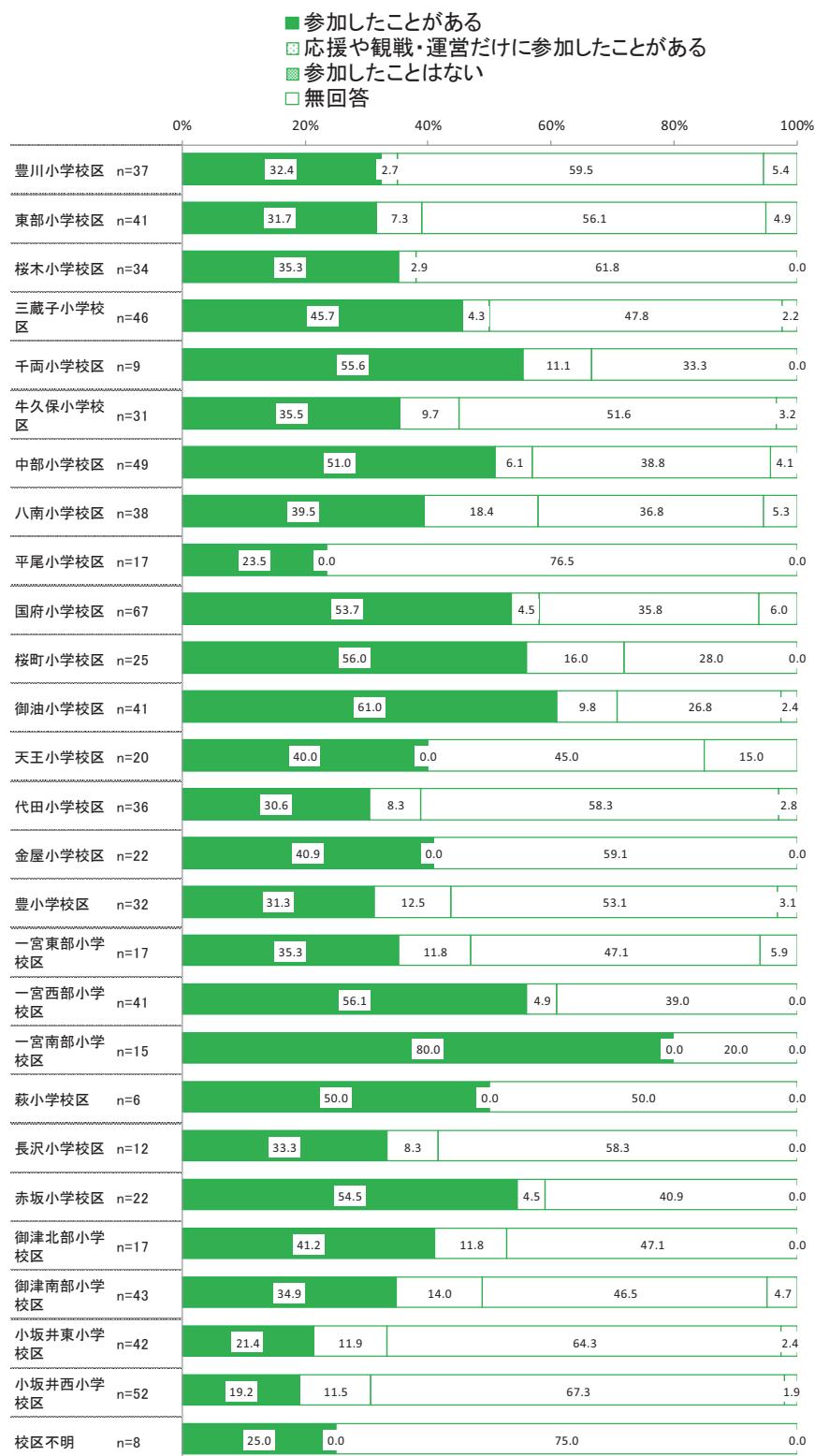
図 61 【スポーツ事業への参加（年代別）】



小学校区別にみると、「参加したことがある」については、「御油小学校区」が61.0%と最も多く、次いで「一宮西部小学校区」が56.1%、「国府小学校区」が53.7%となっています。また、「一宮南部小学校区」、「桜町小学校区」、「千両小学校区」、「赤坂小学校区」においても、参加したことがある人が多くなっている可能性があります。

※小学校区別の「参加したことがある」の上位順は、n=30以上の地区から選択しています。

図 62 【スポーツ事業への参加（小学校区別）】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

問29 あなたが参加したスポーツ事業について、どのように感じていますか。（複数回答）（いくつでも）

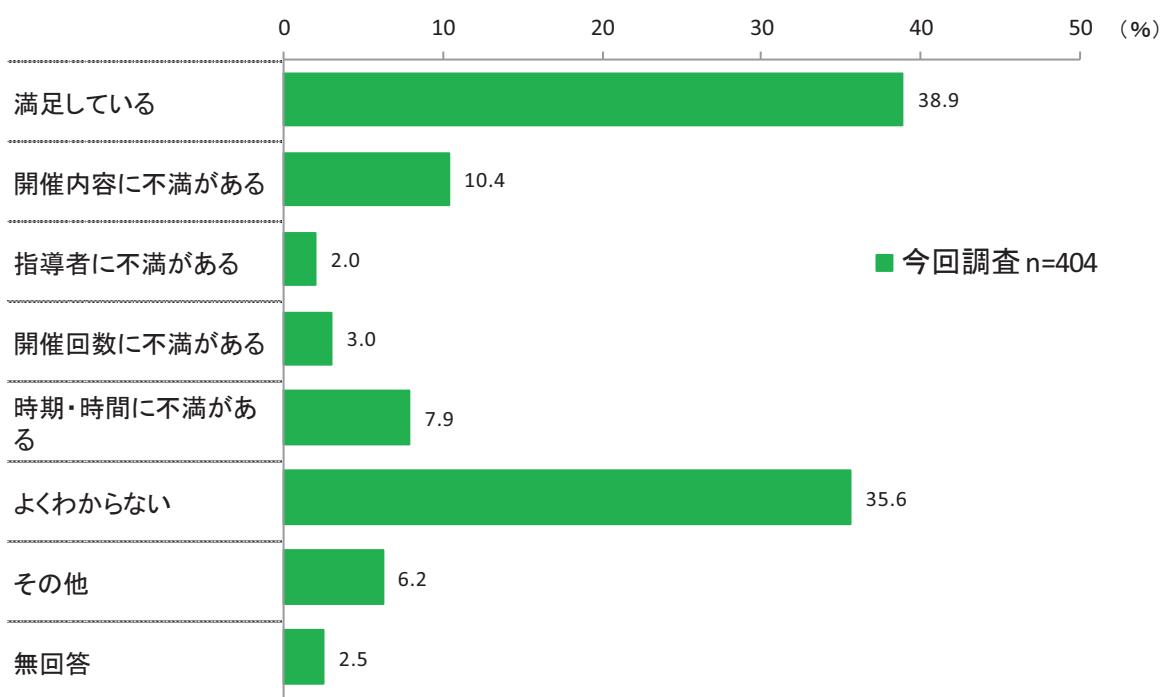
※問28で「参加したことがある」と「応援や観戦・運営だけに参加したことがある」を選んだ方のみ

◆ 参加したスポーツ事業について「満足している」 38.9%

参加したスポーツ事業についてどのように感じているかについては、「満足している」が38.9%と最も多く、次いで「開催内容に不満がある」が10.4%、「時期、時間に不満がある」が7.9%となっています。また、「よくわからない」が35.6%と3割以上を占めており、何らかの「不満がある」については23.3%となっています。

※「不満がある」は、「開催内容に不満がある」と「指導者に不満がある」、「開催回数に不満がある」と「時期・時間に不満がある」を合わせたもの。

図 63 【参加したスポーツ事業への評価】



年代別にみると、「30歳代」と「60歳以上」では、「満足している」が最も高く、次いで「よくわからない」となっています。「40歳代」と「50歳代」では、「よくわからない」が最も高く、次いで「満足している」となっています。また、「不満がある」については、「30歳代」で16.7%、「40歳代」で21.3%、「50歳代」で31.8%、「60歳代」で25.7%、「70歳以上」で19.1%となっています。

【図 61】より、最も参加した割合が高い「50歳代」が、最も事業に不満を感じている点は、今後のスポーツ事業を行っていく上で課題といえます。

性別でみると、「男性」、「女性」とともに「満足している」が最も多く、次いで「よくわからない」となっています。

表 17 【参加したスポーツ事業への評価（年代別・性別）】

		調査数（n）	満足している	開催内容に不満がある	指導者に不満がある	開催回数に不満がある	時期・時間に不満がある	よくわからない	その他	無回答	(%)
年代別	性別										
	20歳代	25	28.0	8.0	-	8.0	4.0	52.0	4.0	-	
	30歳代	42	50.0	4.8	-	4.8	7.1	28.6	4.8	2.4	
	40歳代	75	36.0	9.3	-	2.7	9.3	41.3	8.0	-	
	50歳代	88	25.0	14.8	1.1	4.5	11.4	39.8	9.1	-	
	60歳代	86	44.2	10.5	4.7	-	10.5	30.2	2.3	4.7	
	70歳以上	84	47.6	10.7	3.6	2.4	2.4	31.0	6.0	6.0	
性別	男性	200	36.0	14.0	3.0	4.0	6.5	34.0	5.5	3.0	
	女性	195	42.1	7.2	1.0	1.5	9.2	37.4	6.2	2.1	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

2 市の体育施設

問30 市の体育施設を利用したことがありますか。(単数回答)

※前回調査の設問は、「市の体育施設や学校開放体育施設」となっています。

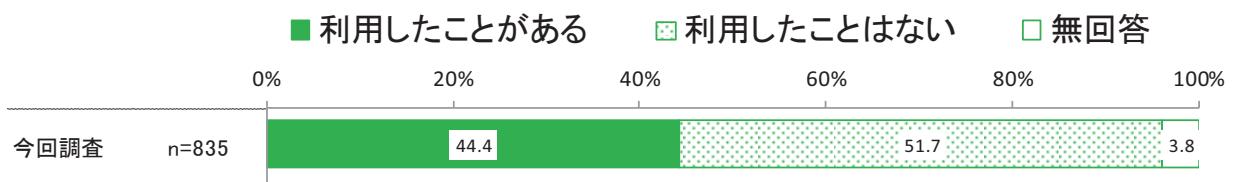
◆ 市の体育施設について「利用したことがある」44.4%、「利用したことがない」51.7%

市の体育施設について、「利用したことがある」が44.4%、「利用したことがない」が51.7%となっています。

前回調査と比較すると、市の体育施設の利用が増えている傾向があるといえます。

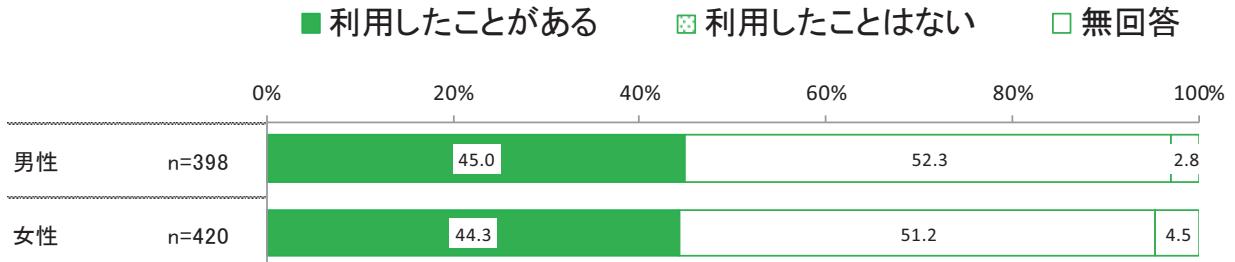
※前回調査は、「学校開放体育施設」も含む数字のため、少なくとも市の体育施設の利用は増えているといえます。

図 64 【市の体育施設の利用】



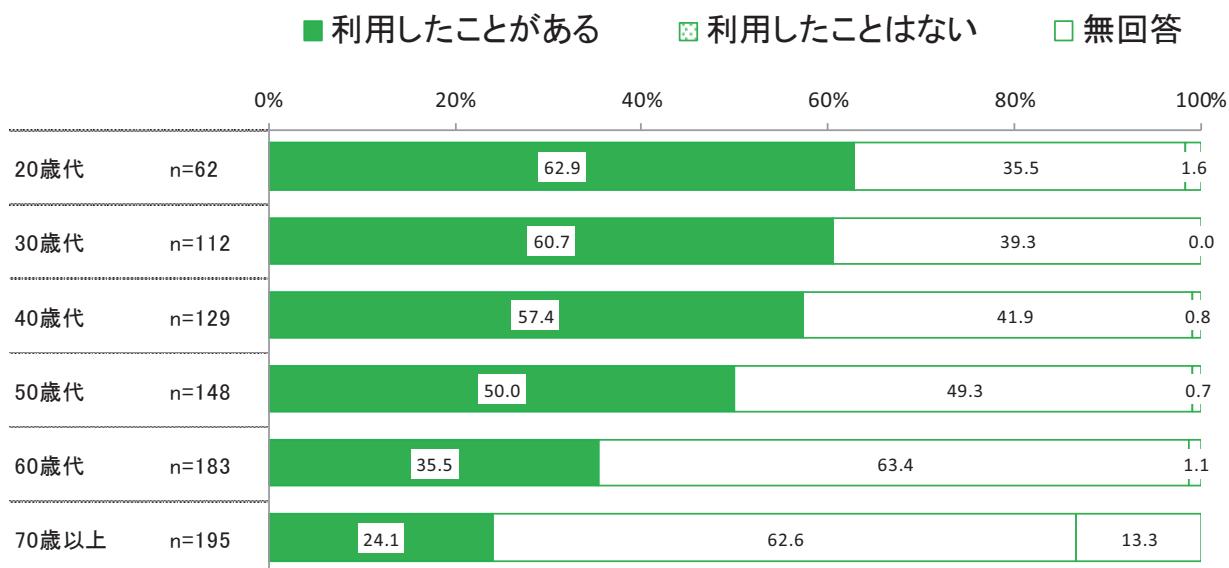
性別でみると、「男性」、「女性」とともに「利用したことがある」が4割以上となっており、特に大きな差はみられませんでした。

図 65 【市の体育施設の利用（性別）】



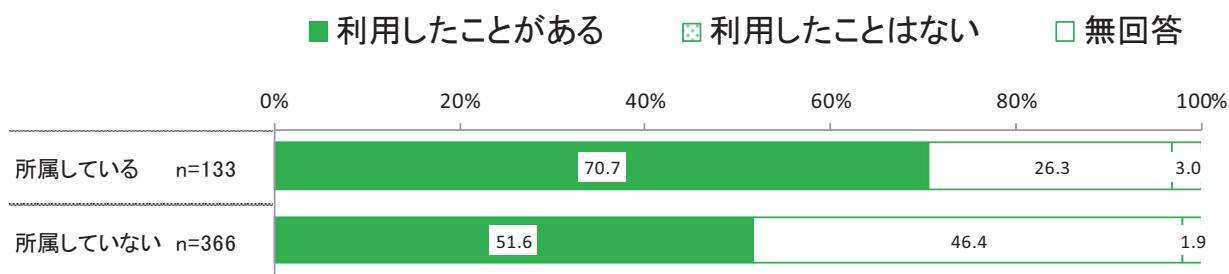
年代別でみると、年代が低くなるほど「利用したことがある」という割合が高くなっています。また、「20歳代～50歳代」までは、半数以上の方が「利用したことがある」という結果になりました。このことから、「60歳以上」にも市の体育施設を活用してもらうため、情報提供や環境整備など対策を行っていく必要があると思われます。

図 66 【市の体育施設の利用（年代別）】



市の体育施設を「利用したことがある」との回答は、スポーツクラブ等に「所属している」が「所属していない」よりも19.1ポイント高くなっています。また、「所属している」と答えた人の7割以上が、市の体育施設を「利用したことがある」と回答しています。

図 67 【スポーツクラブ等に所属している人の市の体育施設の利用】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

問31 施設を利用する上での要望はありますか。(複数回答) (いくつでも)

※問30で「利用したことがある」を選んだ方のみ

※今回調査では、「利用料金の軽減」が削除されています。また、前回の対象範囲は「市の体育施設と学校開放体育施設」となっています。

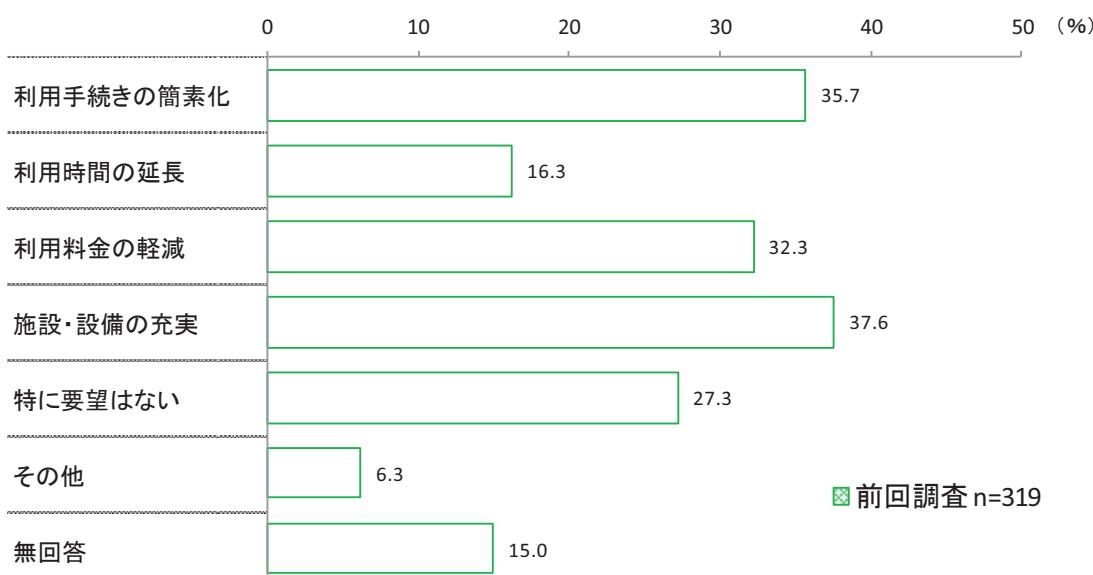
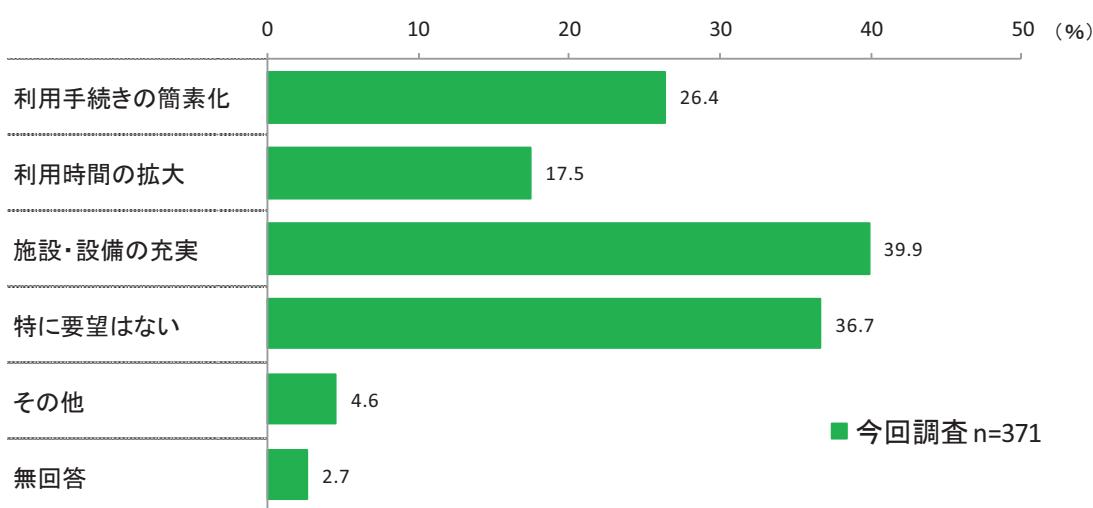
◆ 市の体育施設を利用する上での要望 「施設・設備の充実」 39.9%

市の施設の体育施設を利用する上での要望は「施設・設備の充実」が39.9%と最も多く、次いで「利用手続きの簡素化」が26.4%、「利用時間の拡大」が17.5%となっています。また、「特に要望はない」が36.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用手続きの簡素化」が改善されている可能性が考えられます。さらに、「施設・設備の充実」は、少なくとも要望が高まっているといえます。

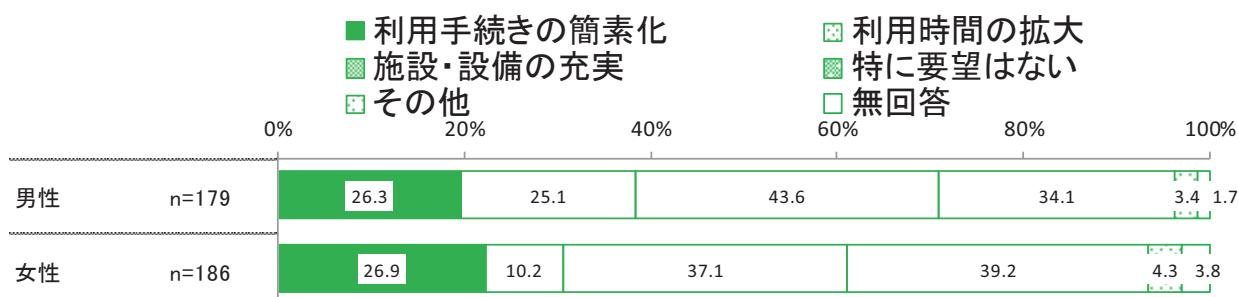
※前回調査は、「学校開放施設」も含む数字ですが、少なくとも市の体育施設・整備の充実の要望が高まっているといえます。

図 68 【市の体育施設を利用する上での要望】



性別でみると、「利用時間の拡大」の要望において、「男性」が「女性」よりも14.9ポイント高くなっています。この結果から、「男性」の2割以上が「利用時間の拡大」を望んでいることがわかります。また、「施設・整備の充実」においても「男性」の方が6.5ポイント高くなっています。その一方で「特に要望はない」では「女性」の方が5.1ポイント高くなっています。

図 69 【市の体育施設を利用する上での要望（性別）】



年代別でみると、「20歳代」では、「利用手続きの簡素化」と「施設・整備の充実」が最も高くなっています。「30歳代～50歳代」では、「施設・整備の充実」が最も高くなっています。また、「60歳以上」では、「特に要望がない」が最も多い結果となりました。さらに全体的には「利用時間の拡大」よりも「利用手続きの簡素化」が求められています。【図 66】の「60歳以上」の利用を促すためにも、「施設・設備の充実」と「利用手続きの簡素化」は取り組んでいく必要があると思われます。

表 18 【市の体育施設を利用する上での要望（年代別）】

		調査数(n)	利用手続きの簡素化	利用時間の拡大	施設・設備の充実	特に要望はない	その他	無回答	(%)
年代別									
	20歳代	39	41.0	20.5	41.0	28.2	2.6	5.1	
	30歳代	68	17.6	22.1	39.7	33.8	4.4	1.5	
	40歳代	74	23.0	20.3	50.0	33.8	4.1	2.7	
	50歳代	74	28.4	16.2	40.5	36.5	6.8	1.4	
	60歳代	65	30.8	20.0	36.9	38.5	3.1	—	
	70歳以上	47	23.4	4.3	29.8	48.9	2.1	8.5	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

3 学校開放体育施設

問32 学校開放体育施設を利用したことがありますか。(単数回答)

※前回調査の設問は、「市の体育施設や学校開放体育施設」となっています。

- ◆ 学校開放体育施設について「利用したことがある」19.2%、「利用したことがない」76.3%

学校開放体育施設の利用については、「利用したことがある」が19.2%、「利用したことがない」が76.3%となっています。また、【図 64】より、市の体育施設の利用と比較すると、学校開放体育施設の利用は、市の体育施設の利用より25.2ポイント低くなっています。この結果から、学校開放体育施設より市の体育施設の方が現状として利用されていることがわかります。

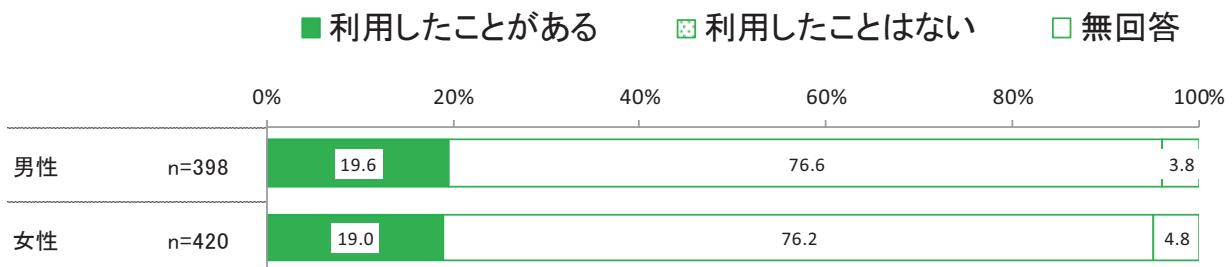
前回調査と比較すると、「利用したことがある」が減少している可能性があります。ただし【図 64】より、市の体育施設の利用が多い点と、前回調査が「市の体育施設や学校開放体育施設」を対象範囲としている点を考慮して、注意してみていく必要があります。

図 70 【学校開放体育施設の利用】



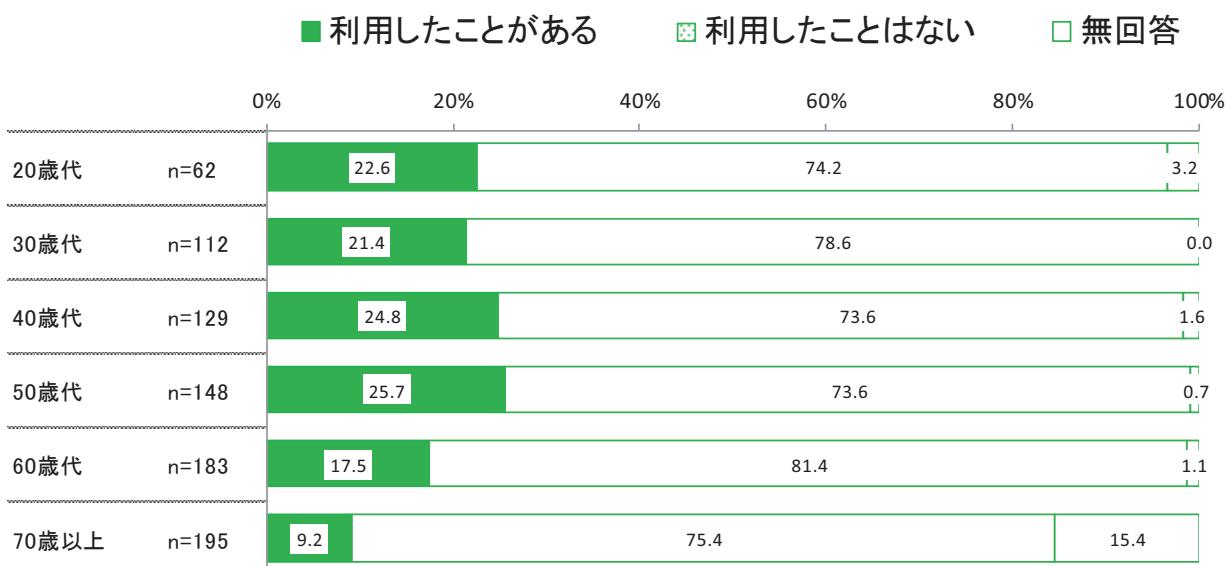
性別でみると、「男性」、「女性」とともに「利用したことがある」が約2割となっており、特に大きな差はみられませんでした。

図 71 【学校開放体育施設の利用（性別）】



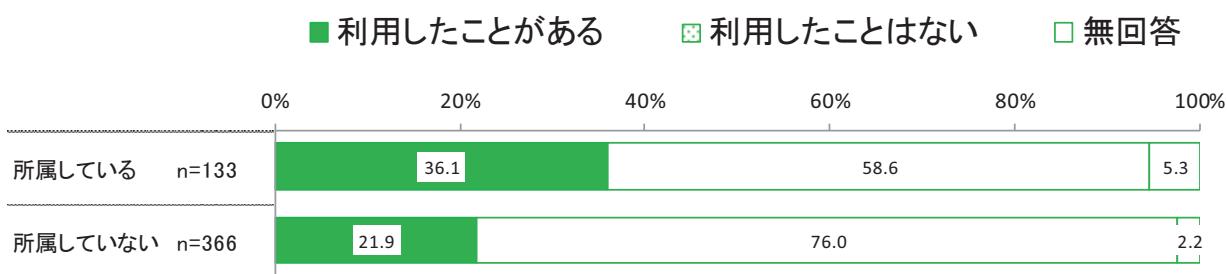
年代別にみると、学校開放体育施設を「利用したことがある」との回答について、「20歳代～50歳代」で2割をこえています。その一方で、「60歳以上」になると減少傾向がみられます。また、【図66】より、市の体育施設利用について、年代が高くなるほど減少している点を考慮すると、「60歳代」や「70歳以上」の市の体育施設・学校開放体育施設の利用が、少ない傾向にあります。そのため、年齢層の高い方にも市の体育施設・学校開放体育施設を利用してもらいやすい環境整備や取り組みを検討していく必要があると思われます。

図 72 【学校開放体育施設の利用（年代別）】



学校開放体育施設を「利用したことがある」との回答は、スポーツクラブ等に「所属している」が「所属していない」よりも14.2ポイント高くなっています。また、「所属している」と答えた人の3割以上、学校開放体育施設を利用したことがあると回答しています。

図 73 【スポーツクラブ等に所属している人の学校開放体育施設の利用】



豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

問33 施設を利用する上で要望はありますか。(複数回答) (いくつでも)

※問32で「利用したことがある」を選んだ方のみ

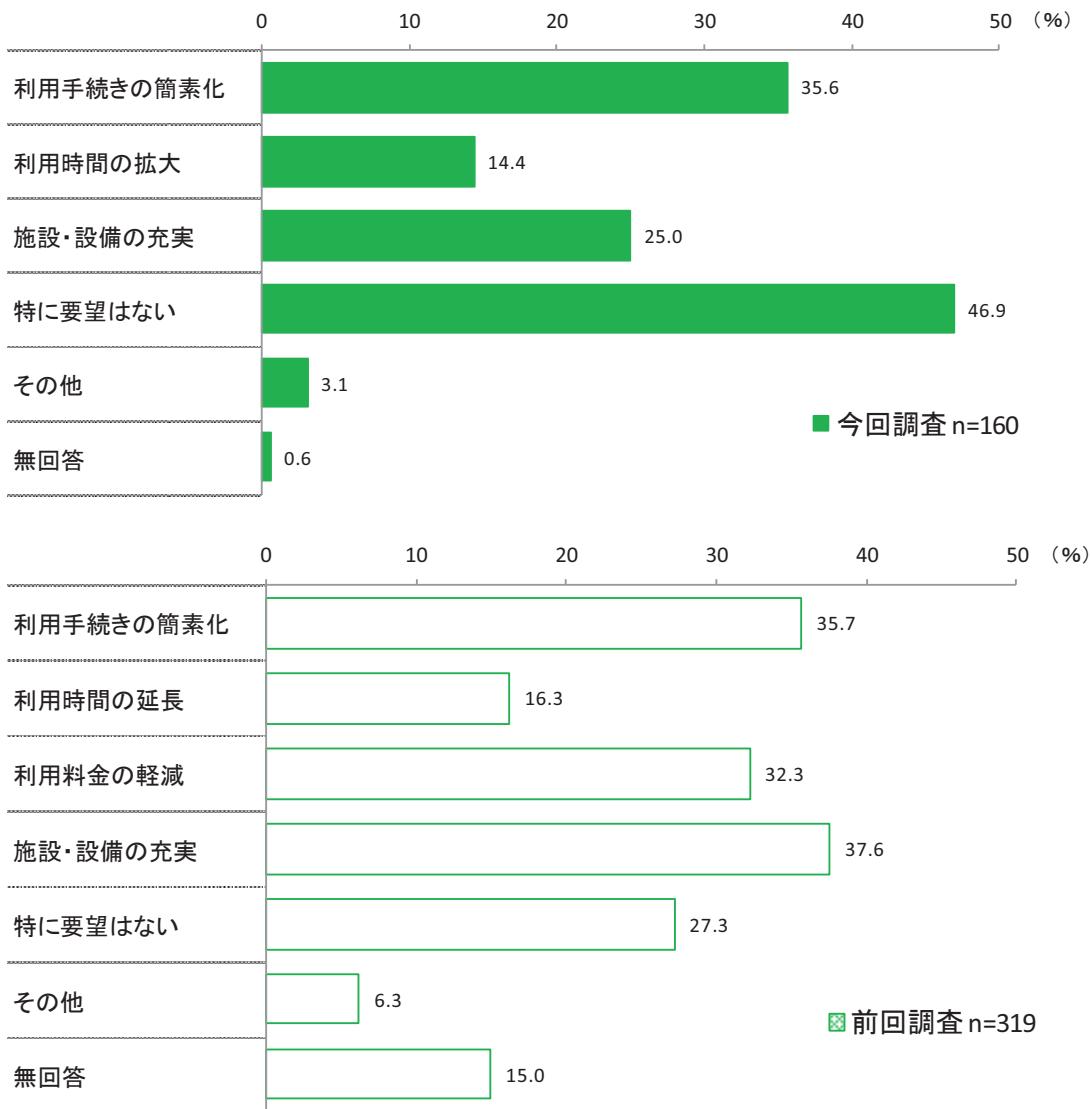
※今回調査では、「利用料金の軽減」が削除されています。また、前回の対象範囲は「市の体育施設と学校開放体育施設」となっています。

◆ 学校開放体育施設を利用する上の要望「利用手続きの簡素化」35.6%

学校開放型体育施設を利用する上の要望は、「利用手続きの簡素化」が35.6%と最も多く、次いで「施設・設備の充実」が25.0%、「利用時間の拡大」が14.4%となっています。また、「特に要望がない」が46.9%となっています。【図 68】より、市の体育施設の要望が「施設・設備の充実」が最も多く、次いで「利用手続きの簡素化」であるのに対して、学校開放体育施設では、順番が逆転しています。

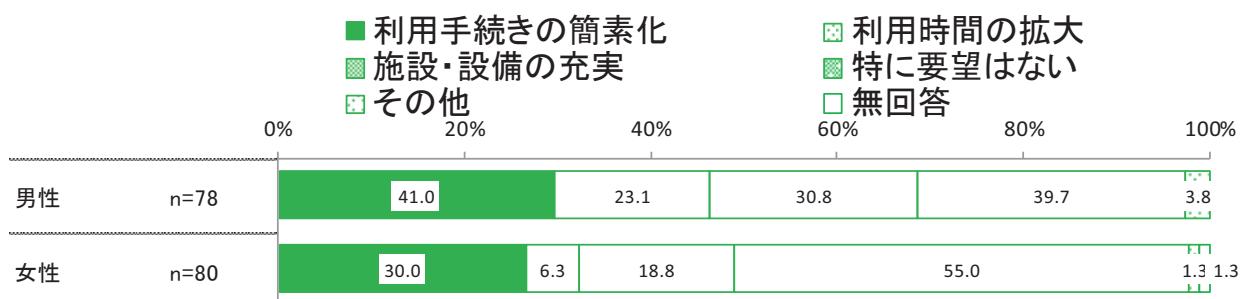
前回調査と比較すると、「施設・設備の充実」が改善されている可能性があります。ただし【図 68】より、市の体育施設において「施設・整備の充実」の要望が多い点と、前回調査が「市の体育施設や学校開放体育施設」を対象範囲としている点を考慮して、注意してみていく必要があります。

図 74 【学校開放体育施設の利用】



性別でみると、全体として「男性」が「女性」よりも要望が高くなっています、「利用手続きの簡素化」で11.0ポイント、「利用時間の拡大」で16.8ポイント、「施設・設備充実」で12.0ポイントそれぞれ高くなっています。また一方で「特に要望がない」では「女性」の方が15.3ポイント高くなっています。

図 75 【学校開放体育施設の利用（性別）】



年代別でみると、「40歳代」では、「施設・設備の充実」が最も高く、「50歳代」と「60歳代」では、「特に要望がない」が最も多くなっています。また、「20歳代」では、「利用手続きの簡素化」、「30歳代」と「70歳以上」では「特に要望がない」が最も多くなっている可能性があります。

表 19 【学校開放体育施設の利用（年代別）】

		調査数 (n)	利用手続きの簡素化	利用時間の拡大	施設・設備の充実	特に要望はない	その他	無回答	(%)
年代別									
	20歳代	14	50.0	28.6	35.7	35.7	7.1	-	
	30歳代	24	41.7	20.8	8.3	50.0	-	-	
	40歳代	32	37.5	18.8	40.6	34.4	6.3	-	
	50歳代	38	39.5	10.5	21.1	42.1	2.6	-	
	60歳代	32	18.8	6.3	21.9	68.8	-	-	
	70歳以上	18	33.3	11.1	22.2	50.0	-	5.6	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

4 小・中学生のスポーツ機会の充実について

問34 あなたは、小・中学生のスポーツ機会を充実するために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（複数回答）（いくつでも）

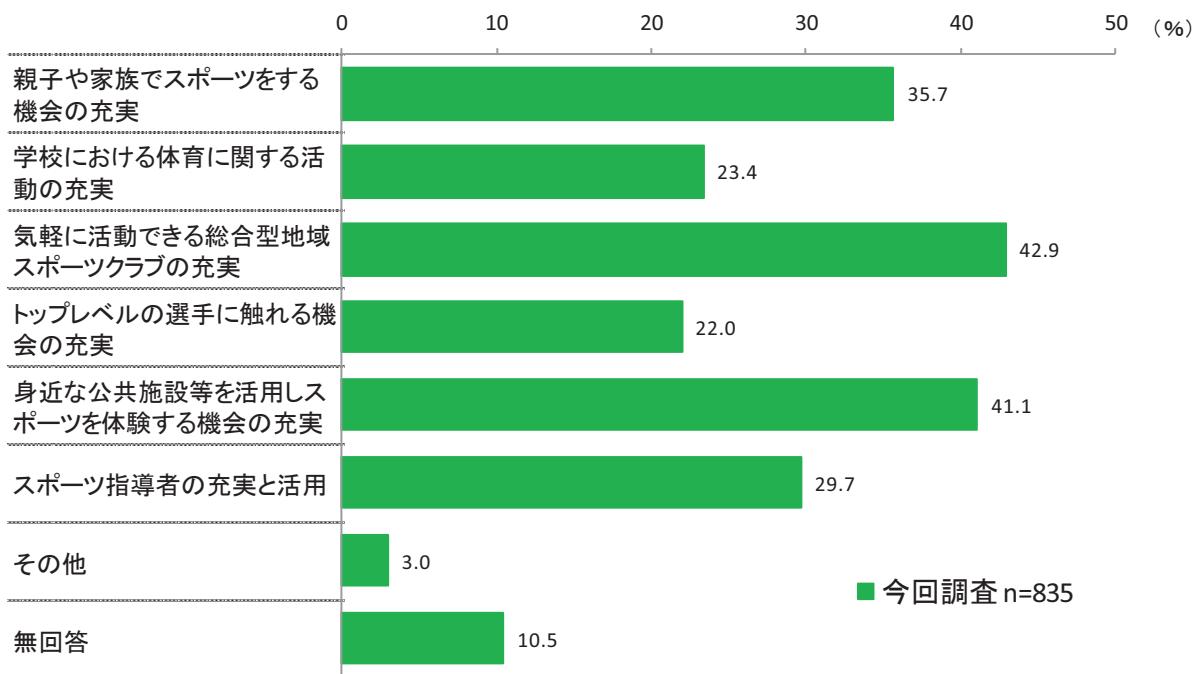
◆ 小・中学生のスポーツ機会を充実させるために力を入れること「気軽に活動できる総合型地域スポーツクラブの充実」42.9%

小・中学生のスポーツ機会を充実させるために力を入れることについては、「気軽に活動できる総合型地域スポーツクラブの充実」が42.9%と最も多く、次いで「身近な公共施設等を活用しスポーツを体験する機会の充実」が41.1%、「親子や家族でスポーツをする機会の充実」が35.7%となっています。この結果より、「総合型地域スポーツクラブ」や「公共施設等でのスポーツ体験」などの活動環境を充実させていくことがニーズとしてあることがわかりました。

また【図 46】より、地域社会が担い手という傾向が、小・中学生のスポーツ機会の充実にも影響をあたえていると思われます。この傾向は、今後の総合型地域スポーツクラブを支える担い手が増える可能性があるという視点としてもみることができます。

以上のことから、「生涯スポーツの振興」を進め、小・中学生のスポーツ機会の充実を目指していくためにも、積極的に「総合型地域スポーツクラブ」の取り組み環境の整備と充実を図っていく必要があると思われます。

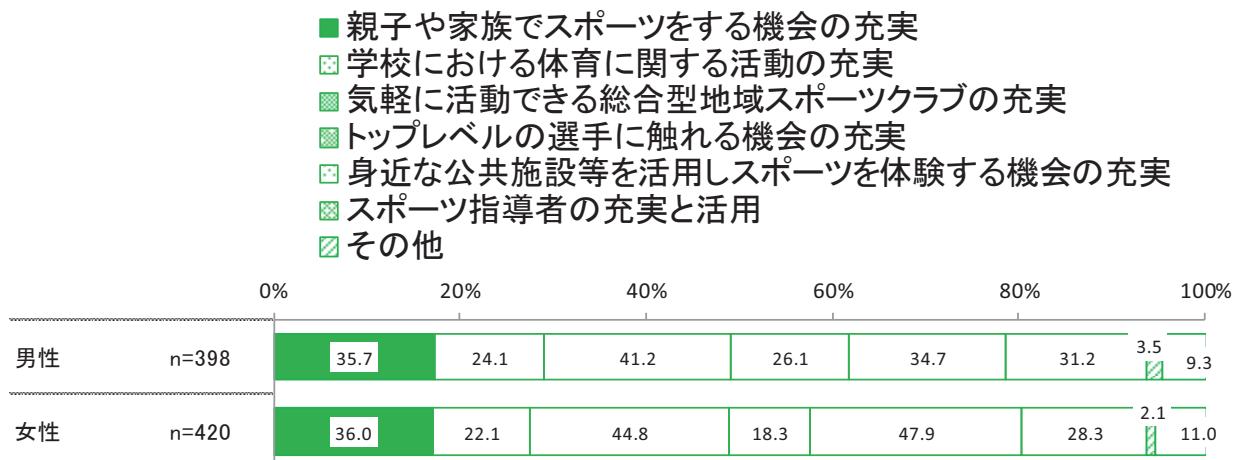
図 76 【小・中学生のスポーツ機会の充実について】



性別でみると、「トップレベルの選手に触れる機会の充実」については、男性が女性より7.8ポイント高くなっています。そのため小・中学生の時から、トップレベルに触れていくべきとの考えは、男性の方が多くなっていることがわかります。また、「身近な公共施設等を活用しスポーツを体験する機会の充実」については、女性が男性より13.2ポイント高くなっています。

さらに、小・中学生のスポーツ機会の充実について、男性は「気軽に活動できる総合型地域スポーツクラブの充実」、「親子や家族でスポーツをする機会の充実」、「身近な公共施設等を活用しスポーツを体験する機会の充実」の順番であったのに対して、女性は「身近な公共施設等を活用しスポーツを体験する機会の充実」、「気軽に活動できる総合型地域スポーツクラブの充実」、「親子や家族でスポーツする機会の充実」の順番となっています。

図 77 【小・中学生のスポーツ機会の充実について（性別）】



5 市の研修会や講演会の希望

問35 今後のスポーツ教室・研修会や講演会はどのような内容で開催してほしいですか。(複数回答)(いくつでも)

※今回調査では、選択肢5～8で「スポーツ」という文言が追加されています。また、選択肢に「東京オリンピックに関連した内容」が追加されています。

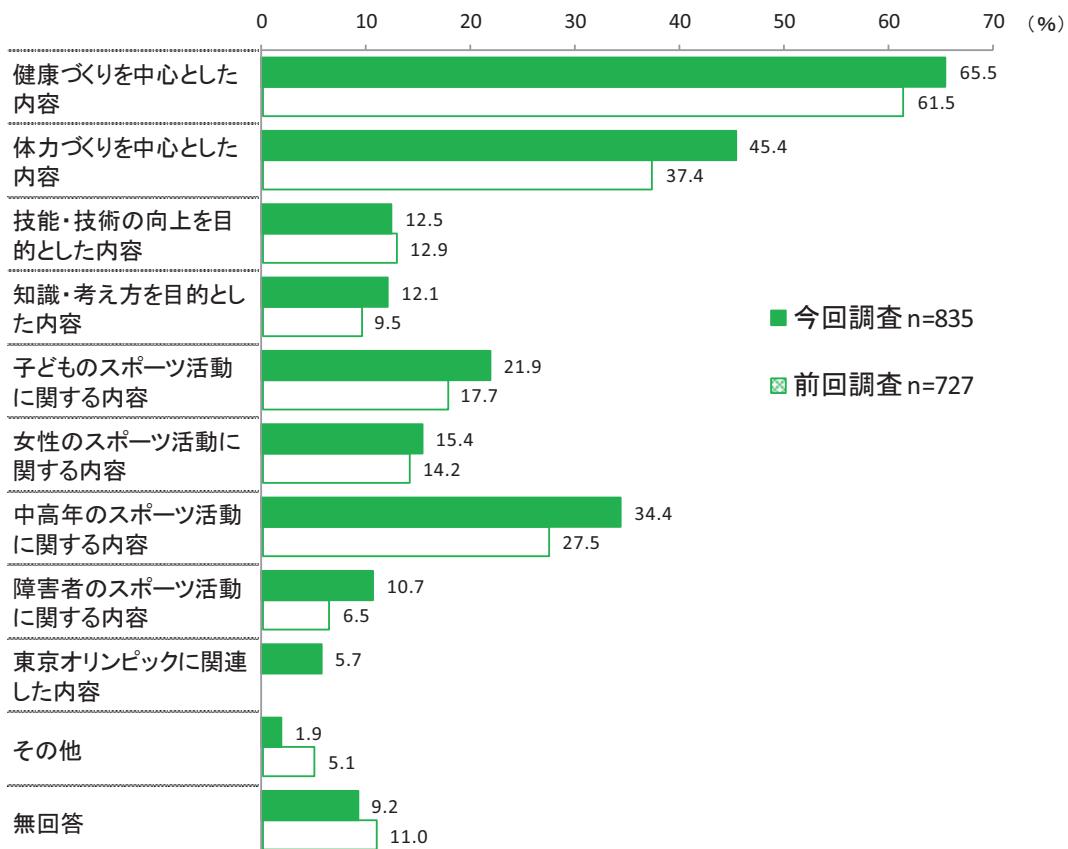
◆ 今後のスポーツ教室・研修会や講演会でしてほしい内容「健康づくりを中心とした内容」65.5%

今後のスポーツ教室・研修会や講演会でしてほしい内容は、「健康づくりを中心とした内容」が65.5%と最も多く、次いで「体力づくりを中心とした内容」が45.4%、「中高年のスポーツ活動に関する内容」が34.4%となっています。この結果より、健康や体力づくりといった点に興味を持っていることがわかります。これは【図31】より、今後のスポーツの目的上位2つの「健康を保持・増進するため」と「体力・筋力を向上させるため」とつながってくる部分ともいえます。

また、「中高年のスポーツ活動に関する内容」については、3割以上がしてほしい内容にあげており、スポーツの実施頻度が「20歳代」と「30歳代」より比較的高い、中高年層の意見としてることができます。

前回調査と比較すると、今回調査では「体力づくりを中心とした内容」が8.0ポイント、「中高年のスポーツ活動に関する内容」が6.9ポイント、「子どものスポーツ活動に関する内容」が4.2ポイント増加しています。また一方で、その他を除いて「技能・技術の向上を目的とした内容」のみ、前回調査より希望が減少しています。

図 78 【スポーツに関する催しの希望】



年代別でみると、「20歳代」では、「体力づくりを中心とした内容」が最も多くなっており、次いで「健康づくりを中心とした内容」となっています。また、「30歳以上」では、「健康づくりを中心とした内容」が最も多く、次いで「体力づくりを中心とした内容」となっています。この結果より、どの年代においても、健康と体力づくりに関する催しを希望していることが伺えます。

さらに、「30歳代」と「40歳代」で「子どものスポーツ活動に関する内容」が3番目となっている理由は、子育て世代が多いことが関係していると思われます。また、「50歳以上」では、自らのスポーツ活動として、「中高年のスポーツ活動についての内容」を希望していると考えられます。

「女性のスポーツ活動に関する内容」については、年代が低くなるほど高くなる傾向にあります。

性別でみると、男女ともに、「健康づくりを中心とした内容」が最も多く、次いで「体力づくりを中心とした内容」、「中高年のスポーツ活動に関する内容」となっています。また、「知識・考え方を目的とした内容」は、「男性」が「女性」より9.7ポイント高く、「女性のスポーツ活動に関する内容」は、「女性」が「男性」より25.1ポイント高くなっています。

表 20 【スポーツに関する催しの希望（年代別・性別）】

		調査数（n）	た健康づくりを中心とし	た体力づくりを中心とし	的技能とした技術の向上を目	した知識・考え方を目的と	に知識・考え方を目的と	子どもとの内スポーツ活動	関女性する内容のスポート活動に	に中高年の内スポーツ活動	に障害者の内スポーツ活動	連した東京オリンピックに	その他	(%)
年代別	年齢	20歳代	62	50.0	51.6	19.4	24.2	22.6	35.5	12.9	8.1	9.7	-	4.8
		30歳代	112	58.9	50.9	16.1	14.3	42.0	20.5	18.8	11.6	12.5	3.6	1.8
		40歳代	129	57.4	41.9	17.8	13.2	34.1	21.7	30.2	14.0	5.4	1.6	5.4
		50歳代	148	73.6	49.3	11.5	6.8	14.9	13.5	41.2	7.4	8.1	1.4	4.7
		60歳代	183	77.0	49.7	13.7	12.0	19.7	11.5	47.0	12.0	2.2	1.6	4.9
		70歳以上	195	63.1	36.4	3.6	10.8	9.7	7.7	36.4	10.3	2.6	2.6	24.1
	性別	男性	398	61.1	45.5	15.3	17.1	21.4	2.8	38.4	10.3	7.3	2.8	8.5
	女性	420	70.2	46.2	9.8	7.4	22.1	27.9	31.2	11.2	4.0	1.2		9.0

上位 1位 2位 3位 無回答除く

6 市体育施設の整備希望

問36 市には多くの体育施設があり、現在、公共施設の適正配置について検討を進めています。そこで、今後、市内の体育施設で特に整備・充実してほしい施設があれば教えてください。（複数回答）（3つまで）

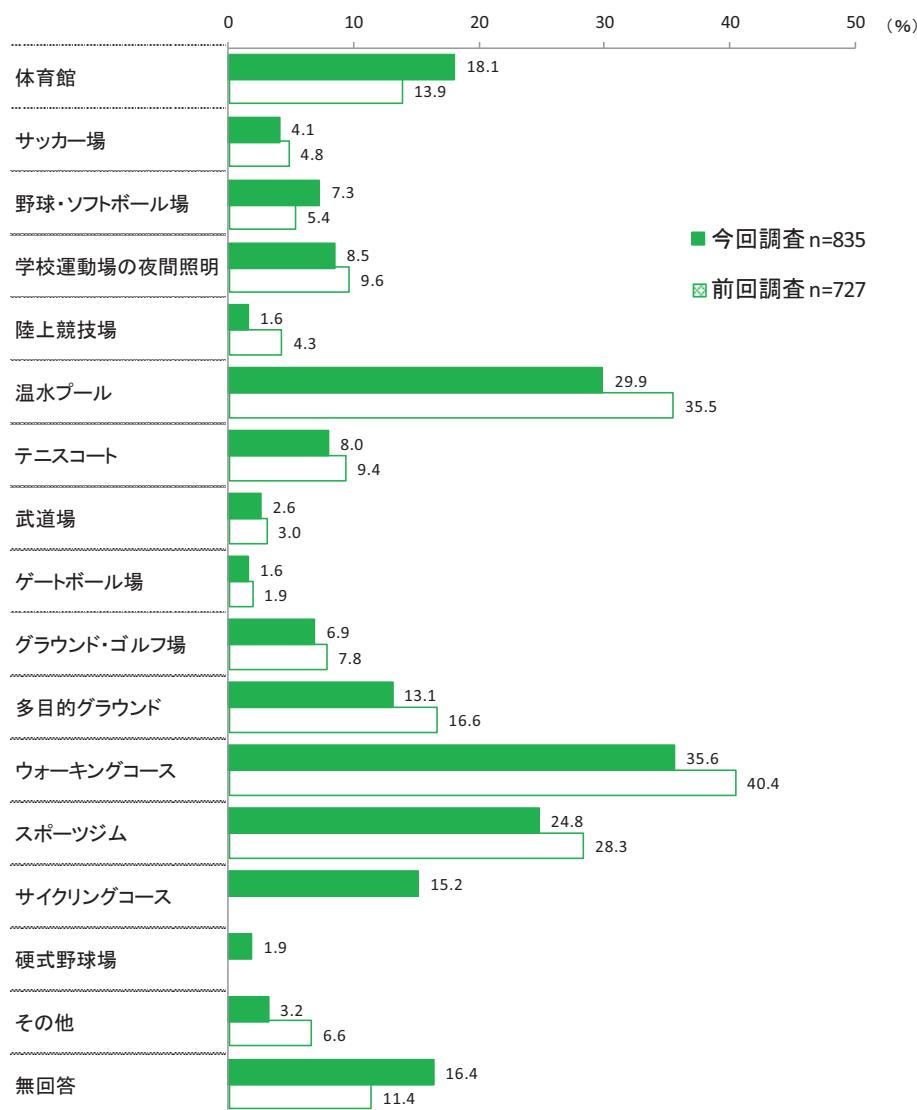
※今回の調査では、選択肢に「サイクリングコース」と「硬式野球場」が追加されています。

◆ 特に整備・充実してほしい施設「ウォーキングコース」35.6%

特に整備・充実してほしい施設は「ウォーキングコース」が35.6%と最も多く、次いで「温水プール」が29.9%、「スポーツジム」が24.8%となっています。また、「サイクリングコース」が15.2%となっています。

前回調査と比較すると、整備・充実してほしいとの意見が増えている体育施設は、「体育館」が4.2ポイント、「野球・ソフトボール場」が1.9ポイントとそれぞれ増加しています。また、両調査において、「ウォーキングコース」、「温水プール」、「スポーツジム」のニーズが高くなっていることがわかります。

図 79 【整備・充実してほしい市体育施設】



年代別にみると、「20歳代」では、「スポーツジム」が最も多く、「30歳代」と「40歳代」では、「温水プールが最も多くなっています。「50歳以上」では、「ウォーキングコース」が最も多くなっています。また、「体育館」では年代が低くなるほど、整備・充実してほしい希望が高くなっています。

性別でみると、「男性」、「女性」とともに「ウォーキングコース」が最も多くなっており、次いで「温水プール」、「スポーツジム」となっています。また、「野球・ソフトボール場」は、「男性」が「女性」より10.0ポイント高く、「ウォーキングコース」は、「女性」が「男性」より10.1ポイント高くなっています。

表 21 【整備・充実してほしい市体育施設（年代別・性別）】

		調査数 (n)	体育館	サッカーフィールド	野球・ソフトボール場	学校運動場の夜間照明	陸上競技場	温水プール	テニスコート	武道場	ゲートボール場	(%)
年代別	性別											
	20歳代	62	38.7	8.1	8.1	1.6	38.7	19.4	1.6	-		
	30歳代	112	25.9	4.5	6.3	9.8	0.9	42.0	8.0	3.6	-	
	40歳代	129	20.2	7.0	12.4	14.7	1.6	38.8	12.4	3.1	-	
	50歳代	148	18.2	3.4	7.4	10.1	2.7	25.7	8.1	4.7	2.7	
	60歳代	183	14.8	3.3	6.0	6.0	1.1	27.3	6.6	3.3	2.7	
	70歳以上	195	8.2	2.1	5.6	5.1	1.5	20.5	3.1	-	2.1	
	男性	398	15.6	6.3	12.6	11.3	3.0	24.9	7.3	3.5	1.5	
	女性	420	20.2	2.1	2.6	6.0	0.2	34.3	8.3	1.9	1.7	

		調査数 (n)	グラウンド・ゴルフ場	多目的グラウンド	ウォーキングコース	スポーツジム	サイクリングコース	硬式野球場	その他	無回答	
年代別	性別										
	20歳代	62	1.6	6.5	24.2	50.0	12.9	4.8	1.6	3.2	
	30歳代	112	8.9	21.4	27.7	34.8	19.6	3.6	1.8	6.3	
	40歳代	129	4.7	10.9	28.7	27.1	18.6	2.3	4.7	9.3	
	50歳代	148	6.1	12.2	42.6	31.1	17.6	2.0	4.7	8.1	
	60歳代	183	4.9	8.7	48.1	21.9	18.0	0.5	1.6	15.8	
	70歳以上	195	11.8	16.4	31.3	7.7	6.7	1.0	3.6	37.9	
	男性	398	7.3	16.3	30.4	23.9	16.1	3.3	4.0	13.3	
	女性	420	6.9	10.0	40.5	26.0	14.3	0.7	2.4	19.3	

上位 1位 2位 3位 無回答除く

6. スポーツや健康づくりに関するアイデアやご意見等（自由記述）

今回の調査で、回答者の方に、スポーツや健康づくりに関するアイデアやご意見等をお聞きしたところ、以下のような意見が得られました。

※自由回答では、個人情報を特定すると思われるものなど、一部抜粋して記載しております。また、原文を損なわない程度に文体を整えています。

主な回答	
スポーツ施設（42件）	
テニスコート（庭球場）については、地域文化広場庭球場は日陰がなくて風通しも悪いので夏や天気の良い日は厳しい。周りの木を減らして風通しを良くしたり、日陰を作つてほしい。市庭球場はナイターの灯りがまぶしい（仕方ないのかな）。オムニコートを作つてほしい。上長山庭球場など。（でも今も楽しく使わせてもらっています）	
公園にスポーツのできる施設と、遊具の充実化。	
高齢者の健康保持、体力向上の為の施設やランニング（散歩）コースの充実を望みます。健康診断、検診等の病気を見つける事はあまり推進しなくて良いと思います。	
ご苦労様です。スポーツや健康づくりの施設等の充実を期待しています。市民が気軽に参加できるスポーツ等に関する企画の充実をお願いします。	
小学校の体育館を町内会のチームで練習のために利用したいが、以前から利用しているチームが毎年継続して利用していて、利用できないのは不公平だと思う。	
諏訪周辺の公共施設を利用したくても、駐車場が少ない、有料等不便。	
体育施設が遠すぎて、車を持っていない私にはいけません。町内ごとに施設があるといいですね。	
小さい時からスポーツをするという心を持たせる様な事が体力づくりに良いと思う。色々なスポーツをする場所が地域に一つずつ位はあっても良いと思う。（いつでも申し込まなければ使用できないという事ではなく、いつでもすぐできる様な場所とか施設がほしい）	
豊川市内の全小・中学校にナイター照明の必要性を感じます。	
土曜日、日曜日、祝日だけでなく、平日でも主婦や自営などの人たちが気軽にできる場所や、子ども達が外で遊べる安全な施設を作つてほしい。小さな子どもをつれたママ達が、いきいきと運動できるように体育館の中で遊べるようにしてほしいです。	
今は子育てあまりできていませんが、以前よくランニングをしていて、今後またランニングをしたいと思っています。ですので、ランニングをしていて危なくない、できれば周囲でまれるようなランニングコースができたら嬉しいです。	
今後は益々年配層が増えると思うので、家の中にとじこもらないように、外に（お年寄りも）出て楽しめる施設の充実を希望。韓国は町にウォーキングコースがあり、地面はアンツーカーになっていて、要所要所に身体をほぐせる簡単な器具が沢山設置してある、日本はそういう点では遅れていると思う。	
総合体育館にジムがありますが、是非サンドバックを数台置いてほしいです。利用したことのないのですが使用料も安くて興味はあるので、サンドバックを是非とも設置して下さい。	
小坂井B&G海洋センターの利用時間が変則的なため利用できない。フリータイムに変更してほしい。	
現在、「総合型地域スポーツクラブ」は、町民、町内在住・在勤の人が対象になっているので、豊川市在住に変更してほしい。	
夜でもウォーキング・ジョギングができる施設があつたら良いです。	
総合型地域スポーツクラブが小坂井地区にもあつてほしいです。	
家族とできるゴルフ場の利用。安くてゴルフ場が利用できるようにしてほしい。国府、為当にスポーツ施設をお願いしたい。町並が古い為、豊川の中心まで出向いていかなければならない。	

	本宮山に週一度ぐらい登ろうと思っていますが、トイレがなくて困ります。例えば簡易トイレを持参で登るにしてもそれをする場所がありません。北海道や東北に行くと必ずその為の場所が作られていて、下山の時には簡易トイレを捨てる箱も用意されています。子ども達も困ってつい道中でてしまい、山を汚しています。今は多くの人が山に登っているので山頂はもちろん、市でトイレの設置をお願いします。
	野球場は多くありますが硬式野球ができる球場がないのではないか。プロ野球が来て試合ができるような施設がほしい。
	プロ野球や高校野球が行える球場など。
	体育館はどんより暗いイメージ。民間のスポーツジムにみんな流れていってるので寂しく思う。設備が整った明るい体育館になれば、市民にとってよりスポーツが身近になり、健康の増進につながるのではないかと思う。スイーツマラソンなど変わった大会を催してほしい。
	地域(校区)ごとに施設が多くあると行きやすい。
	前もって予約不要で、今、時間あるから行こうかなって思ったら、思いついた時利用できる施設とか教室があると気軽にできるし続けやすいなと思います。
	愛知健康プラザの東三河版があればよいと思います。
	筋力トレーニングのできる様な運動器具の設置が近場にあれば是非参加したいと思っています。高い料金を払わなくても1回200~300円程度で使えれば嬉しいです。
	国府、御油、赤坂、長沢、萩地区の方にも、スポーツジムや温水プールなどの施設があると嬉しいです。夜に仕事帰りにジムに行きたくても、少々遠くてなかなかいけないです。気軽に行けるジムがこの地区にほしいです。是非教えてほしいです。
	室内スポーツでは、子どもの忍耐力もあるが、空調がないと話にならない。ソーラーパネルを屋根に設置するなどして、気休め程度でも、空調を常時かけたい。
	あまりお金のかからない充実した施設をお願いしたい。
	他市ではグラウンド・ゴルフをやる場所がありますが、豊川市はないので是非作ってほしいです。
	高齢者に適した施設が少ない。特に農村集落に乏しい。中山間地には施設が無く談話施設がほしい。そこから体力、気分の向上が考えられる。高齢者の独り暮らし家庭が増加しているため。
	ウォーキングコースの明確化、ポイント制などによる、施設等の優遇策。
	農業者トレーニングセンターの体育館をキレイにしてほしいです。
	小坂井B&G海洋センターのプールは水が深くて歩きにくい。改善できませんか。
	中学校運動場に夜間照明をつけてくれるとありがたいです。
	市内体育施設を利用する際の手続きの簡素化、使用料の低料金を実現してほしい。
	岡崎に住んでいましたが、豊川の野球場などは、あまり整っていない気がします。もっと施設を整えてほしいです。どうしても岡崎の方が魅力を感じてしまい、岡崎ばかり行ってしまうので、もっと豊川も魅力ある市にしてほしいです。多くの自然豊かな事は、すごく気に入っています。
	野球、ソフトボール場などが少ないと思われる。(気楽にやれる所の充実)
	赤塚山グラウンドに立派な照明が設置されているが季節によって、照明が使用できないことがある。仕方がないとは思うが。雨天、夜間でも使用できる人工芝や天然芝などのサッカーグラウンドがあると良いと思います。これからサッカー人口は、まだまだ増加すると思います。
	御油小学校の地域では、あまり近くにジム等ないので、新しい施設があると嬉しいです。
	夜間使用する球場のナイター利用料金が高すぎる。球場もグラウンドは荒れすぎてボコボコ。芝は雑草が生えすぎていて、気持ちよくプレーもできず、やりづらい。市プールを子どもとよく利用するが、施設もかなり古いし、不衛生。子どももあきてしまい、市外のプールに出掛ける事もあるので改善してほしい。(もっと利用したくなる魅力的な市プールにしてほしい)
	豊橋のアクアリーナのような、1回400円くらいのトレーニング施設を作ってほしい。あと、ランニングが好きな人たちが集まって走ったりできる、ランニングチームがあれば、嬉しい思います。

スポーツ指導者（12件）

スポーツを指導する事に重きを置き、行き帰りのマナーが悪い。特に、大人が車を、どこにでも止めたりしていて不快な気持ちになる。子どもたち以前に大人にマナーを徹底してほしい。大人は子どもの鏡です。
高齢者の健康維持のための講演会や実技指導の機会を増やすしてほしい。地域ごとに個人の健康維持のカルテを作つて指導してくれる人の派遣をして頂けるとよいです。
スポーツは身体の鍛錬をすることだと勘違いしているリーダーが多すぎる。オリンピックで金メダルを獲得することを究極の目的とする指導者が多すぎる。そこには著名な人種がうようよ、金もうけを目的とするスポーツ人が多く、オリンピック委員会幹部は今やミリオンドラーに成り下がっている。
学校の部活動をクラブチームに移行すれば、専門知識のある指導者が指導できると思う。教員は、専門知識のある人が部顧問になるとは限らない。
私の住む地区は老夫婦、一人暮らしの女性が多く、また、知人數名が認知症でケアハウス入居、この先が不安です。老人が歩いて集まれる所に、笑い体操、タオル体操、パネルゲーム、脳トレーニングなどができる環境を整え、地区に指導者を育成し、笑いが多い楽しく遊べるトレーニング場が老人達にはこれからは必要だと思います。
指導者の充実、子どもの数が減っているので、各学校で、分担して、野球はどこどこ、ラグビー、サッカー等、広い場所がいるスポーツは、各校のグラウンドに子どもを集めて良い指導者を配置して、怪我のない、楽しいスポーツを子ども達に与えて下さい。
子どもにスポーツを指導する方への、教育・指導をして下さい。良い指導者は、子どもの技術だけでなく、人間としても成長させます。良い指導者に出会うことは難しいです。考え方・言葉のチョイス・プロの指導方法など、技術だけないものを指導者には身につけてもらい、未来ある子どもを大きく育ててほしい。
福祉保健センターへ入浴に来る人に対して、時間を決めて健康体操など指導員が出張して行う。
定年退職した、スポーツ経験のある、元指導者や選手に、子ども達の指導ができるような、人材バンクをつくり、積極的に活用するようなことをしていくのはどうか。地域の大人が児童・生徒を指導することが、地域スポーツを活性化させるポイントであると考えているためです。総合型地域スポーツクラブは、日本では無理なので、各種目のクラブの発展を考えた方がよい。
2020年の東京五輪に備えて、豊川市からの出場選手を増やすため、6年後を見据えて若い人たちの育成が必要。このため施設の充実、指導者の育成が急務だ。
スポーツでは根本的に生活の基本、マナーの指導が行われていない。ただ勝つことだけを目的にするスポーツで健全な心の教育がなされるとは思えない。武道ですら勝利至上主義の指導が行われている現状で、入口で履物を揃えることすらできていないのは指導者の根本的な心得違いからである。私は武士道の涵養を第一とする精神教育が根本にあるべきで、単なる勝利至上主義の指導は罪多くして功少しと考える。
子どもたちに、トップレベルの選手や、すでに引退されたさまざまな分野（スポーツ）の方のお話や技能にふれる機会を多く設けていただけたらと思います。時々、母校で話をされたり、技能、技術を見せてくれたりする記事を目にしますが、できたら、市内の多くの子どもたちにその機会があればと思います。

スポーツ環境 (13件)

スポーツで体を動かす事の大切さは理解しているつもりですが、日常、家事と子育てと仕事をこなすのに精一杯で自分の為に時間を使う余裕が全くないのが現状です。子どもが自立したら今度は介護かもと思うと、スポーツで汗を流す時間なんて夢のような気がしてしまいますが、いつかは実践できるといいなと思います。

託児所があれば積極的に参加したい。

年齢及び世代により、求めるスポーツのレベル目的が大きく違ってくると思いますので、同一スポーツでも、世代別に合わせた指導者の育成等も含めて考えて頂き、幅広い世代が施設の利用ができることが望ましいです。例(健康育成コース・プロ育成コース)

川の堤防の下にウォーキングコースができたなら車を気にせず、自然に遊びたいです。

ふるさと公園に週3日ほど行っていますが、体力の維持と生活のリズム作りに役立っていると思います。トイレ、休憩所も充実していますが、公園内のプレイ施設、例えばすべり台は子どもの利用のみに限られており、どうして幼児も利用できる安全な施設を「シニア」が利用できないのか、理由がわかりません。また、トイレの清掃は十分でなく、新しいのにもかかわらず、美しく保たれているとは言い難いです。その他の散歩に適した道沿いの所にも、トイレとか屋根つきベンチがあれば、利用がもっとできるのにと思います。

卓球、バレーボールなど、相手や仲間がいないとできないスポーツができる機会があつたりするとありがたい。

チームでなくては、利用できないような施設が多く、子どもも大人も特定のスポーツチームに入らねば、スポーツが楽しめない傾向がある。以前に比べ、子どもの体力が落ちているのは、身近な場所で、少人数でも遊びながらスポーツをし、楽しめる場所が少なくなっていることにも原因があるように思う。

1人で参加するには、勇氣が必要となるので、家族やカップルで参加するなど、「スポーツ」というものに手を出しそうい人、自信がない人が安心してできる環境づくりを求めます。本当にスポーツ好きな人は、工夫して運動できるので。

豊川の堤防道路をサイクリングロードに整備してほしい。

町内の人たちと触れ合う機会がないので、スポーツ大会などに参加してつながりを深めたいが、なかなかその機会がない。

あまりお金をかけずに、自然を利用したウォーキングコースや、サイクリングロードがあれば、誰でも時間がある時気軽に利用できると思います。できれば駐車場を併設していただければありがたいです。

ウォーキングについて、大多数の人は自宅付近での適当な場所を選んでいる。車を利用して行く遠方でない、ウォーキングに適したところを多く開拓し整備してもらいたい。

平尾の駒場ダム沿いの道が、春桜がきれいなので、ゆっくり散歩したり、サイクリングできるように、ガードレール等で安全に通行できるようにしてほしいです。子どもが大きくなったら一緒にサイクリングをしたいです。

スポーツ事業・行事 (21件)

私は高齢の一人暮らしの者です。地域文化広場のグラウンド・ゴルフの仲間に入れていただきゴルフ週3回と、広場の清掃週一回、自宅での自転車こぎが唯一の私の健康のもとです。80才歳前後になりますと足腰が弱くなり車には乗れず、自転車もおぼつかなくなり遠くには行けませんので、一日黙ってテレビ観戦となります。家から10分以内位で行ける様な地域の市民館あたりで、声を出して誰にでもできる簡単な運動をしてほしいと思います。

市民体育大会の少年ソフトボール会場と青年ソフトボール会場を入れ替えてほしい。(豊川工業高校のグラウンドで雨天中止が多いため)また、市内大会の上位チームで、東三河大会を開催してほしい。

健康上運動をするのに自信がありません。高齢者や病弱の人たちの個人レベルの体操教室を是非行ってほしい。

豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

高齢者が楽しんでできる、健康づくりの場がほしい。スピーカーを通して、定時にラジオ体操と豊川市はじまりの体操を流してほしい。あれはダメ、これはダメが多い。本当にその方法が住民のためですかと思うことがあった。市民のためが、お題目だけでない様に願う。
高齢の方が身近な場所(公民館とか市民館等)でできる健康体操の実施。いすに座ったまま行う体操とか、声を出して笑うとかの簡単なもの、気軽にに行けるところがたくさんあるといいと思います。
老人社会の今日この頃です。引きこもりの人も大勢います。簡単な身近にできるスポーツを地区の集会所などで行って下さい。人に触れ合って元気な健康な人生を送りたいです。
遠くまで行けない、または、車に乗れない方達の為に近くの公園で少人数でもできる事が必要だと思います。もっと年をとつていけば、スポーツを通して人と接する事がとても大切と感じます。
ウォーキング大会を年4回位してほしい。
子どもが遊べる遊具を増やし、いろんなスポーツのイベントをしてほしい。
体育館でのエアロビに参加した事がありますが少ない定員に対して朝早くからの順番取りが大変でした。もう少し時間を増やすとか工夫してほしいです。歩道をウォーキングしている人が多いけど歩道がガタガタで危ないです。お年寄の方が健康のためにしているのに逆に転んだり怪我をしたりしそうです。舗装とかできればいいなと思います。
市総合体育館で開催されている、トレーニング教室の様に、自分の合う時間に参加でき、気軽にスポーツができる教室を各公共施設で開催してほしい。また、市内の公共施設にある、設備・器具がわかる雑誌を配布してほしい。(雑誌には、申し込み方法、使用料、ルール等の細部まで記載)具体案:音羽支所にスポーツ器具andジムの設置(指導者常駐)
近頃子ども会の夏休みのラジオ体操が縮小されているようです。ラジオ体操は誰でもできる体操なので、町内会や校区など身近なところで集まって(朝夕の散歩の途中などでとか)やれるといいなあと思います。放送で決まった時間に流すとか。ちょっとうるさいといわれるかな。
高齢者を対象にした、体力に見合った運動の指導を受けられるような機会がほしい。
市民が楽しくスポーツに取り組めるような研修会や公開体験教室を持つと良いと思います。運動することが健康に良いということをどんどんアピールすると良いと思います。講演会、広報、スポーツ教室の実施。
毎週決まった曜日に集まって行うスポーツ活動は、なかなか初めて行く人にとっては、既存のグループに入って行きにくいように感じます。何かを新しく作るのも良いですが、現存している集まりの雰囲気を良くすることも大切であると思います。色々な意見があり大変だと思いますが頑張ってください。
テレビで健康番組が多数放映されており、最近は「体幹を鍛えよう」とよく耳にします。番組でその体操等も紹介されますが、実際に、自分では、ほぼ実践していません。テレビを観ながらでも、簡単に続けられるようなメニューが書かれたパンフレット等があれば、嬉しいと思います。
体育館で会社員でも行けるような、土・日にヨガとかあつたら、気軽に参加してみたいです。小坂井B & G海洋センターで、土・日に大人の水泳教室みたいのがあれば良いなあと思います。やっているのだとしたら知る機会がないので情報を増やしてほしいです。
親子共々いろいろなスポーツを体験してみたいです。体験参加できるとスポーツを続けるきっかけになりそうなので。
スイミングや体操教室など、土日の時間を増やしてほしい。
個人でも楽しめるストレッチなども入れてほしいです。女人達が集まると話しが長くなったりして前に進めなくなったり、別で仲良くなったりする事が少々面倒です。運動が嫌いですみません。
私は、現在、マラソンを行っているので、(今でもやっておりますが)マラソン大会の距離の延長(ハーフ、フル)を行ってほしい。

スポーツ全般（31件）

中高年者は歩くこと。ウォーキング、散歩、野外活動等により健康維持増進によい。
収入の少ない者でも気楽に通える、料金でお願いします。
60才をすぎてあまり激しい運動はできないし、あまり歩いていないので本宮山登山をはじめました。少しずつ登りながら、計画し、自然の中でここちよく頂上まで登った時は感動しました。また登ってみたいです。
肥満気味の人には、水泳を勧めて下さい。（プールを歩くだけで違います）
ボウリングは、まだまだスポーツとしての認知度が低いので、残念に思っています。豊川市で、もっともっと、スポーツボウリングの楽しさを、広めていただけたら、嬉しいです。宜しくお願ひ致します。
豊川に嫁に来ました。一緒にスポーツをやる人の機会がないです。
「健康第一」を守って50年以上ラジオ体操を続けています。友達にも勧めますがなかなかできない様子です。これからもいつも背筋を伸ばすこと。ラジオ体操は続けて行きます。
競争するスポーツは無理ですが、健康、体力維持のスポーツを積極的にやりたいと思います。
年齢を重ねても体を動かしてみたいと思います。
私は30代～40代に週に1回バレーをやっていましたが辞めてしまいました。機会があれば年齢にあったスポーツをまた始めたいと思いますが、夜ではなく昼間自宅の近くでできればと思っています。
校区体育振興会を総合型地域スポーツクラブの様な活動に進化させていたらと思う。市民体育大会の校区予選で思うことは、特に青年男女の選手集めが大変なこと。小学生の頃から地域（校区）での体育活動に参加すれば、少年少女→青年男女→一般男女の流れが確立できるのではないか。そのためには、体育実行委員が1～2年で交代していくこともネックの一つと考える。スポーツ推進委員のように、ある程度長期的視野に立った運営が必要ではないでしょうか。
中学校に水泳の授業はいらないと思う。せっかく水を入れても、1学期に2・3回しか使わないなら、最初から、プールを作らなければ良いのに。お金も水ももったいない。どのスポーツでもそうだと思うのですが、最初にどこのチームに入って良いか全然わからないので、広報などで、町のスポーツチームの紹介してほしい。気軽にやってるのか、本格的にやってるのか、どんな年代の人なのか、教えてくれると、最初の一歩が踏み出せる気がします。
高齢者になると体を動かす事が少ないので、自分で乾布摩擦をやったり、散歩をして自分で体力を保てる様に努力する事が必要だと思います。
加齢と体力、運動神経はなかなか比例するものではないので、静の動作が主体となるスポーツの開発が有効ではないかと思います。
毎日、少しづつ取り組むことが大切だと思います。
3連休で市民参加型のマラソン野球でギネスに挑戦。
自分は高齢の為にあまりレベルアップは望まないが、ゆっくりと自分の体力に合った運動を今後も継続して行きたいです。
中学・高校・職場で20才代まではスポーツを通じた仲間もいて機会があった。またゴルフブームでやはり職場の話題作りとして接してきたが、40才代になると感心が薄れた。その後は自身が参加するスポーツは無く気持ちも少なくなった。でも無職となり時間がある今は、少し体を動かさなくてはとの思いはあるが、ブランクと長く続けたスポーツも無い事から積極的な行動ができない。
とよかわオープンカレッジでヨガに参加したことがあります、体を動かすことが大切と感じました。色々なスポーツを気軽にできるといいと思います。
体調の許すかぎりつづけたいと思います。
もっと気軽にスポーツに参加ができると良いと思っていたのだが、協会など細かい決まり事が多くあり驚きました。年齢・性別問わず、誰もが気軽に参加できるルール作りがこれからはあってもよいのではないかと思った。

豊川市のスポーツに関する市民意識調査

調査報告書

高齢者向けのスポーツ指導、施設、クラブ等の検討を要望します。 若い頃を思い出しながらアンケートに参加いたしましたが、高齢者になり、これから健康のことを考えています。今の体の状態が、維持できるうちは、子ども達を育てて参りたいと思います。放課後子ども教室にいろいろな(消極的な子、ダウン症の子、幼児)子どもが集ってきます。指導する私達が健康で正しい方向へ導いていかなければと、重く受けとめています。あまり参考にならなくてすみませんでした。
学校運動場の夜間照明を、管理運営をしっかりやって(有料)、どの年代の方や、どの活動の方にも利用できるように推進したら、スポーツ活動が活性化すると思います。赤塚山公園グラウンドの芝のような乱雑な使用は、本当にもったいない税金の使い方だと思います。きちんと管理し、総合的な施設をきちんと作ってほしいです。作ったからには責任を持って運営して下さい。
スポーツや健康づくりは年代によって変ります。年代でも60才以上になると個人の差がでて無理がきかなくなります。私は海外旅行が好きで体力を保つため、自分で目的を決めてウォーキングをしています。70代になりますが、この7年間は歯科以外は病院にかかったことはありません。若い頃から体力をつけることが大切だと思います。
夫婦で楽しくできるスポーツが、自分の近くにできたら参加したい。主人は、スポーツはあまりしないが、これから年をとつて行くので、健康の保持の為に。
市の方でいろいろしていただけますが、各自が前向きに挑戦する意欲が無ければ難しいです。私が知っている男性は、一歩も外へ出る事をせず、一日中部屋で本を読んでいるだけです。この方は、外に出る事が苦手なのかな。病気に繋がるのではと、皆で心配している様子です。
スポーツについて考るにはあまりにも年をとりすぎています。迷惑をかけない様に生きていきたいと思います。
アンケート用紙をいただきありがとうございました。スポーツは好きで、若い時から卓球・ソフトボール・バレーボールなどやっていましたが、年齢的に無理となり怪我も心配で今は犬をつれ散歩のみです。参考になれず、すみませんでした。
センバツの豊川高校の様にスポーツで地域が盛り上がる事はとても良い事。その為に高いレベルの指導を幼少の頃から受けられる機会、システムを構築してほしい。
スポーツを通じ子ども達の礼儀や心のゆとりを持ってほしい。子ども達が社会に入った時には上下の関係等で苦労しない様にスポーツを通してほしい。

スポーツ施策（10件）

健康づくりは行政ではなく自己管理が必要だということを、行政から発信していく必要がある。『ハコモノ』はいらない。
日本は全体的に野球に考えが寄りすぎている。野球以外のスポーツの発展へ協力と援助をするべきである。
健康づくりならば、保健の面でも合わせて行うべきだと思います。
スポーツが発展している市、例えば田原市とかに視察とか行って、いろんな現場を見て来て下さい。テニスなど全国レベルですよ。
民間のスポーツジムに通い、早いもので23年位続いております。自分にできる中で少しづつ取り入れて、なんとなく続けてきました。お金はかかりますが、何とか今後も続けられるでしょう。市からも、協賛していただけると良いのですが。年間夫婦で約20万円位かかりますので。健康づくりは高くつくのかな。
民間のプール使用料の補助をお願いしたい。
市内の地域スポーツ団体で、必要な備品等ではあるが、高額のため購入できない物等に対する、市が補助する制度の充実。

毎月、高い市民税を支払っている私としては、小学校・中学校それぞれ、学校で、子どもたちにスポーツ活動を、勧めていくようにしてほしい。地域でなんて、毎日、少ない休日しかない仕事をして働いている身としては、休日を削ってまで参加しようとは思わない。なので、体育大会もなくていいと思っている。子どもたちのために、学校のために、お金を使ってほしい。
ロコモティブシンドロームをもっと広めてほしい。とくに元気な年配の人ほど筋力低下を認めないので、怪我をして寝たきりになってしまう前に、日常でできるトレーニング法など回覧板で配布等々やる気が出るようにスローガンつきで推進をお願いします。
ラジオ体操を家族、家庭や地域で週に何回とか毎日行うように勧める。

スポーツ情報（7件）

利用した事のない人向けに、誰でも気軽に使えることをアピールしたら良いと思う。
高齢者でもできるやさしい運動。病気回復の為の自分一人でもできる軽い運動。
50代、60代、70代、80代のシニアスポーツの情報を、わかりやすく広報で知らせてほしい。できたら、年4回ほどの大会があつていろいろな地区の人と交流してみたい。
20～30代の女性が参加できるサークル等を作つてほしいです。もし現在すでに存在していれば、広く知らせていいです。
各体育施設での設備、指導者、利用状況について広報で知らせるべきでないでしょうか。一部の特定の人に片寄った体育活動では世代の継承はできず、施設に費用がかかるだけ。もっと市民の健康、体力づくりはどうあるのか、事務局、議会、行政が真剣に考へないと、健康保険制度はもちませんよ。
現在子どもが社会人、大学生になっている為、地域・小・中学校との関係、情報が入ってきません。さらに地域といつても、町内会回覧版経由での運動会、ソフトボール、バレーボール等参加呼びかけ程度です。もっと密接に情報を得られないと、民間施設や団体の方に足が向き、公的利用は遠のいていくと思います。また、市のイベントや練習に参加しづらい。
個人的にバドミントンをやりたいのですが、体育館とかはどうしたら貸しられるのですか。どこに電話したらいいんですか。そもそも個人的に借りられるのですか。

中学校部活動（6件）

中学校部活動を充実させるため、外部指導者（職業として）の活用。税金を使って職業としての指導者を多数育成する。
中学校の部活動の顧問の先生によって力が偏ってしまっているので、子どもたちが意欲的に活動ができるようになると、市内大会等で差がなく良い試合ができると思います。スポーツ好きだけで顧問をして、練習がきちんとできない。専門の指導者をつけると良いと思います。
学校からの帰り、夕食をすませ6時からクラブのバスケットボール、音羽、小坂井、御津、親が送り迎えをしています。大変だと思います。本人が頑張っているのを見て体をこわさない様遠くから見守っています。（時々電話で頑張ってね）と励ましている祖母です。何もお力になれずごめんなさい。
小学校、中学校が、生徒を地域のスポーツのクラブチーム（野球やサッカー）に体験で入れるようなきっかけを作つてほしい。学校の部活動では限界があると思っています。
中学校の部活動の指導者を地域から募集する。
学校（小、中、公立高校）での部活動の指導には、問題があると思います。教職員の数が不足していると思いますが、どうしても当りハズレがあることは否めません。それなら自分から転校すればいい、というわけにはいかないのが現実ですし、中学校までは選べません。初心者の先生が顧問につくことは、指導力もありますが、競技に対しての危険度も出てくると思います。もっと地域の一般の方を指導者として有料でお願いするなど地域で選手を育てる考えても良いのではないでしょか。お金持ちができるのがスポーツ、優勝者だけを褒め称えるのがスポーツではないと思います。

その他（12件）

実際に施設を使用する人に改善点などを聞いた方が良いと思う。

市の施設を使用する機会があまりないので、参考にならないアンケートの答えで申し訳ありません。この様なアンケートでしたら、もっとスポーツをされている方を選ばれた方が参考になると思います。（無作為でなく、スポーツ愛好家にアンケートをとつたらどうでしょうか）

若い頃には、いろいろスポーツをして楽しんでいたが、年を取って病気、ケガ等をして、スポーツ無関心な人間になりつつありますが、スポーツ観戦は、いまだに好きです。特にスポーツ施設を充実させなくても空地があれば、なんでもできるし、昔の人間としては、無駄に税金を使うなといいたい。

走るとひざのなん骨が減るらしい。どうしよう。

期待もしていない。

80才に近い人にアンケートを取らずもっと若い人から取った方が良いと思う。

意識調査について私の所にきましたが、私は、7回も手術をして現在も通院加療中のために、スポーツなんて到底できない体、少し散歩するのが精一杯です。この様な体を持つ人の所に調査用紙を下さった所で満足のいく答えが見つかりません。この事を知って頂き、これからは、十分に出す側も配慮が必要と思われます。調査の回答は少しおかいかもりせんがよろしく。

関心ありません。

今後このようなアンケートは送らないで下さい。アンケートに協力できかねると思いますのでよろしくお願ひします。

現在90代で要介護4の状態で、介護施設にいる状態なのでアンケートの内容にお答えできません。

このアンケートの回答は、本人高齢のため、息子の嫁がかわりに回答しました。

スポーツができないので特に要望はない。

III. 資料（平成26年度調査票）

豊川市のスポーツに関する市民意識調査ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

豊川市では、平成22年3月に『健康・仲間・人づくり！笑顔あふれる スポーツの盛んなまち豊川』を基本理念に、生涯スポーツ社会の実現を目指して、『豊川市スポーツ振興計画』を策定し、スポーツの振興に取り組んできました。この計画は、計画期間の中間年次にあたる平成26年度に改めてスポーツ振興の状況把握や課題の整理を行い、計画の改訂を行うこととしております。

そこで、市民の皆様を対象に、スポーツや健康についての考え方や関わり方等をお聴きするため市民意識調査を実施することといたしました。あなたが現在行っているスポーツのことや健康づくり、今後のスポーツ活動に対する取り組みなどを率直にお答えください。

なお、この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方の中から、2,000人の方を無作為に選ばせていただき、お送りさせていただいております。調査にご回答いただいた内容につきましては、他の目的には使用せず、ご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、豊川市のスポーツ振興、健康づくりの環境整備に取り組むための重要な調査ですので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成26年9月

豊川市長 山脇 実

調査用紙への記入にあたって

・この調査は、無記名です。回答者が特定されることはありません。また、すべてコンピュータで統計処理し、個人的な意見や考え方は外部に漏れることはありませんので、安心してご回答ください。

・この調査における「スポーツ」とは、例えば、運動競技、武道、キャンプ活動、ジョギング・ウォーキング・散歩、野外活動・レクリエーション活動などの健康及び体力の保持増進を図るためにされるすべての活動を指します。

・回答は、あなたが選んだ答えの番号に○を記入してください。

記入例 あなたは、体力に自信がありますか。

1. ある 2. 少しある 3. ない

また、「その他」の場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。

・ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒を使って、9月30日（火）までにポストにご投函ください。（切手は、不要です。）

＜お問合せ先＞

豊川市教育委員会 スポーツ課（音羽庁舎内2階） 担当 小木曾・山口

〒441-0292

豊川市赤坂町松本250番地 TEL 0533-88-8036（直通）

●あなたのことについてお尋ねします

問1：あなたの年齢を教えてください。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問2：あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性

問3：あなたの職業を教えてください。

1. 農林・水産業 2. 会社員 3. 公務員・教員 4. 自営業・経営者
5. アルバイト・パート・契約（派遣）社員 6. 専業主婦（主夫） 7. 学生
8. 無職 9. その他（ ）

問4：あなたが住んでいる小学校区を教えてください。

1. 豊川小学校区 2. 東部小学校区 3. 桜木小学校区 4. 三蔵子小学校区
5. 千両小学校区 6. 牛久保小学校区 7. 中部小学校区 8. 八南小学校区
9. 平尾小学校区 10. 国府小学校区 11. 桜町小学校区 12. 御油小学校区
13. 天王小学校区 14. 代田小学校区 15. 金屋小学校区 16. 豊小学校区
17. 一宮東部小学校区 18. 一宮西部小学校区 19. 一宮南部小学校区 20. 薩小学校区
21. 長沢小学校区 22. 赤坂小学校区 23. 御津北部小学校区 24. 御津南部小学校区
25. 小坂井東小学校区 26. 小坂井西小学校区 27. 校区不明 () (町) 在住

問5：あなたは、自分の健康・体力に自信を持っていますか。

1. 自信がある 2. やや自信がある 3. どちらでもない
4. やや自信がない 5. 自信がない

問6：あなたは、スポーツで体を動かすことが好きですか。

1. 好き 2. やや好き 3. どちらでもない
4. やや嫌い 5. 嫌い

問7：あなたは、テレビや競技場でスポーツを観ることは好きですか。

1. 好き 2. やや好き 3. どちらでもない
4. やや嫌い 5. 嫌い

問8：あなたは、スポーツの観戦をどこですることが多いですか。

1. 市内の体育施設・競技場
2. 市外の体育施設・競技場
3. 自宅のテレビやラジオなど
4. スポーツ観戦はしない
5. その他（ ）

●あなたのスポーツの実施状況等についてお尋ねします

問9：あなたは、何日くらいスポーツをしていますか。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日 | 2. 週に3～4日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に1～3日程度 | 5. 年に1～3日程度 | 6. 全くしていない |

問10：問9で、1～5を選んだ人にお尋ねします。あなたは、どこでスポーツをしていますか。

以下のなかからいくつでも選んでください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 自宅 | 2. 近所の道路や空き地など |
| 3. 公園や広場 | 4. 山や海・川など |
| 5. 学校の施設 | 6. 市内の公共施設 |
| 7. 市内の民間施設 | 8. 市外の公共施設 |
| 9. 市外の民間施設 | 10. 職場にあるスポーツ施設 |
| 11. その他（
） | |

問11：問9で、1～5を選んだ人にお尋ねします。あなたが、現在行っているスポーツは何ですか。

以下の空欄に3つまで記入してください。

（ ）（ ）（ ）

問12：問9で、1～5を選んだ人にお尋ねします。あなたが、今スポーツを行っているのはどのような理由からですか。以下のなかから3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 健康を保持・増進するため | 2. ダイエットのため |
| 3. 友達づくり・交友のため | 4. スポーツが好きだから・楽しいから |
| 5. ストレス解消のため | 6. 体力・筋力を向上させるため |
| 7. 病気やけがのリハビリのため | 8. 競技で記録に挑戦するため |
| 9. 競技での勝ち負けを競うため | 10. その他（ ） |

問13：問9で、1～5を選んだ人にお尋ねします。あなたは、スポーツクラブやチーム等に所属していますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 所属している | 2. 所属していない |
|-----------|------------|

問14：問9で、6を選んだ人にお尋ねします。あなたが、スポーツをしていないのはどのような理由からですか。以下のなかからいくつでも選んでください。

- | | | |
|---------------|------------|-----------------|
| 1. スポーツが嫌い・苦手 | 2. 関心がない | 3. 忙しい・時間がない |
| 4. 仲間がいない | 5. お金がかかる | 6. 指導者がいない |
| 7. 場所がない | 8. きっかけがない | 9. スポーツをする必要がない |
| 10. 健康上の理由 | | |
| 11. その他（ ） | | |

●あなたの将来のスポーツ活動についてお尋ねします

問15：あなたが、これからやってみたい、もしくは続けて行きたいスポーツや運動を以下の空欄に3つまで記入してください。

() () ()

問16：今後、あなたがスポーツを行おうとする場合、どのような目的で行うことになると思いますか。以下の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 健康を保持・増進するため | 2. ダイエットのため |
| 3. 友達づくり・交友のため | 4. スポーツが好きだから・楽しいから |
| 5. ストレス解消のため | 6. 体力・筋力を向上させるため |
| 7. 病気やけがのリハビリのため | 8. 競技で記録に挑戦するため |
| 9. 競技での勝ち負けを競うため | 10. その他 () |

問17：今後、あなたがスポーツを行おうとする時、どこでスポーツを行いたいですか。以下の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 自宅 | 2. 近所の道路や空き地など |
| 3. 公園や広場 | 4. 山や海・川など |
| 5. 学校の施設 | 6. 市内の公共施設 |
| 7. 市内の民間施設 | 8. 市外の公共施設 |
| 9. 市外の民間施設 | 10. 職場にあるスポーツ施設 |
| 11. その他 () | |

問18：あなたが、将来スポーツを行おうとするときに問題となると考えられることは何ですか。以下の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. スポーツをする施設・場所がない | 2. 自分のレベルにあった指導が受けられない |
| 3. 一緒に活動する仲間がいない | 4. 用具の購入や施設使用料等が高い |
| 5. スポーツの情報・知識が足りない | 6. スポーツをする時間的な余裕がない |
| 7. 健康・体力面に不安がある | 8. スポーツをする意欲が出ない |
| 9. 自分が持っている技術に自信がない | 10. 家庭の理解が得られない |
| 11. その他 () | |

問19：スポーツを行う際、あなたが負担してもよいと思う1回あたりの施設使用料はいくらですか。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 無料 | 2. 1~100円 | 3. 101~300円 | 4. 301~500円 |
| 5. 501~700円 | 6. 701~999円 | 7. 1000円以上 | |

●地域におけるスポーツ活動についてお尋ねします

問 20：あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。

1. よく知っている 2. 少し知っている 3. 名前だけ知っている
4. 全然知らない

※「総合型地域スポーツクラブとは」

日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、国・県や地方自治体が実施するスポーツ振興施策の1つ。幅広い世代の人々が各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブのこと。現在、豊川市では音羽地区において「音羽スポーツクラブ」、一宮地区において「わすぽ一宮」の2クラブが活動している。

問 21：中学校の体育的部活動についてお尋ねします。現在の中学校の体育的部活動は、活動内容が充実していると思いますか。

1. 充実していると思う 2. よく知らない 3. 改善する必要がある

問 22：今までのスポーツ活動は、学校や企業が中心で行われてきましたが、今後は地域社会（住民）が中心になってスポーツに取り組んでいくべきだと言われています。このような考え方に対して、あなたはどのように思いますか。

1. 地域社会（住民）が中心となって行うべきだ 2. どちらともいえない
3. 今まで通り、学校や企業が中心で行えばよい

問 23：あなたは、スポーツの指導やスポーツに関するボランティア活動を行っていますか。行っていない場合、今後行ってみたいと思いますか。

1. 行っている 2. 今後ぜひ行いたい 3. 今後できれば行いたい
4. あまり行いたいとは思わない 5. 全く行いたいとは思わない 6. わからない

問 24：問 23 で、2～3を選んだ人にお尋ねします。現在、スポーツの指導やスポーツに関するボランティア活動を行っていない理由を教えてください。

()

●市のスポーツ施策についてお尋ねします

問 25：あなたは、市が行っているスポーツ振興のための取り組みや施策をどのように感じていますか。

1. 取り組みに満足している 2. どちらでもない 3. 取り組みに不満がある

問 26：問 25 で、3を選んだ人にお尋ねします。不満の理由を教えてください。

()

問 27：市が行っているスポーツに関する広報や情報提供をどのように思いますか。

1. もっと情報提供を行ってほしい 2. いまのままでよい

問 28：市や校区体育振興会（町内会）などが主催するスポーツ事業（運動会・スポーツ大会・スポーツ教室・講習会等）に参加したことがありますか。

- 1. 参加したことがある
- 2. 応援や観戦・運営だけに参加したことがある
- 3. 参加したことない

問 29：問 28 で、1～2を選んだ人にお尋ねします。あなたが参加したスポーツ事業について、どのように感じていますか。以下のなかからいくつでも選んでください。

- 1. 満足している
- 2. 開催内容に不満がある
- 3. 指導者に不満がある
- 4. 開催回数に不満がある
- 5. 時期・時間に不満がある
- 6. よくわからない
- 7. その他（ ）

問 30：市の体育施設を利用したことがありますか。

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことない

問 31：問 30 で、1を選んだ人にお尋ねします。施設を利用する上で要望はありますか。以下のなかからいくつでも選んでください。

- 1. 利用手続きの簡素化
- 2. 利用時間の拡大
- 3. 施設・設備の充実
- 4. 特に要望はない
- 5. その他（ ）

問 32：学校開放体育施設を利用したことがありますか。

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことない

問 33：問 32 で、1を選んだ人にお尋ねします。施設を利用する上で要望はありますか。以下のなかからいくつでも選んでください。

- 1. 利用手手続きの簡素化
- 2. 利用時間の拡大
- 3. 施設・設備の充実
- 4. 特に要望はない
- 5. その他（ ）

問 34：あなたは、小・中学生のスポーツ機会を充実するために、どのようなことに力を入れたらよいと思われますか。以下のなかからいくつでも選んでください。

- 1. 親子や家族でスポーツをする機会の充実
- 2. 学校における体育に関する活動の充実
- 3. 気軽に活動できる総合型地域スポーツクラブの充実
- 4. トップレベルの選手に触れる機会の充実
- 5. 身近な公共施設等を活用しスポーツを体験する機会の充実
- 6. スポーツ指導者の充実と活用
- 7. その他（ ）

問 35：今後のスポーツの教室・研修会や講演会はどのような内容で開催してほしいですか。以下の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康づくりを中心とした内容 | 2. 体力づくりを中心とした内容 |
| 3. 技能・技術の向上を目的とした内容 | 4. 知識・考え方を目的とした内容 |
| 5. 子どものスポーツ活動に関する内容 | 6. 女性のスポーツ活動に関する内容 |
| 7. 中高年のスポーツ活動に関する内容 | 8. 障害者のスポーツ活動に関する内容 |
| 9. 東京オリンピックに関連した内容 | 10. その他 () |

問 36：市には多くの体育施設があり、現在、公共施設の適正配置について検討を進めています。そこで、今後、市内の体育施設で特に整備・充実してほしい施設があれば、以下のなかから3つまで選んでください。

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 体育館 | 2. サッカー場 | 3. 野球・ソフトボール場 |
| 4. 学校運動場の夜間照明 | 5. 陸上競技場 | 6. 温水プール |
| 7. テニスコート | 8. 武道場 | 9. ゲートボール場 |
| 10. グラウンド・ゴルフ場 | 11. 多目的グラウンド | 12. ウォーキングコース |
| 13. スポーツジム | 14. サイクリングコース | 15. 硬式野球場 |
| 16. その他 () | | |

<市内体育施設>

総合体育館・武道館・陸上競技場・野球場（軟式）・庭球場・プール・農業者トレーニングセンター
一宮体育センター・東上野球場・足山田野球場・上長山庭球場・いこいの広場・音羽運動公園
御津体育館・御津庭球場・御幸浜パーゴルフ場・柏木浜パーゴルフ場・小坂井庭球場
小坂井B & G海洋センター（室内温水プール）・サッカー場

●スポーツや健康づくりに関するアイデアやご意見等がありましたら、自由にご記入ください

調査にご協力いただきまして、大変ありがとうございました

記入漏れがないかどうか、もう一度お確かめいただき、同封の返信用封筒を使って、
9月30日（火）までにポストにご投函ください。（切手は不要です。）

豊川市のスポーツに関する 市民意識調査報告書

平成27年3月

発 行 豊 川 市

企画・編集 豊川市教育委員会 スポーツ課

〒441-0292 愛知県豊川市赤坂町松本 250 番地

電話 0533-88-8036

FAX 0533-88-8038

E-mail sports@city.toyokawa.lg.jp